

令和3年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
医療福祉分野における専門学校と高等学校の先端技術を活用した
キャリア教育連携プログラムの開発に関する実証研究事業

事業成果報告書

令和4年3月

学校法人智晴学園
専門学校琉球リハビリテーション学院

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、学校法人学校法人智晴学園専門学校琉球リハビリテーション学院が実施した令和3年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果をとりまとめたものです。

目次

1. 事業の概要	3
1.1. 事業の趣旨・目的	3
1.2. 学習ターゲットと目指すべき人材像	3
1.3. 事業の実施体制	4
1.3.1. 構成機関	4
1.3.2. 実施体制	5
1.3.3. 各機関の協力	5
1.4. 事業計画の全体像	7
1.5. 今年度の具体的な取り組み	10
1.5.1. 事業実施体制の構築	10
1.5.2. 職業教育に関する調査の実施	10
1.5.3. 一貫型教育プログラムの開発	11
1.5.4. プレ実証の実施	11
1.5.5. 高・専連携基盤システムプロトタイプ of の構築	11
1.5.6. 次年度における職業教育プログラム実施の準備	12
2. 調査結果報告	13
2.1. 概要・目的等	13
2.2. 生徒対象調査	14
2.2.1. 福祉科生徒対象調査	14
2.2.2. 普通科・総合学科対象調査	22
2.2.3. 福祉科と普通科・総合学科の比較	33
2.3. 教員対象調査	38
2.3.1. 福祉科教員対象アンケート調査	38
2.3.2. 普通科・総合学科教員アンケート対象調査	44
2.3.3. ヒアリング	52
3. 高専連携一貫型職業教育プログラム	53
3.1. 概要	53
3.2. 一貫型職業教育プログラムの全体像	54
3.3. 高等学校1年生対象の教育プログラム（素案）	55
3.4. 教材	57
4. プレ実証	59
4.1. 概要	59
4.2. 実施内容	59

4.2.1.	スケジュール	59
4.2.2.	実施校	60
4.3.	生徒のアンケート結果	60
5.	高専連携基盤システムプロトタイプ	72
5.1.	概要	72
5.2.	主な機能	72
5.2.1.	生徒向けの機能	72
5.2.2.	指導者向けの機能	74
6.	次年度における職業教育プログラム実施の準備	78
6.1.	概要	78
6.2.	科目「産業社会と人間」と高専連携教育	78
6.3.	授業計画	79
	巻末資料	83

1. 事業の概要

1.1. 事業の趣旨・目的

本事業は高校福祉科と連携して高校3年間と専門学校作業療法学科3年間、計6年間の一貫型教育プログラムの開発と実証を推進する取り組みである。

進路選択の段階で職種に関する最低限の理解は必要不可欠だが、リハビリテーション専門職に関しては高校生が日常的に接する機会が少ないこともあり、その認識が十分とは言えないのが現状である。職業・職種への理解が不十分であれば、それは入学後の学習意欲の減退や途中退学の要因の1つとなる。

また、リハビリテーションの専門性に関しても入学時点で一定の認識が必要である。養成課程での学習内容の一部は高校での学びを土台としており、その確実な修得が高校段階で求められるからである。高校での学習が疎かであれば入学後の成績不振につながり、途中退学という結果になってしまうこともある。

そこで本事業では、専門学校と高校が連携し適切な進路選択のためのキャリア教育を高校生に対して実施する。さらに医療福祉分野への進学を希望する生徒に当該分野の基礎的な職業教育を実施し、専門学校進学後は専門性の向上や国家資格取得のフォローアップなど継続的な学習を支援する。この一貫型職業教育プログラムを沖縄・宮城県の複数県で実施することで広域展開の実効性を実証し、各地域に貢献できる専門職業人の育成を図る。

1.2. 学習ターゲットと目指すべき人材像

本事業における一貫型職業教育プログラムの学習ターゲットは、高等学校（福祉科など）の生徒、専門学校（作業療法士養成課程）の学生である。

その目指すべき人材像は、リハビリテーション実践力、対人援助実践力、人間関係力や自己管理能力等の基礎的・汎用的な能力を備えた専門職業人とする。

1.3.事業の実施体制

1.3.1. 構成機関

(1) 高等学校

	名称	所在地
1	沖縄県立中部農林高校	沖縄県
2	沖縄県立真和志高校	沖縄県
3	沖縄県立嘉手納高校	沖縄県
4	沖縄県立陽明高校	沖縄県
5	宮城県立登米総合産業高等学校	宮城県
6	学校法人南光学園東北高校	宮城県
7	沖縄県立南風原高校	沖縄県
8	沖縄県立中部商業高校	沖縄県
9	沖縄県立名護高校	沖縄県
10	沖縄県立宜野座高校	沖縄県
11	沖縄県立与勝高校	沖縄県

(2) 行政機関

	名称	所在地
1	沖縄県教育庁沖縄県教育委員会	沖縄県
2	宮城県教育庁宮城県教育委員会	宮城県

(3) 専門学校

	名称	所在地
1	学校法人智晴学園琉球リハビリテーション学院	沖縄県
2	学校法人仙台北学園仙台リハビリテーション専門学校	宮城県
3	学校法人敬心学園職業教育研究開発センター	東京都

(4) 企業・医療福祉施設

	名称	所在地
1	株式会社らそうむ	福岡県
2	KIN スポーツ整形クリニック	沖縄県
3	ごきげんリハビリクリニック	沖縄県
4	発達支援センターぎんばるの海	沖縄県

1.3.2. 実施体制

(1) コンソーシアム

専門学校、高等学校、行政機関、企業、医療福祉施設で構成するコンソーシアムを立ち上げ、以下の組織体制の下で事業を推進した。

(2) 実施委員会

琉球リハビリテーション学院を代表機関とする実施委員会を組織した。実施委員会は本事業の推進機関として、事業の計画立案や重要事項の意思決定を行い、一貫型教育プログラムの開発及び実証を主導した。また、実施委員会の下部組織として分科会を編成した。分科会は実施委員会の指示・管理の下で、一貫型教育プログラムの開発及び実証に係る実務的な作業を遂行した。

(3) 分科会

教育プログラム開発分科会と教育プログラム検証分科会を編成した。教育プログラム開発分科会は調査の実施、一貫型教育プログラムの開発を担当した。教育プログラム検証分科会は一貫型教育プログラムの実施・検証を担当した。一貫型教育プログラムのカリキュラムや使用する教材、学習内容と実証・検証の整合性を担保する狙いから、両分科会は相互に連携し合いながら活動を進めていくこととした。また、活動の進捗や成果などについては実施委員会にて報告し改善等を図った。

(4) コーディネータ

コーディネータは全体調整、進捗管理、体制構築、効果検証、高等学校と専門学校、教育委員会等の橋渡し、広報を担当した。

(5) 事務局

実施委員会・教育プログラム開発分科会・教育プログラム検証分科会の開催、運営や事業実施全般に係る事務的な業務を担当した。

1.3.3. 各機関の協力

(1) 高等学校

高等学校は職業教育・進路指導の現状や課題、専門学校に対する職業教育実施の要望などの提供、生徒対象・教員対象のアンケート調査の実施など教育プログラムの開発に協力した。また、生徒を対象とする教育プログラムの実施に協力した。

(2) 行政機関

沖縄県教育委員会・宮城県教育委員会は、高等学校の職業教育に関する情報を提供すると共に、高等学校と専門学校の連携・実証実施などを支援し事業に協力した。

(3) 専門学校

琉球リハビリテーション学院は実施委員会の代表機関として、事業活動全体を統括管理する役割を担った。その過程では、これまでの文部科学省委託事業等の取り組み経験・実績を活かして本事業を推進した。

仙台リハビリテーション専門学校はリハビリテーション専門職の専門教育や高校への出張授業などに関するノウハウや知見を提供し、教育プログラム開発、宮城県での実証の実施準備などに協力した。

敬心学園職業教育研究開発センターは、対人援助業務を学ぶ VR 教材とその活用方法を提供しプレ実証の実施などに協力した。

(4) 企業

医療・福祉の実務に従事する実務現場の視点から、求められる技術や職業意識等に関する知見を提供し教育プログラムの開発・実証に協力した。

(5) コーディネータ

コーディネータの玉城義一氏（琉球リハビリテーション学院金武本校・学院長）は公立校の元校長、専門学校の現校長という経験・実績により、全体調整、進捗管理、体制構築、効果検証、高等学校と専門学校、教育委員会等の橋渡し、広報を担当し、実施委員会と共に本事業を推進する役割を担った。

1.4.事業計画の全体像

以下に本事業計画の全体像を示す。専門学校の対象学科が3年課程のため事業活動は令和9年度までとする。ここに示す全体像は令和3年度時点のものであり、事業実施の各年度において継続的に見直し、改善を図っていくこととする。なお、令和9年度の実施に掛かる経費は当学院にて負担する。

図表 1-1 事業計画の全体像

年度	取り組み内容
令和3年度	1. 事業実施体制の構築 ○実施委員会・分科会の組織化・開催 2. 職業教育に関する調査の実施 ○高等学校生徒対象調査 ○高等学校教員対象調査 3. 一貫型教育プログラムの開発 ○カリキュラム設計 ○高等学校1年生対象の教材開発 4. 高・専連携基盤システム構築 5. 実証講座の実施準備 ○プレ実証の実施 ○実証講座実施計画立案 6. 事業成果の公開
令和4年度	1. 実施委員会・分科会の開催 2. 一貫型教育プログラムの開発 ○カリキュラム設計 ○高等学校2年生対象の教材開発 ○高等学校1年生対象教材の改訂 3. 高・専連携基盤システム構築・運用 4. 実証講座の実施（高等学校1年生対象） ○連携体制整備・準備 ○実施 ○実施結果の評価・検証 ○次年度実施計画立案 5. 事業成果の公開
令和5年度	1. 実施委員会・分科会の開催 2. 一貫型教育プログラムの開発 ○カリキュラム設計 ○高等学校3年生対象の教材開発

	<ul style="list-style-type: none"> ○高等学校 2 年生対象教材の改訂 3. 高・専連携基盤システム構築・運用 4. 実証講座の実施（高等学校 1, 2 年生対象） <ul style="list-style-type: none"> ○連携体制整備・準備 ○実施 ○実施結果の評価・検証 ○次年度実施計画立案 5. 事業成果の公開
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> 1. 実施委員会・分科会の開催 2. 一貫型教育プログラムの開発 <ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラム設計 ○専門学校 1 年生対象の教材開発 ○高等学校 3 年生対象教材の改訂 3. 高・専連携基盤システム構築・運用 4. 実証講座の実施（高等学校 1～3 年生対象） <ul style="list-style-type: none"> ○連携体制整備・準備 ○実施 ○実施結果の評価・検証 ○次年度実施計画立案 5. 事業成果の公開
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> 1. 実施委員会・分科会の開催 2. 一貫型教育プログラムの開発 <ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラム設計 ○専門学校 2 年生対象の教材開発 ○専門学校 1 年生対象教材の改訂 3. 高・専連携基盤システム構築・運用 4. 実証講座の実施（高等学校 1～3 年生、専門学校 1 年生対象） <ul style="list-style-type: none"> ○連携体制整備・準備 ○実施 ○実施結果の評価・検証 ○次年度実施計画立案 5. 事業成果の公開
令和 8 年度	<ul style="list-style-type: none"> 1. 実施委員会・分科会の開催 2. 一貫型教育プログラムの開発 <ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラム設計 ○専門学校 3 年生対象の教材開発 ○専門学校 2 年生対象教材の改訂 3. 高・専連携基盤システム構築・運用 4. 実証講座の実施（高等学校 1～3 年生、専門学校 1, 2 年生対象）

	<ul style="list-style-type: none"> ○連携体制整備・準備 ○実施 ○実施結果の評価・検証 ○次年度実施計画立案 <p>5. 事業成果の公開</p>
令和9年度	<ul style="list-style-type: none"> 1. 実施委員会・分科会の開催 2. 一貫型教育プログラムの開発 ○専門学校3年生対象教材の改訂 3. 高・専連携基盤システム構築・運用 4. 実証講座の実施（専門学校3年生対象） 5. 事業成果の公開

1.5.今年度の具体的な取り組み

1.5.1. 事業実施体制の構築

専門学校、高等学校、行政機関、企業・医療福祉施設による実施委員会及び分科会を編成し、今後6年間の事業活動の実施体制（コンソーシアム）を構築した。今年度は実施委員会3回、教育プログラム開発分科会・教育プログラム検証分科会を各3回開催し、産官学（高・専）の組織的な連携を通じて事業活動を展開した。

1.5.2. 職業教育に関する調査の実施

(1) 生徒の職業意識調査

○概要

高等学校の生徒（1～3年生）を対象として、職業に対する考えや将来の進路、職業について学びたい内容など職業意識に関する調査を実施した。

○目的

生徒の職業意識を把握し、どのような職業教育が必要・適当であるかを検討するための基礎資料を整備した。これにより、生徒の現状に応じた一貫型教育プログラムの開発に活かしていくことが目的である。

○対象者

本事業の構成機関である高等学校の生徒。

○実施手法・時期

実施手法は Web によるアンケートとした。学内での携帯電話・スマートフォンの利用が禁止の一部の高等学校は質問紙での回答とした。実施時期は令和4年1月下旬～2月中旬である。

○回答数 1,875名

(2) 教員の職業教育に関する調査

○概要

高等学校の教員を対象として、自校で実施している職業教育の現状、職業教育の内容や指導方法の課題、生徒の職業意識など高校の職業教育に関する調査を実施した。

○目的

教員の視点からみた高等学校における職業教育の現状や課題、生徒の学びなどを把握し、どのような職業教育が必要・適当であるかを検討するための基礎資料を整備した。これにより、各校に共通的な現状に応じた一貫型教育プログラムの開発に活かしていくことが目的である。

○対象者

本事業の構成機関である高等学校の教員。

○実施手法・時期

実施手法は Web によるアンケート、及びヒアリングとした。実施時期は令和4年1月下旬から2月上旬である。

○回答数 37名（アンケート） 5校15名（ヒアリング）

1.5.3. 一貫型教育プログラムの開発

(1) カリキュラム設計

職業教育に関する調査の結果に対する分析を行い、その結果を参照しながら一貫型教育プログラムのカリキュラム設計を行った。具体的には、高等学校総合学科1年次の科目「産業社会と人間」の中で、高・専連携による職業キャリア教育を実施する基本プランを検討し、カリキュラムを具体化した。

(2) 教材開発

一貫型職業教育プログラムで使用する職業キャリア学習のプロトタイプ教材（印刷教材・デジタル教材）を開発した。具体的には、職業としてのリハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士）について学習する教材である。その内容は、リハビリテーション専門職の仕事内容や役割、心構え、求められる能力などで構成されている。

1.5.4. プレ実証の実施

職業教育をテーマとする体験型実習をプレ実証として実施した。具体的には、教育分野でも活用が進みつつある先端テクノロジーVR（仮想現実）による医療福祉の仕事（対人援助業務）の疑似体験学習で、沖縄県内の高等学校2校を対象に行った。利用したVR教材は敬心学園が文部科学省委託事業において開発したものを活用し、敬心学園との連携の下で実施した。

プレ実証実施の前後において、生徒対象のアンケートを行い、プレ実証が生徒にとっての職業体験学習として有効性であったかどうかを検証し、その結果多くの生徒がリアルな体験に高い満足度を得て興味をもったことなどが確認できた。

1.5.5. 高・専連携基盤システムプロトタイプの構築

高等学校3年間と専門学校3年間の計6年間にわたる連携を有機的なものとするを目的として、高・専連携基盤システムのプロトタイプをクラウド環境上に構築した。

基盤システムは、高等学校の教員と専門学校の教員、企業等の実務者などによる生徒の学習成果物のチェックや、教材などの共有、意見交換などを支援する。また、生徒による自分の学習成果物の蓄積管理や、他の生徒の学習成果物の閲覧・評価を支援する機能も備えている。今年度はプロトタイプ of 整備に主眼を置き、次年度から実運用版へとバージョンアップを図る計画である。

1.5.6. 次年度における職業教育プログラム実施の準備

職業教育プログラムの開発と並行して、令和4年度における職業教育プログラム実施の準備を進めた。令和4年度は、沖縄県立陽明高等学校と琉球リハビリテーション学院が連携した実施と、宮城県の学校法人南光学園東北高等学校と仙台リハビリテーション専門学校が連携した実施を計画している。

陽明高等学校と連携した実施に向けた準備として、連携教育を実施する1年生の科目「産業社会と人間」の授業計画の検討に協力した。また、同科目の中で使用するVRコンテンツを360度カメラで制作した。VRコンテンツは、進路ガイダンス室の活用を疑似体験できる内容で構成されている。

東北高等学校と連携した実施に向けた準備では、高等学校との協議の下で「身体づくり」をテーマとするキャリア実習（選択授業）の授業計画（シラバス）を作成し、授業の運営方法・体制などの具体化を進めた。

2. 調査結果報告

2.1. 概要・目的等

(1) 生徒の職業意識調査

○概要

高等学校の生徒（1～3年生）を対象として、職業に対する考えや将来の進路、職業について学びたい内容など職業意識に関する調査を実施した。

○目的

生徒の職業意識を把握し、どのような職業教育が必要・適当であるかを検討するための基礎資料を整備した。これにより、生徒の現状に応じた一貫型教育プログラムの開発に活かしていくことが目的である。

○対象者

本事業の構成機関である高等学校の生徒。

○実施手法・時期

実施手法は Web によるアンケートとした。学内での携帯電話・スマートフォンの利用が禁止の一部の高等学校は質問紙での回答とした。実施時期は令和4年1月下旬～2月中旬である。

○回答数 1,875名

(2) 教員の職業教育に関する調査

○概要

高等学校の教員を対象として、自校で実施している職業教育の現状、職業教育の内容や指導方法の課題、生徒の職業意識など高校の職業教育に関する調査を実施した。

○目的

教員の視点からみた高等学校における職業教育の現状や課題、生徒の学びなどを把握し、どのような職業教育が必要・適当であるかを検討するための基礎資料を整備した。これにより、各校に共通的な現状に応じた一貫型教育プログラムの開発に活かしていくことが目的である。

○対象者

本事業の構成機関である高等学校の教員。

○実施手法・時期

実施手法は Web によるアンケート、及びヒアリングとした。実施時期は令和4年1月下旬から2月上旬である。

○回答数 37名（アンケート） 5校15名（ヒアリング）

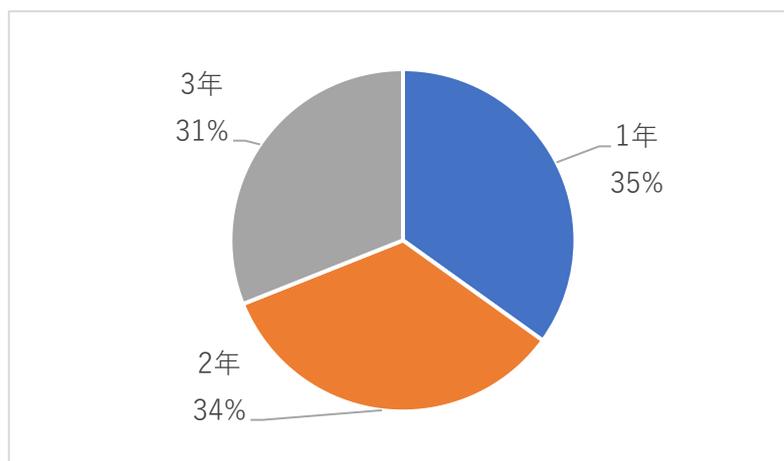
2.2. 生徒対象調査

2.2.1. 福祉科生徒対象調査

(1) 回答数 106 名

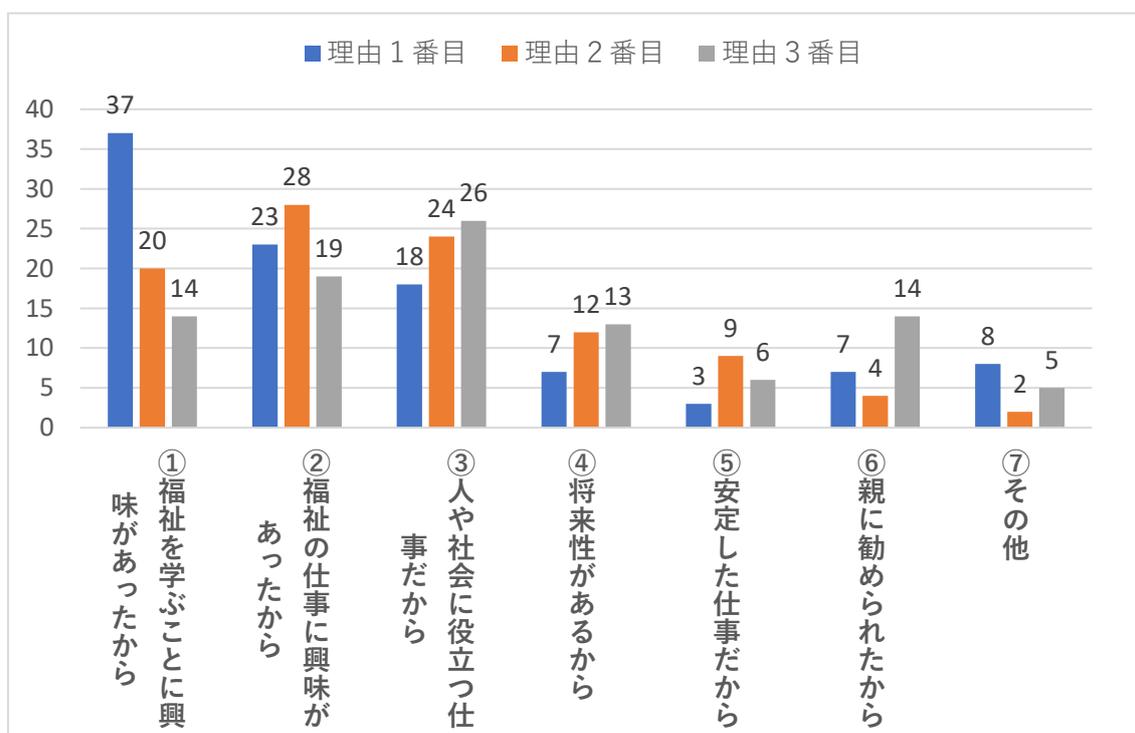
(2) 学年別

図表 2-1 学年別



(3) 福祉に進学した理由

図表 2-2 福祉に進学した理由



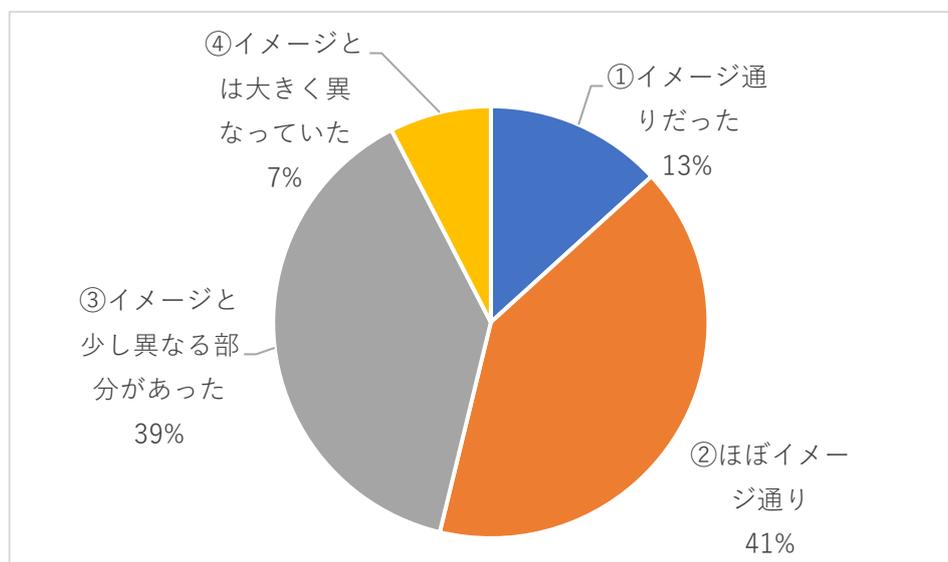
【その他】

- 看護を学ぶため
- 楽そうだとおもってたから。
- 資格を取ることが出来るため
- 資格がとれるから
- リハビリの仕事に就きたかったから
- 家族に障害者が居て福祉を学びたいと思ったから！
- 障害について知識を増やしたかった
- 親が福祉関連の仕事をしていたから
- 保育士になりたかったため、福祉科で福祉も学ぼうと思った。
- 保育系を目指す人も多いと聞いたから
- 友達から、誘われたから
- 学校の先生に勧められた

(4) 進学時のイメージと今の学び

最も多い回答は「ほぼイメージ通り」で 41%、「イメージ通りだった」と合わせると過半数の生徒が進学時にイメージしていたものと今の学びが（ほぼ）一致していると答えている。一方で、「イメージと少し異なる部分があった」という回答も 39%と少なくない。

図表 2-3 進学時のイメージと今の学び



以下、その理由についての自由記入による回答を示す。

「イメージと少し異なる・大きく異なる」理由では、課題が多い、学ぶ範囲が広いなど思っていたよりも勉強が大変という回答や、学びの対象が考えていた領域と違っていたな

どの回答が寄せられている。

【理由】

(イメージ通り・ほぼイメージ通り)

- 介助をする授業
- 人と楽しく関われる
- 一つ一つ細かく福祉について学ぶことが出来ること
- 介助の仕方や利用者の寄り添い方などについてなど
- 福祉のことを学べるところ
- 楽しそー
- 自分がしたい事を学べてるから
- 大変だがやりがいを感じる
- 勉強する教科が多いこと
- 介護すること
- 車いすを使った介護などがあったから
- 福祉を学んでたり実習をしたりしていた
- 資格勉強などや、普段の高校生活もさほど変わらないと思ったからです。
- 介護をすることだったり、介護の基本
- 想像していたこととほとんど同じだった
- ベッドメイキングなど
- 福祉の基礎がしっかりと学ぶ事が出来る。
- 姉が産業高の生徒だったため少し学んでいることを聞いていたから
- 福祉の教科数が思っていたより多かった。
- 元々の知識と、習う事が重なる事が多かったから 印象通りの学び方だった
- 介護の技術、知識等
- 実習が沢山ある "コロナなる前"
- 高齢者の学びが多かった。
- 主に高齢者と障がい者についての介護や、レクについてや、コミュニケーションなど
- 介護
- 人と関わるということ

(イメージと少し異なる)

- 思ったより学校が脆かった
- 辛いことばかりではないから
- 新しいと思っていたけど少し古いところあるから
- 障害をもっている人々が障害を個性として人生を楽しんでいる事
- 実習が大変だったから、放課後にゼミがあったから (授業が多い)、医療系を学ぶことが多いから。

- 国家試験が高校で受けられないと思った リハビリの仕事に就いてる先輩がいないと思った
- ガッツリ福土と思わなかった
- 思っていたよりも専門性(?)が高くて 医療的ケア等の喀痰吸引とか経鼻経管栄養などをやるとは思っていなかった。 また、中学校の時よりも周りを見て行動できたり相手の気持ちを考えて行動できるようになった気がする
- 保育系学ぶと思ったら福祉(高齢者)の勉強だった
- 範囲が広がった
- 高校生に合わせたレベルの勉強かと思ったら、思った以上に専門性が高かった。
- 高齢者っていうのは分かってたけど、そこからいろんな分野に広がってることを知った
- 結構はば広い
- 医療的ケアなど思いつかなかった
- 大変
- 思ったよりも医療系に近い学習だった。
- 勉強が大変
- 勉強が思っていた以上に大変
- 誰にでも簡単にできると思っていました。
- 福祉は奥が深い
- 色々な実習をしたから
- 予想していた以上に実習があった
- 課題が多かったことに驚いた
- 福祉(介護、看護)を学べると思っていたけど、コロナ禍になって学習内容が福祉ではなく、国際についての学習に変わったから。
- 介護の仕方や介護をする上での注意点だけを学ぶと思っていたが、介護の歴史なども学ぶ所
- 思っていたより人不足
- 介護のないようが余っていたよりも専門的だった。
- 介護について、車椅子やベッドの移乗
- 医療の分野を学ぶと思っていたらほとんど介護の学習だったこと
- 想像より"福祉"の範囲が広く、学ぶ範囲が多いと思いました。
- 思ったより介護系についての学びが多かった
- 高齢者の介護のことを学ぶだけかと思ったら障がい者の方や保育についても勉強すること
- 本当に細かく福祉を学んだ
- 高齢者がメインだった

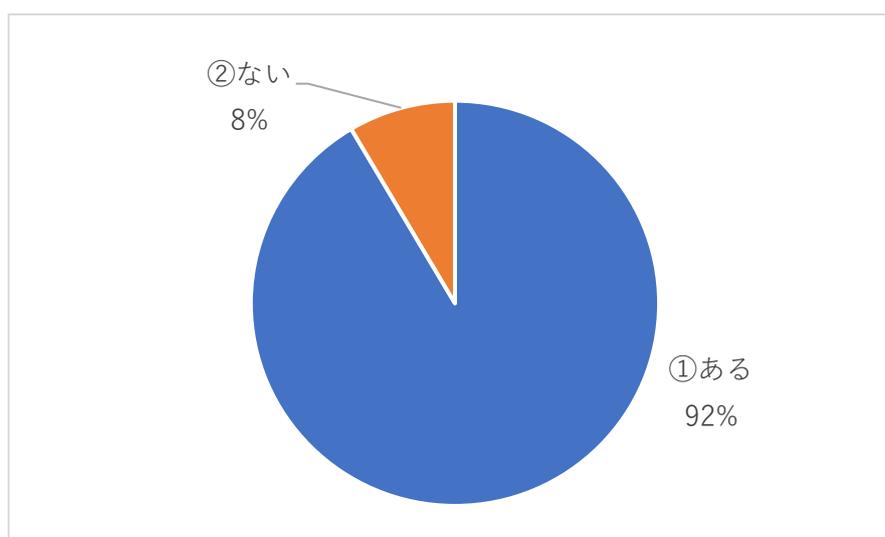
(イメージと大きく異なる)

- イメージは普通に人と関わるだけだと簡単に思ってたけど、福祉の勉強してからは、一つ一つ細かいことを気にしなくてはいけない。や とてもきついと思うけどそれ以上のやりがいがあるという考えになった
- しんどい
- みんなが楽しそうなところ
- たくさん勉強すると思わなかった
- 沢山勉強すると思いませんでした
- 体の事とか細かい部分も学ぶ事
- 子供のことについて、学ぶと思った

(5) 医療・福祉分野への興味

「医療・福祉分野への興味」について、92%の生徒が「ある」と回答している。

図表 2-4 医療・福祉分野への興味



以下に「興味がない」という回答の理由を列記する。

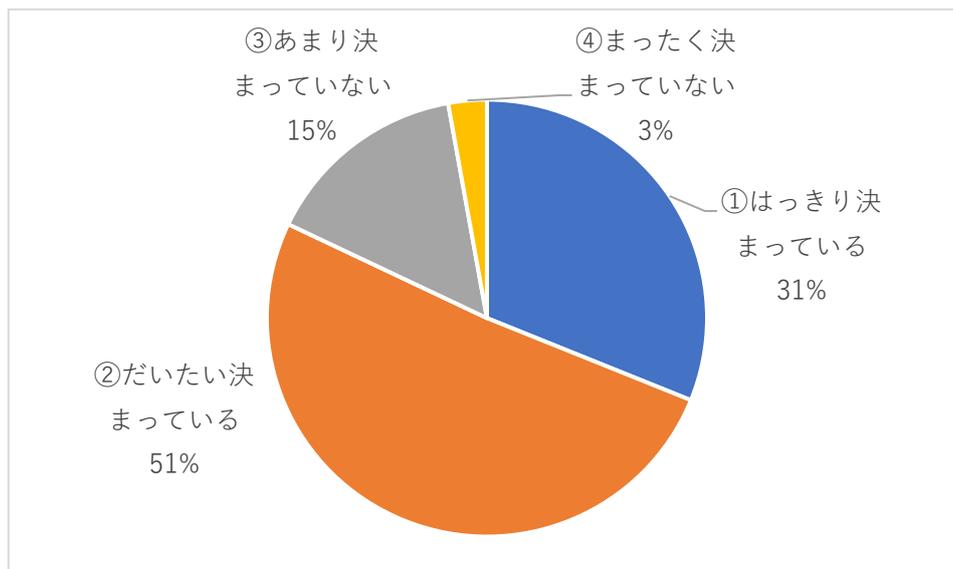
【理由】

- 人の役に立つ仕事に就きたいから ※「ある」の理由の可能性あり（報告書作成者）
- 大変なものだと思った、自分には向かないと気付いたから。
- 違う目標ができた
- 学んだうえで自分には向いてないと感じたから
- 勉強が大変
- 福祉は大変だと気づいたから
- 全然意味がわからないから

(6) 将来なりたい職業

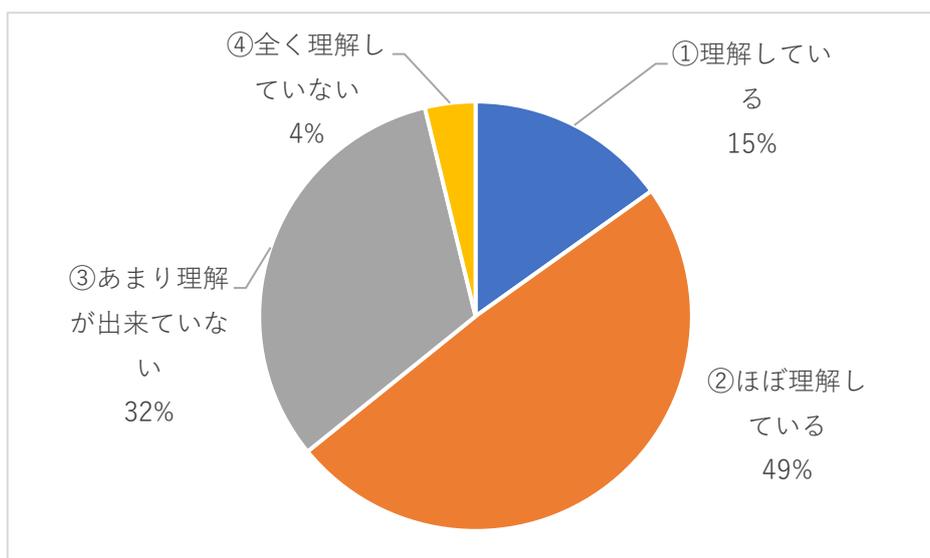
将来なりたい職業について、「はっきり決まっている」が31%、「だいたい決まっている」が51%、両者を合わせると82%の生徒が「だいたい」も含めだが、自分が将来なりたい職業を決めている。これに対して、「まったく決まっていない」は3%と非常に少ない。

図表 2-5 将来なりたい職業



(7) なりたい職業への理解

図表 2-6 なりたい職業への理解

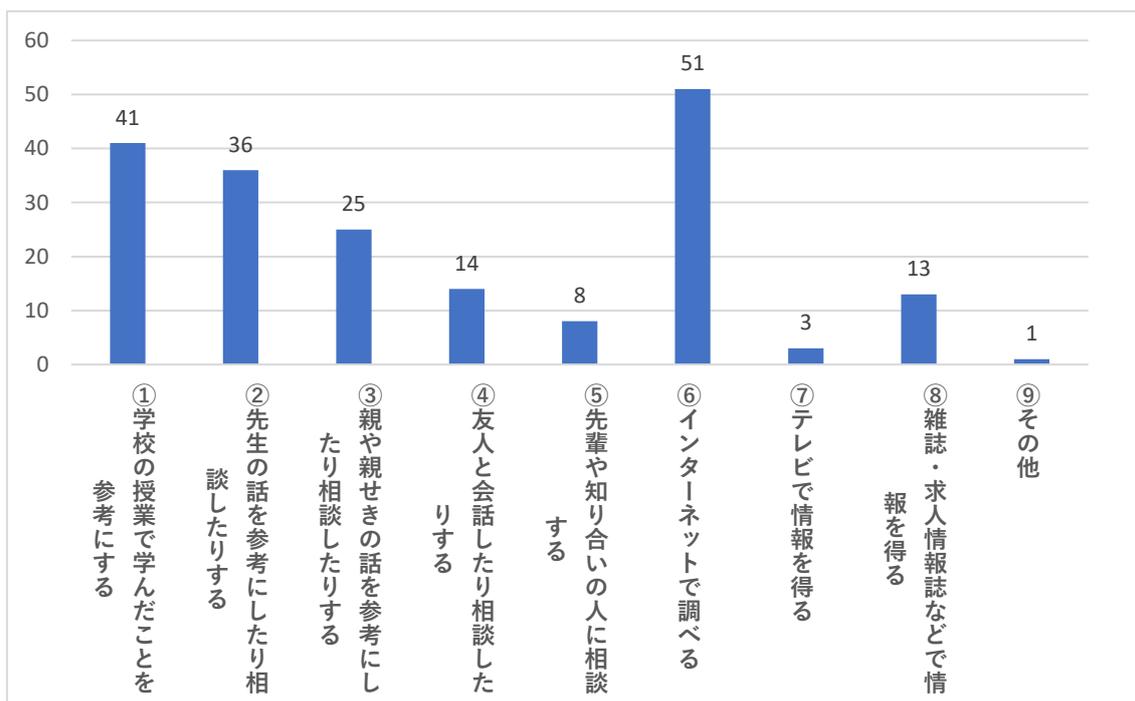


将来なりたい職業を（ほぼ）決めている生徒は82%だが、その職業について「理解している」15%、「ほぼ理解している」49%で、これらを合わせると64%に留まっている。

(8) 職業理解の方法（2つまで）

自分の将来の職業について、どのような方法で理解を深めていくか、選択肢から最大2つまでを選んでもらった結果が以下のグラフである。「インターネットで調べる」が51件と最も多い。これに続いて多いのが「学校の授業で学んだことを参考にする」の41件、「先生の話参考にしたり話したりする」の36件となっている。

図表 2-7 職業理解の方法



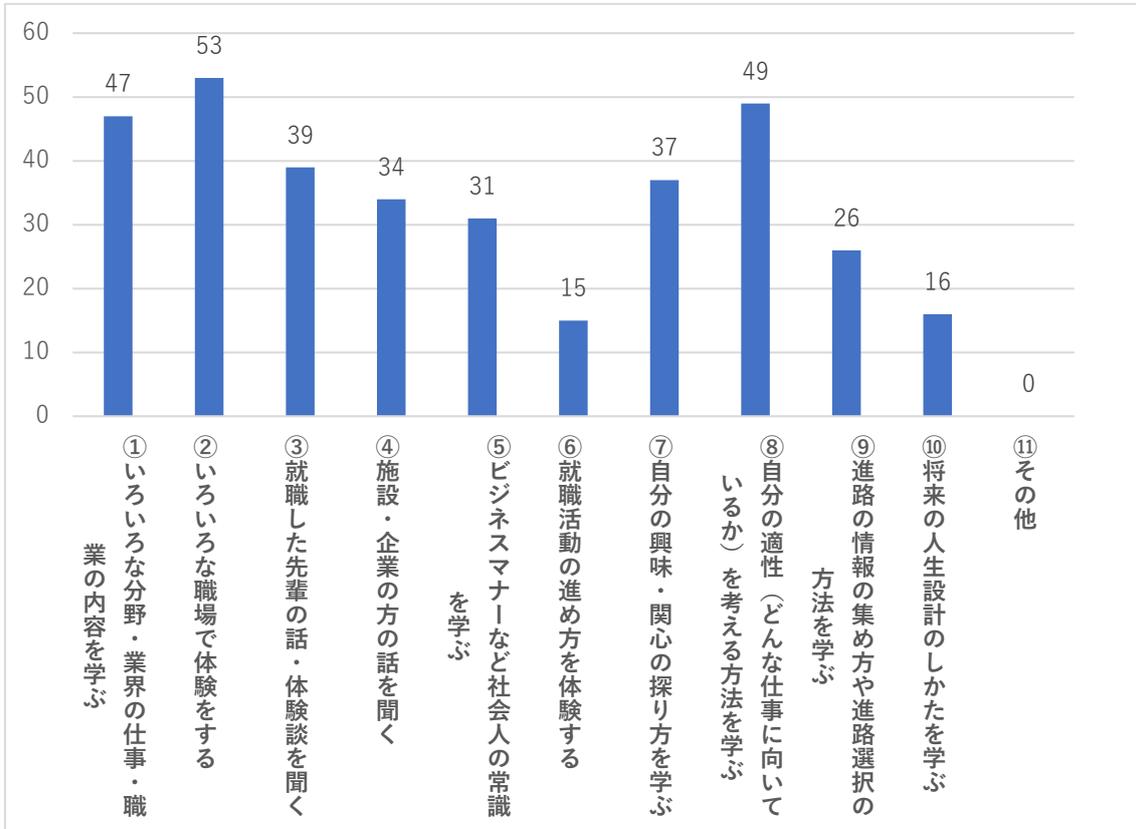
「その他」1件は「YouTubeなどで医療系や介護系のドキュメンタリーやルーティーン動画を見る」という回答であった。

(9) 学校で学びたい職業に関すること（いくつでも）

職業に関して学校で学びたいことについて、選択肢から制限を設けずに選んでもらった結果が以下のグラフである。

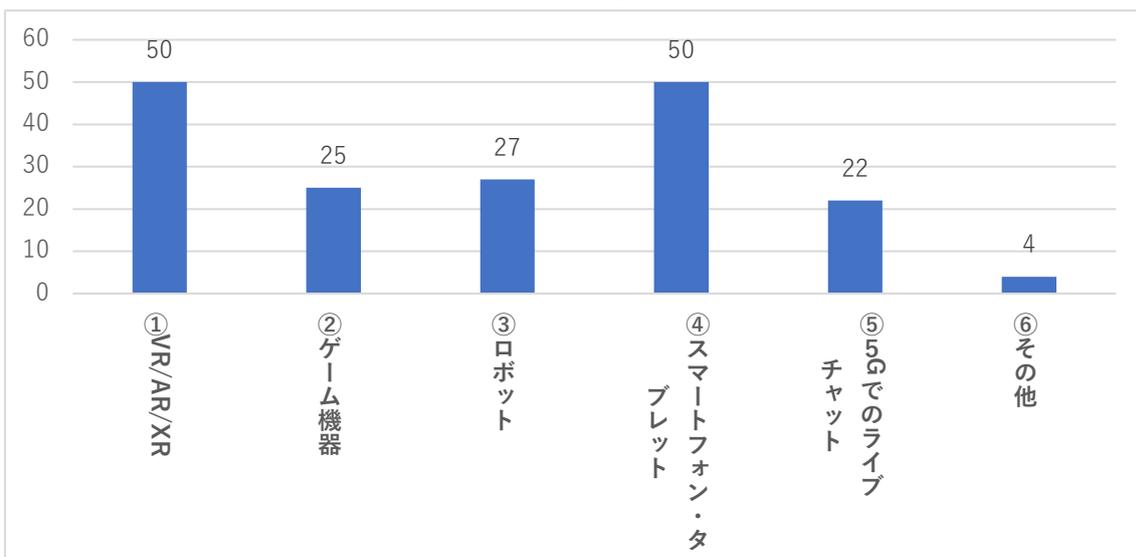
最も多いのは「いろいろな職場で体験する」の53件、これに次ぐのが「自分の適性（どんな仕事に向いているか）を考える方法を学ぶ」の49件で、「いろいろな分野・業界の仕事・職業の内容を学ぶ」が僅差の47件となっている。

図表 2-8 職業に関して学校で学びたいこと



(10) 授業で利用したい先端技術（いくつでも）

図表 2-9 授業で利用したい先端技術（いくつでも）

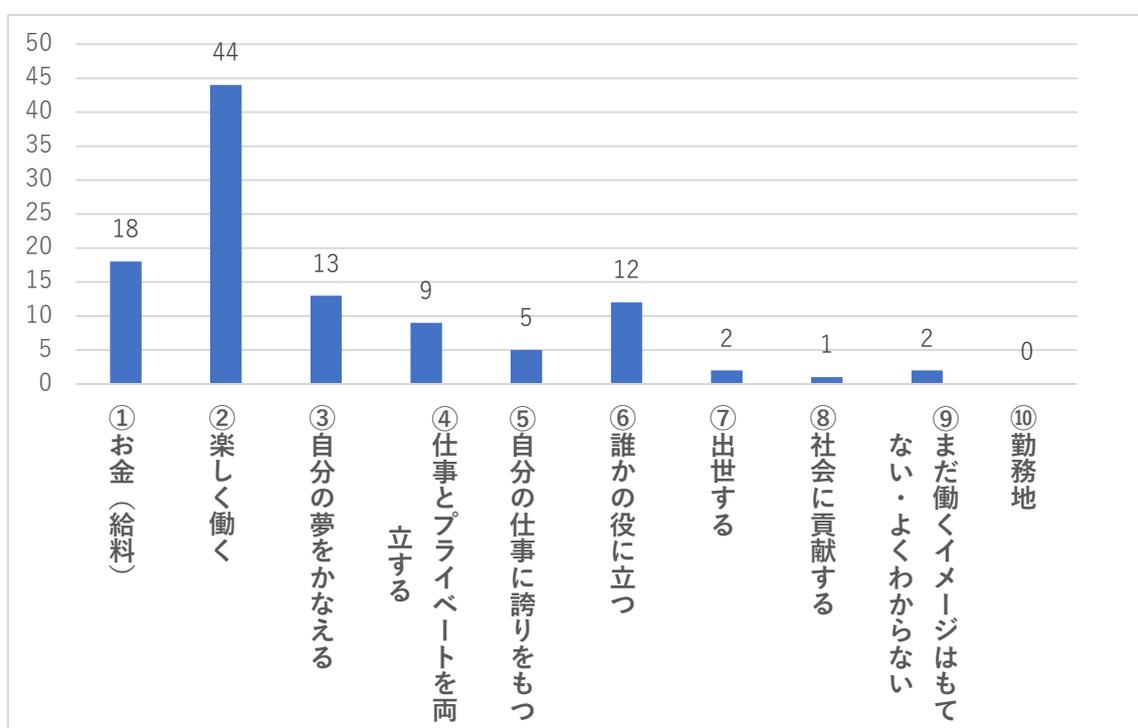


授業で利用したい先端技術について、制限をつけずに選択肢から選んでもらった結果がこのグラフである。「VR/AR/XR」と「スマートフォン・タブレット」が最多の50件と同数である。「ゲーム機器」「ロボット」「5Gでもライブチャット」は僅差で並んでいる。「その他」では「今までどおりでいい」という意見が寄せられている。

(11) 働くときに最も優先すること

働くときに最も優先することについて、ひとつだけ選択肢から選んでもらった結果がこのグラフである。

図表 2-10 働くときに最も優先すること（ひとつだけ）



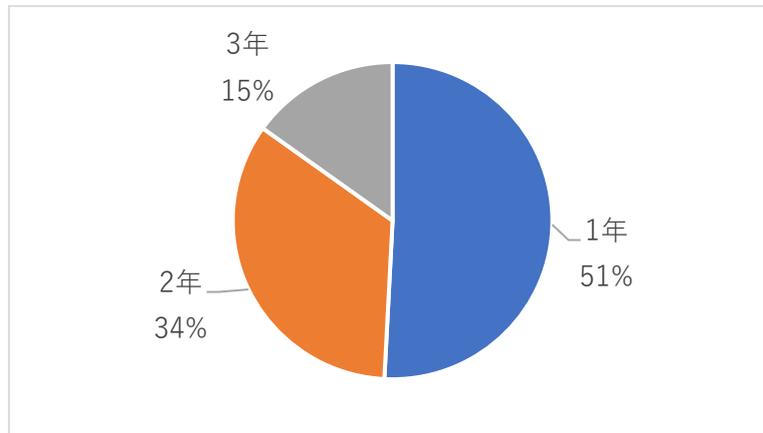
「楽しく働く」という回答が44件と抜きん出て多い。次に多いのは「お金(給料)」18件、「自分の夢をかなえる」13件、「誰かの役に立つ」12件などである。

2.2.2. 普通科・総合学科対象調査

(1) 回答数 1,769名

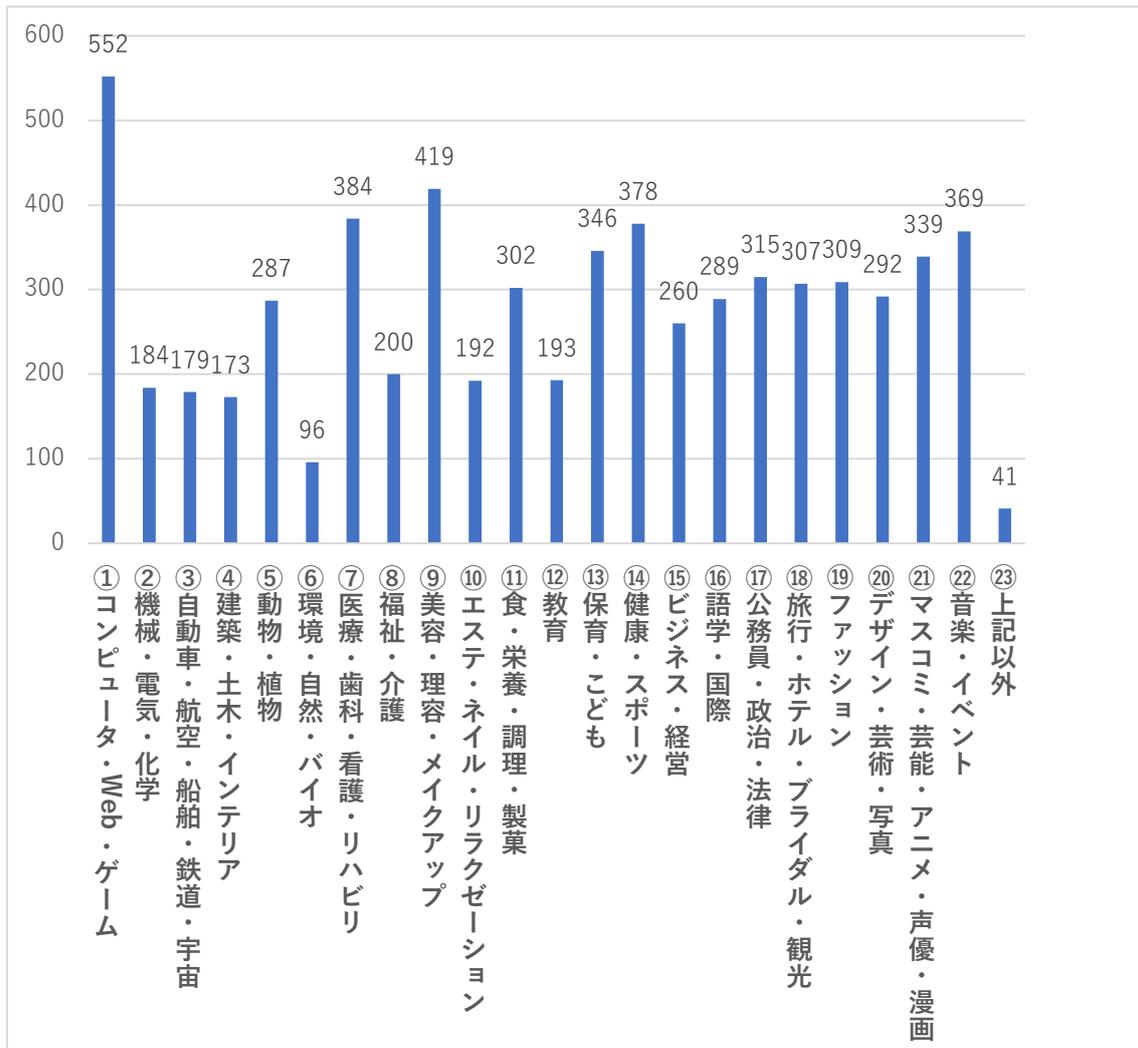
(2) 学年別

図表 2-11 学年別



(3) 興味のある分野

図表 2-12 興味のある分野



興味のある分野について、制限をつけずに選択肢から選んでもらった結果がこのグラフである。

最も多いのは「コンピュータ・Web・ゲーム」の 552 件で、他の分野を大きく引き離している。二番目に多いのは「美容・理容・メイクアップ」の 419 件、「医療・歯科・看護・リハビリ」が僅差の 384 件となっている。

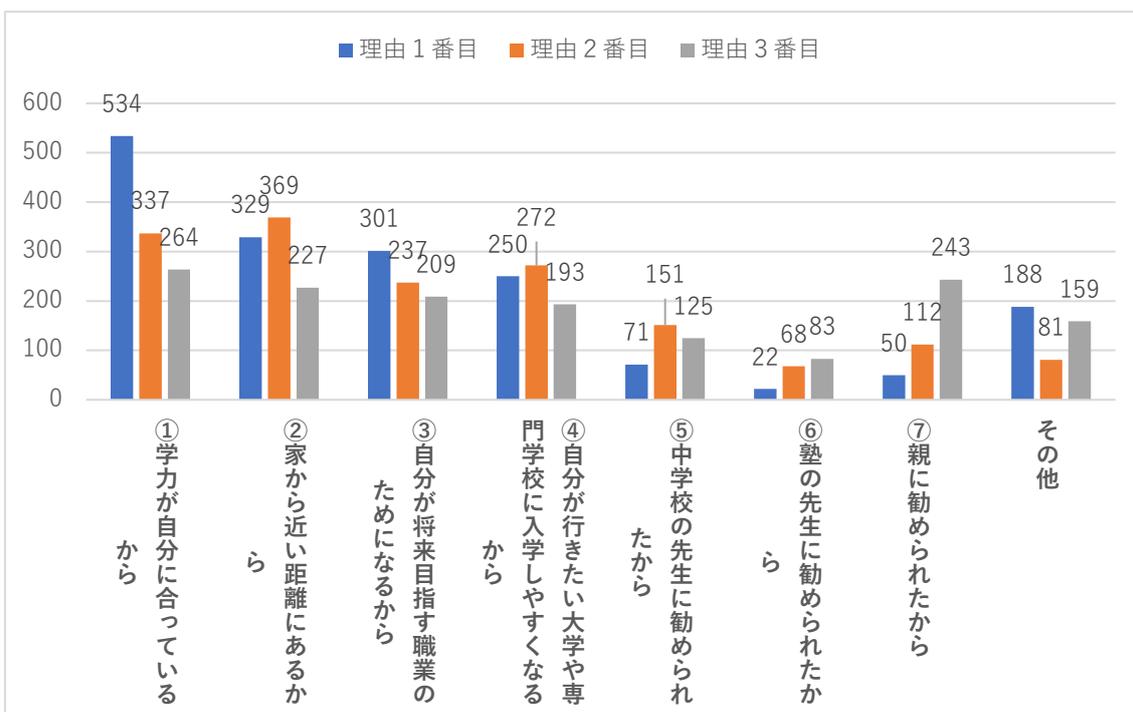
以下に「その他」として回答されたものを列記する。

- アパレル
- 食品販売
- 事務
- 心理カウンセリング（計 2 名）
- 心理学（計 3 名）
- ユニセフ
- 天気予報士
- 曲芸
- 郷土芸能

(4) 進学理由

中学 3 年生のとき、現在の高等学校に進学したいと考えた理由について、最大 3 つまで順位をつけて選択肢から選んでもらった結果が次のグラフである。

図表 2-13 進学理由（3 つまで）



進学理由の一番目で最も多いのは「学力が自分に合っているから」の 534 件、次に多いのは「家から近い距離にあるから」329 件で、「自分が将来目指す職業のためになるから」の 301 件がこれに次ぐ。

進学理由の二番目では「家から近い距離にあるから」が最多、三番目は「学力が自分に合っているから」となっている。

この設問では、「その他」として多くの回答が寄せられた。それらを内容で項目分けし、各項目の主な回答を示す。

■授業内容など

- 学びたい授業があったから
- 学校のスタイルが自分に合ってるから
- IT 化が現在は主で出来ないと損しそうだった
- 海外研修があったから 海外研修など他の国について学べるから
- 韓国語が学べるから
- 自分に合った環境だから
- 自分の興味のあるものの専門のコースがあったから
- 授業を選べる、視野が広がる
- 就職する時に力になると思ったから
- 将来の選択肢を増やすことができると思ったから
- 進学の幅が広がるから
- 専門学校に行きたいから
- 選択科目がたくさんあるから
- 総合学科だから
- 中間一貫校だったから
- 販売実習など行事が楽しそうだったから
- 琉球舞踊を習っているからより深く学べるように

■検定など

- 検定が沢山取得できるから
- 検定とるため
- 資格をたくさん取りたかったから

■部活動

- サッカーがしたいから
- ソフトテニスで強くなりたかったから
- バレーボールがしたかったから 当時の高校の顧問と約束したから
- 強いところで野球をしたかったから
- この高校の部活に入りたかったから

- 吹奏楽のコンクール以外のイベント等の数々に影響を受け、自分も挑戦してみたいと思ったから

■家族・友人関係

- 知り合いが少ない学校に行きたかったから
- 知り合いが多かったから
- 在学中の姉から話を聞いて
- 兄弟が行ってたから
- 習い事の先生に進められた

■雰囲気など

- 楽しそう
- 簡単そうだったから

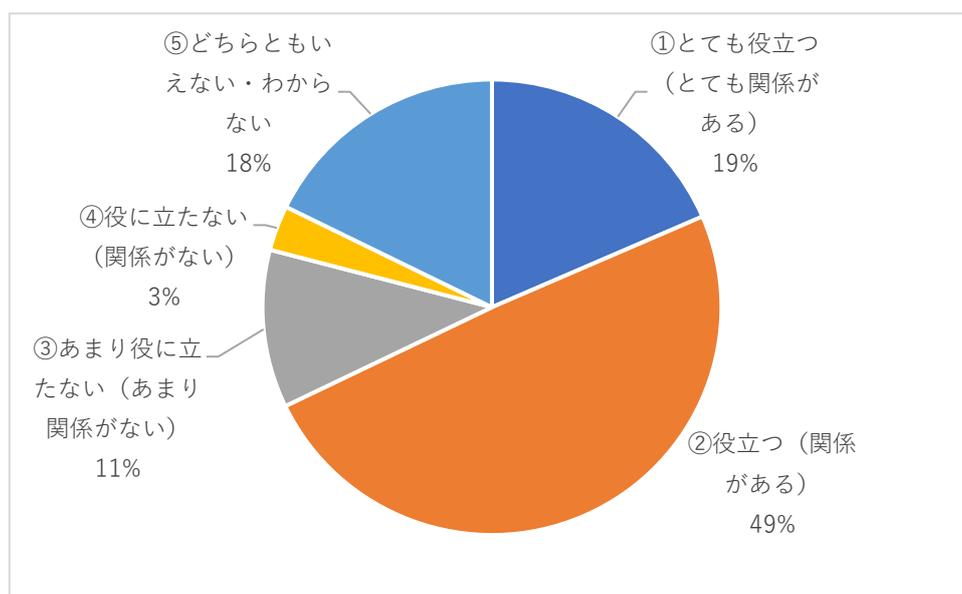
■学力

- 指定校推薦が取りやすい
- 合格できそうだから
- すべり止め
- 志望校落ちたから

(5) 学んでいる内容の将来への役立ち

学んでいる内容が将来、役立つと思うかどうかを質した結果が次のグラフである。「役立つ」が 49%と最も多く、これに次ぐのが「とても役立つ」の 19%となっている。このふたつを合わせると 68%で、多くの生徒が今の学びは将来につながると考えていることがわかる。

図表 2-14 学んでいる内容の将来への役立ち



この設問では、その理由についても質している。以下にその回答を示す。

■役立つ理由

多かった回答は、パソコンやインターネットの学習、選択科目が選べること、英語や英語以外の語学が学べること、検定・資格が取得できること、高校で学ぶ基礎知識は重要であること、コミュニケーションやマナーの学習、スポーツに関する学習、職業（特定の職業を含む）に関する学習など。

- IT 関係の仕事をするために情報の授業が役に立つため
- コンピュータなどを使う授業が役に立ってます
- パソコンは、どの職業でも使うと思うので、検定などの取得は将来にも役に立つと思うから
- パワーポイントを使って発表したり、エクセルで関数を入力して出したり、などして PC を使えるようになってきたから
- 5 科目+商業科目も習えるから！ 普通科には無い科目だから～ 役立つと思います！
- ある程度英語がわかっていたほうがいいから
- お客さんとの接し方やインターネットをつかった授業などがあり、これから大人になったときに役立つと思うから
- いろんな科目があるからいいと思います
- いろんな言語を学べるから
- いろんな資格がとれるから
- いろんな職業の勉強をしているから
- 検定がとれるから
- 授業が選べるつまり、自分の好きな授業しかない、つまり役に立ちます
- 商業の科目は、商業高校でしか学べないからそこは、商業高校に進学した所では強みになると思ったから
- 職業人講話などの講話を取り入れているから
- 専門の分野も学べるのと、普通の教科も学べるから
- これからはネットの時代になってるから
- どの仕事においても基礎知識は必要だと思うから
- 基礎知識はどこに行っても必要だから
- 学校で習ってる事で、無駄になる事は無いと思ってるので
- 関係なくても学んで損はないと思ってるから、将来に関係あるか深く考えたことがあまりない
- どこに進学するにも勉強は必要だから
- 国公立の大学に進みたいと考えているから
- 行きたい専門学校に関連した科目があるから
- 行きたい大学の受験科目に必要なから

- 大学に行くための入試の内容に触れているから
- 数学など理系を学べるから
- 自分の目指す学校の受験科目を勉強できるから
- あまり関係ないが大学に行くために必要だから
- コミュニケーション能力や文章を考える力などを身につけられるから
- スキルの授業で社会のルールやマナーを学べたのでよかったです
- スポーツについて多く学べるから
- スポーツに関することを学んでいるので、保健の勉強のことをたくさん学ぶから
- スポーツマンの食事や健康、栄養について、これからも必要になってくるから
- ビジネスについて詳しく学べて将来役に立つことが学べていると思う
- ホテルの仕事につきたいと思っていて礼儀など仕事で役立つことが学べるから
- マーケティングとか簿記があるから
- 医療系の仕事に就きたいのでその基本となる事を学べるから
- 語学に関してはとても役立っていると思うから
- 英語関係の仕事につきたいから
- 家庭科の授業では、子供の保育について学べたり、総合実践などで国際について色々学べるから！
- 看護の選択授業があるから
- 介護の仕事などにつけるようなことなどを学んでいるから
- 会社を起業するにあたって簿記や経済の事は必ず必要になってくるから
- 自分がやりたいことが出来てるから
- 社会について学べるから
- 人との関係も学べるから
- 人と関わる職業につきたいから
- 相手の気持ちを読み取る事や時間の大切さを学べたから
- 進路指導が充実しているから

■役立たない理由

多かった回答は、「1年生なので興味ある内容を学んでいない」「将来を決めていないので何が役立つかわからない」「興味のある分野を学んでいない」など。

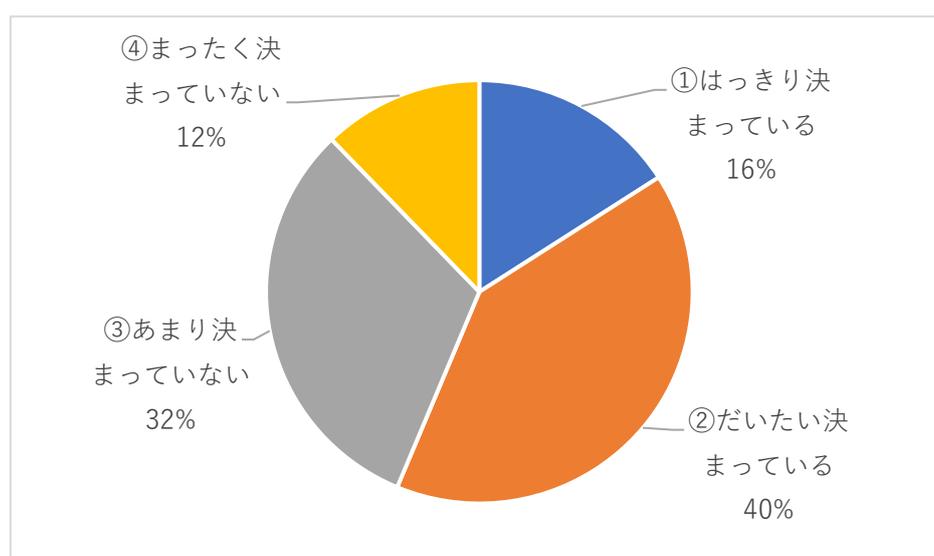
- 1年生の内容はほとんど中学の復習だから
- その分野に必要な物をすべて分かっていないから
- なにが必要なのか分からないから
- まず、やりたいことが見つかってないから
- まずなりたい職業が見つかっていない
- まだ1年生なので自分が興味のある分野にまだ学んでいないから
- まだ1年生ということもあって、中学の続きの学びが多く感じる

- よくわからない
- イラスト、漫画や編集者などの分野に興味があるが、美術もないし、編集者としての文章力を育てる授業も少ないと思ったから
- ありとあらゆる分野で高校の学びは役立ちはあるが、先生にでもならないかぎりとも関係があるとは思えないから
- 家庭科などは役に立つが、ほかの分野が役に立つかわかんないから
- 家庭科の授業が少ないから
- 海外研修がない
- 基本的な部分は学べるけど、専門的な内容は学ばないから
- 興味のある分野に関係ある勉強はしてないから
- 自分的に将来なりたい職業は大体決まっているのでそれに必要かと考えてみるとそんなに必要ではないと思ったから。必要な部分もある。
- 今は役立っているのか分からない
- 社会についてわからないから
- 資格が少ないから

(6) 将来なりたい職業

最も多いのは「だいたい決まっている」の40%、これに次ぐのが「あまり決まっていない」の32%である。「はっきり・だいたい決まっている」が過半数ではあるが、「あまり・まったく決まっていない」が4割以上で、将来の進路に関する意思決定の状況は分かれている。

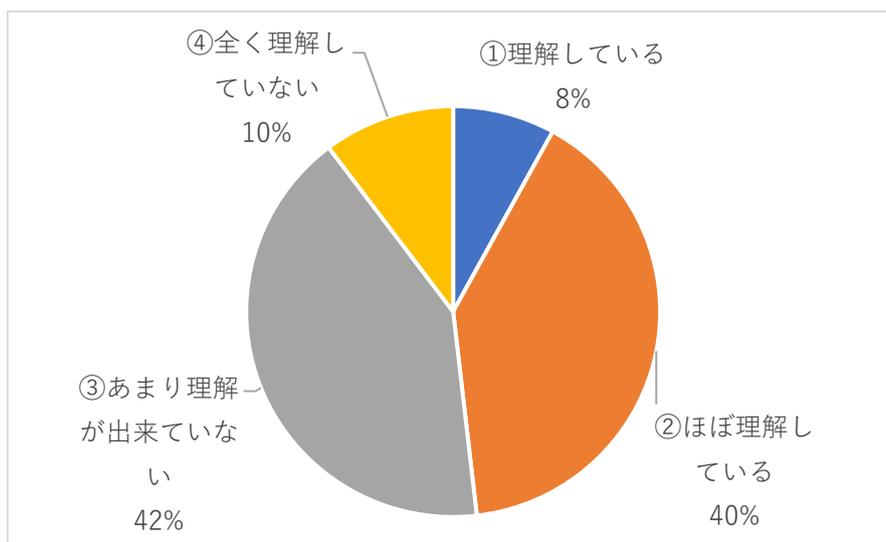
図表 2-15 将来なりたい職業



(7) なりたい職業への理解

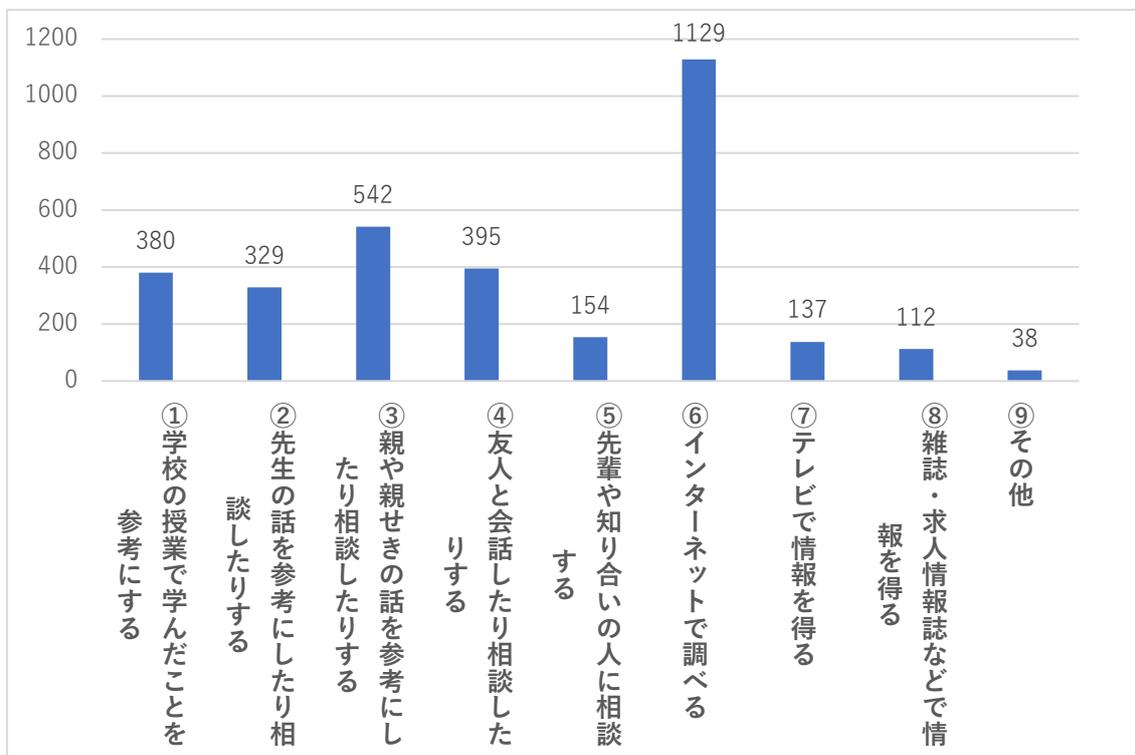
なりたい職業への理解は、「あまり理解が出来ていない」42%、「ほぼ理解している」40%のふたつが僅差で並んでいる。職業に対する理解の状況はほぼ半々に分かれている。

図表 2-16 なりたい職業への理解



(8) 職業理解の方法（2つまで）

図表 2-17 職業理解の方法（2つまで）



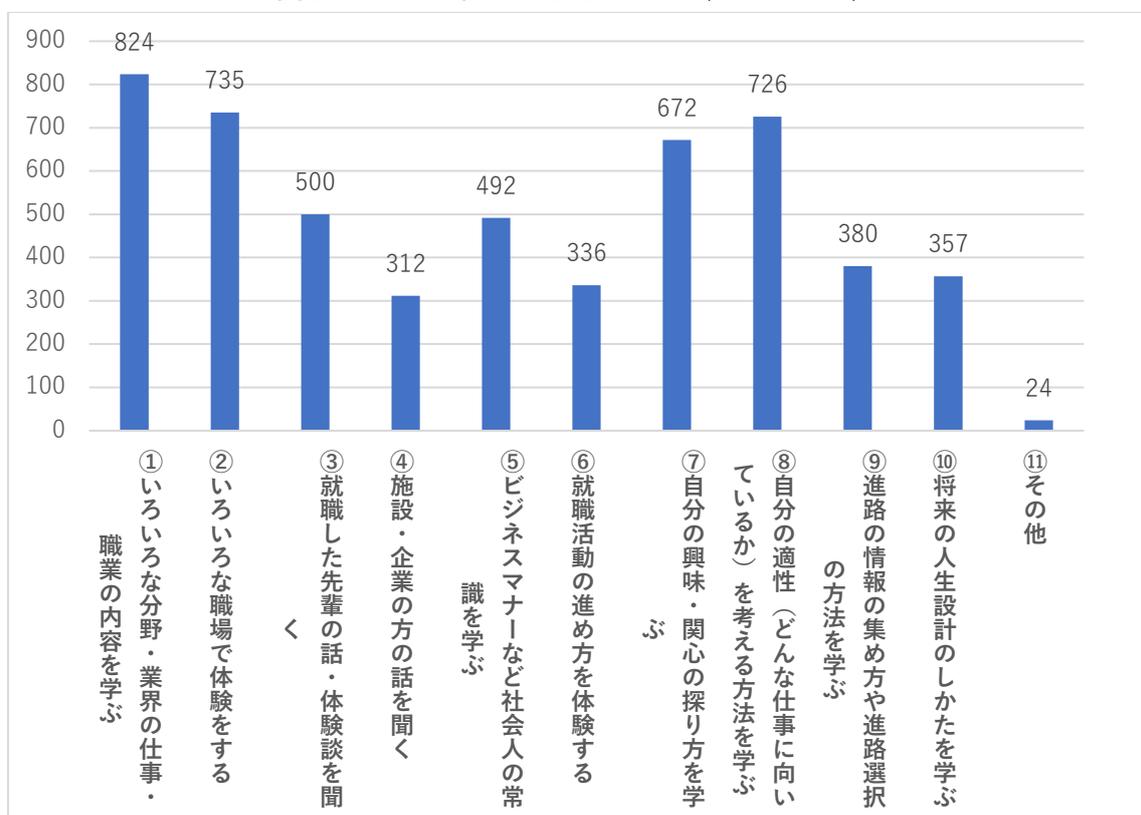
自分の将来の職業について、どのような方法で理解を深めていくか、選択肢から最大2つまでを選んでもらった結果が以下のグラフである。「インターネットで調べる」という回答が最多で、他を大きく引き離している。次に多い回答は「親や親せきの話参考にしたり相談したりする」で、「学校の授業で学んだことを参考にすると」「友人と会話したり相談したりする」のふたつが僅差で並んでいる。

以下に「その他」として寄せられた回答を列記する。

- バイト先の人間
- その道の先駆者の情報を片っ端から調べまくる
- その職業の人の話を聞く
- 講演を聞きに行く
- 自分で体験する
- 学校の資料
- 塾
- 自分で本を買ったり図書館に行ったりして気になることを調べてノートに記入します
- ガイダンスを聴いたりする

(9) 学校で学びたいこと (いくつでも)

図表 2-18 学校で学びたいこと (いくつでも)



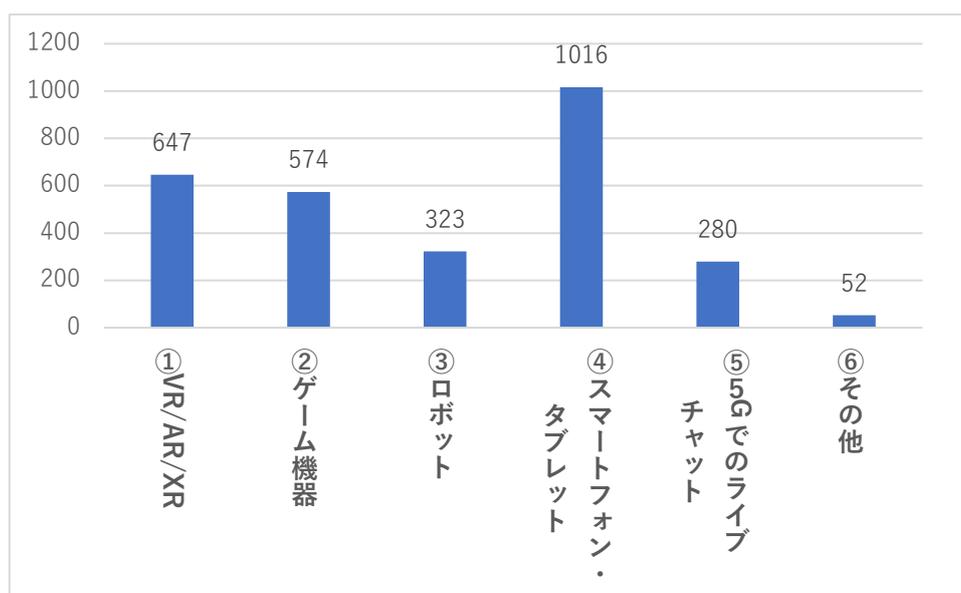
職業に関して学校で学びたいことについて、選択肢から制限を設けずに選んでもらった結果がこのグラフである。

最も多いのは「いろいろな分野・業界の仕事・職業の内容を学ぶ」の 824 件である。これに続くのが「いろいろな職場で体験する」735 件、「自分の適性（どんな仕事に向いているのか）を考える方法を学ぶ」726 件などとなっている。「その他」として、「浅く広くより深く狭くの方がいい」「学校にそのような物は求めない」という意見が寄せられた。

(10) 授業で利用したい先端技術（いくつでも）

「スマートフォン・タブレット」という回答が最も多い。これに次ぐのが「VR/AR/XR」の 647 件、「ゲーム機器」の 574 件である。「その他」として、「全てあったら良いと思う」「zoom や discord などを使っての非接触型授業」「授業はアナログがよい」「とくになし」などの回答が寄せられた。

図表 2-19 授業で利用したい先端技術（いくつでも）

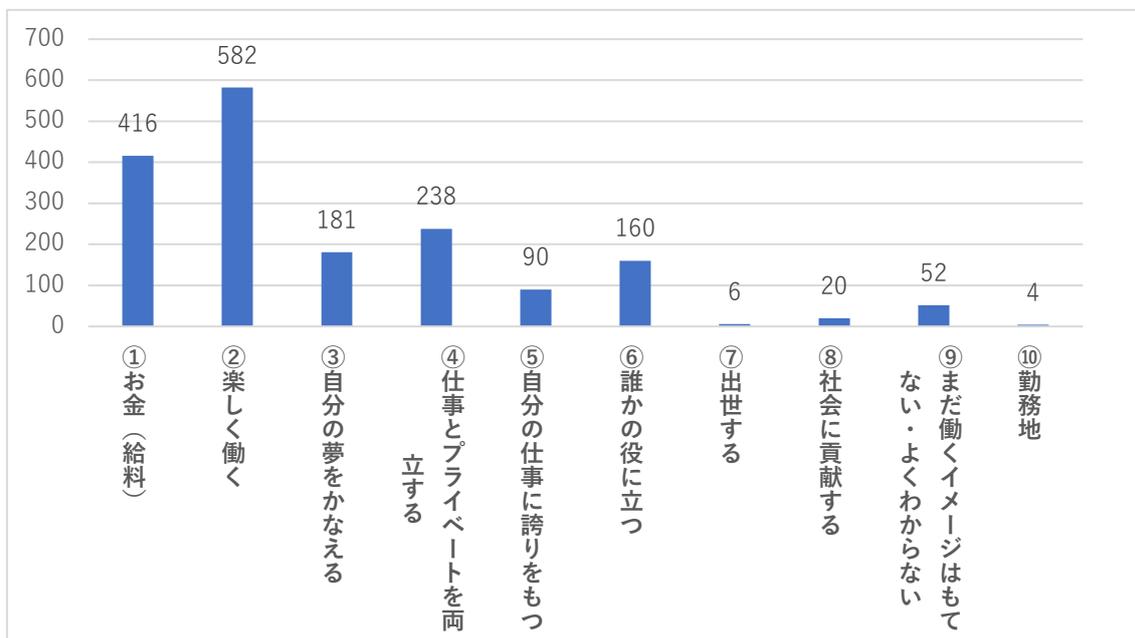


(11) 働くときに最も優先すること（ひとつだけ）

働くときに最も優先することについて、ひとつだけ選択肢から選んでもらった結果がこのグラフである。

最も多いのは「楽しく働く」の 582 件で、これ以下「お金（給料）」416 件、仕事とプライベートを両立する」238 件などとなっている。

図表 2-20 働くときに最も優先すること（ひとつだけ）

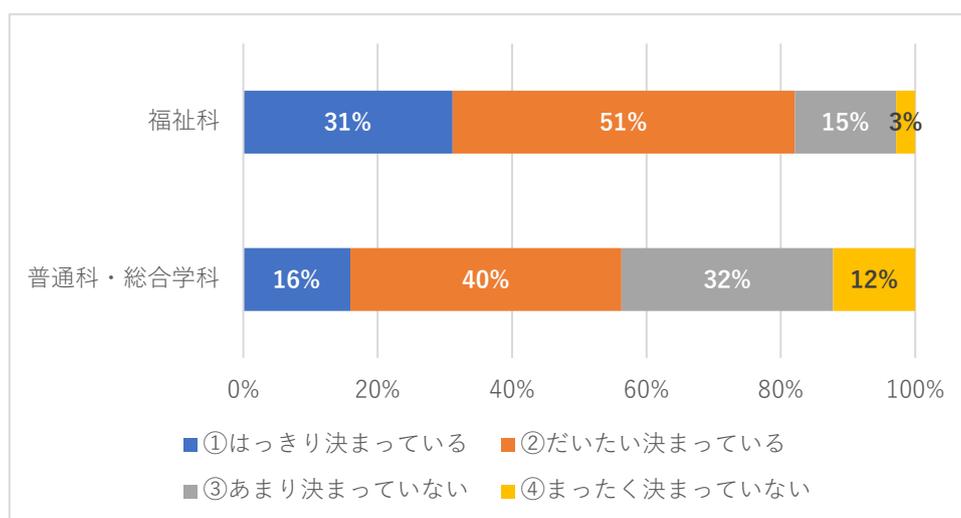


2.2.3. 福祉科と普通科・総合学科の比較

アンケート調査では、福祉科と普通科・総合学科でそれぞれのアンケート調査票を用いたが、後半部分は両者で共通の設問で構成されている。本項では、これら共通の設問について、福祉科と普通科・総合学科で回答結果の傾向にどのような相違点や共通点があるのかを確認していくこととする。

(1) 将来なりたい職業

図表 2-21 将来なりたい職業

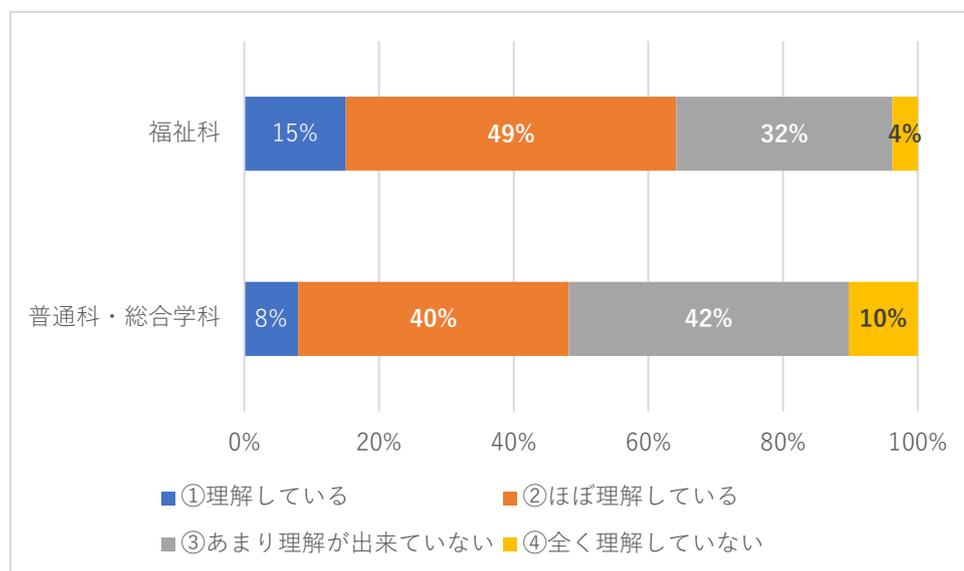


将来なりたい職業について、「はっきり決まっている」が福祉科は 31%、普通科・総合学科は 16%で約 2 倍の開きがある。「だいたい決まっている」も福祉科が 51%であるのに対して、普通科・総合学科が 40%と 9 ポイントの差がある。また、「あまり・まったく決まっていない」という回答も福祉科は 18%だが、普通科・総合学科は 44%と多い。

(2) なりたい職業への理解

「理解している」という回答は、福祉科 15%、普通科・総合学科 8%で、これに「ほぼ理解している」を加えると、福祉科は 64%、普通科・総合学科は 48%と、16 ポイントの差がある。

図表 2-22 なりたい職業への理解



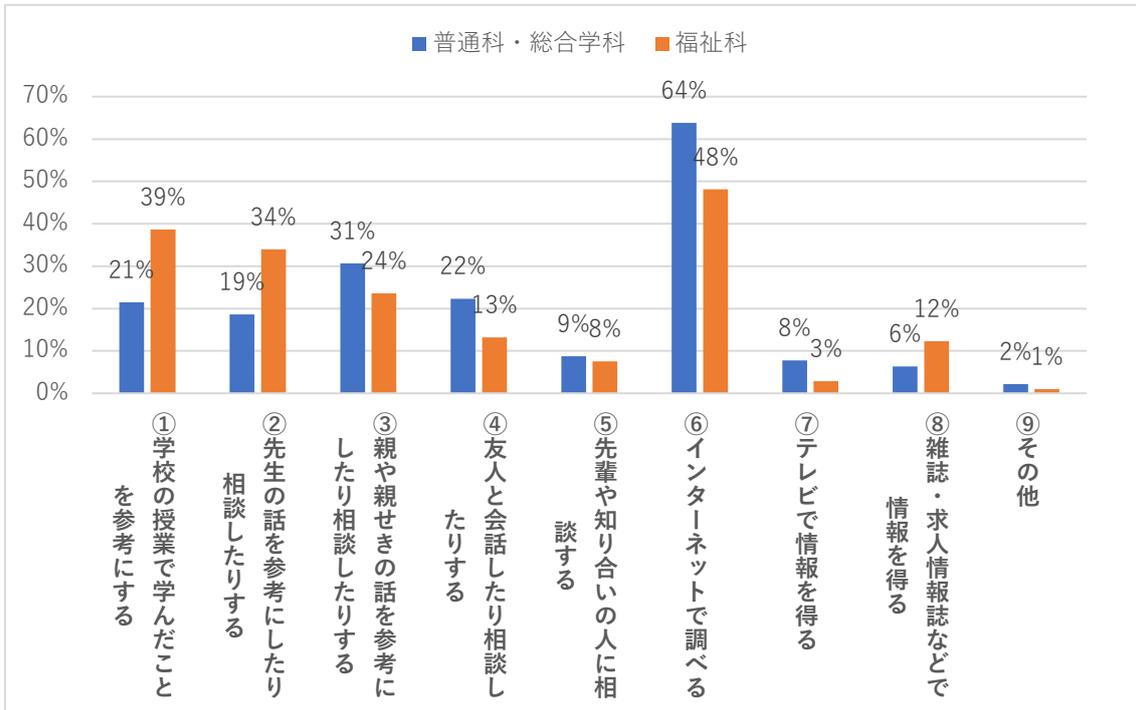
(3) 職業理解の方法（2つまで）

自分の将来の職業について、どのような方法で理解を深めているかを質した結果が次のグラフである。

福祉科、普通科・総合学科のいずれも、最も多い回答は「インターネットで調べる」で、それぞれ 48%、64%となっており、普通科・総合学科の方が福祉科に比べて 16 ポイント多い。一方で、福祉科では「学校の授業で学んだことを参考にする」が 39%であるのに対して、普通科・総合学科は 21%、その差は 18 ポイントとなっている。また、「先生の話参考にしたたり相談したりする」も福祉科は 34%だが、普通科・総合学科は 19%に留まっており、15 ポイントの開きがある。将来の職業・就職に関して学ぶ専門高校の特徴が、これらの結果から見て取ることができる。

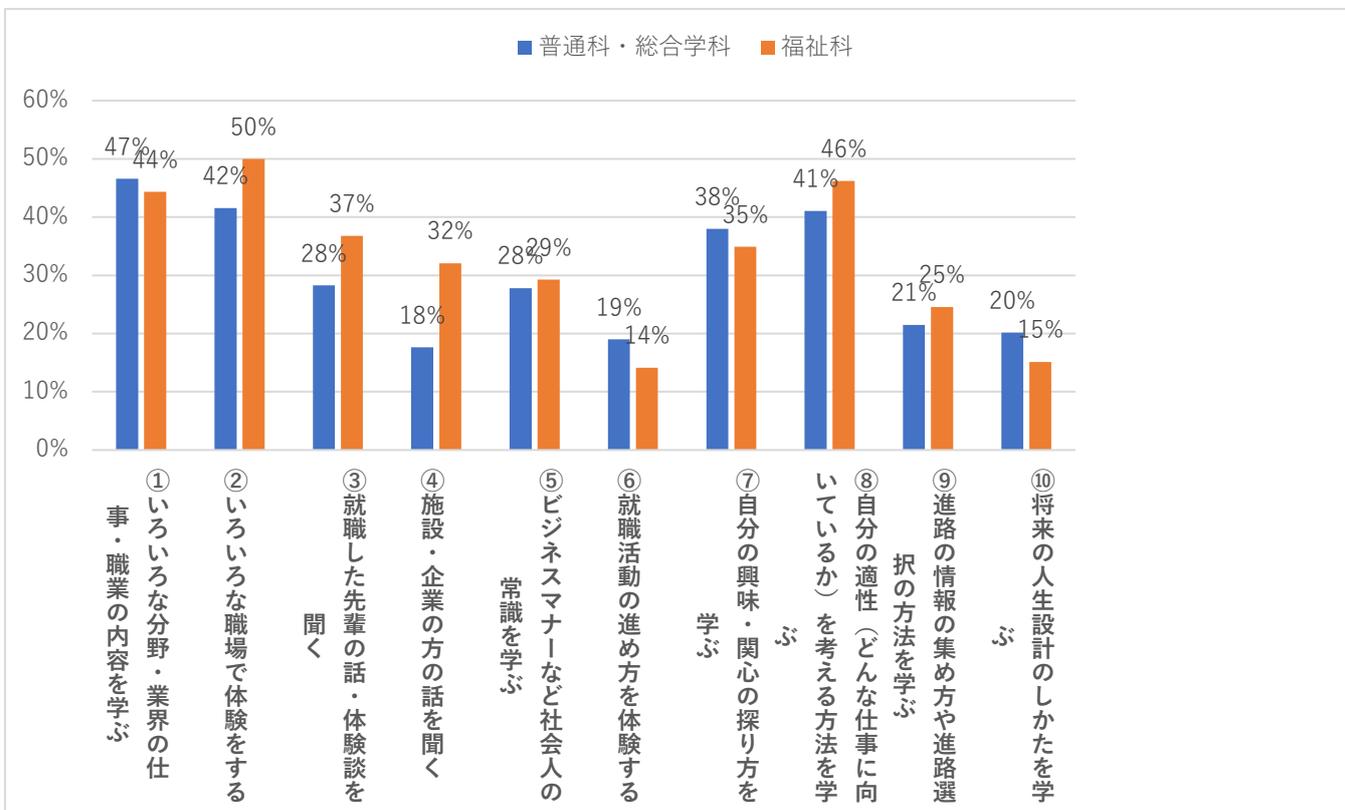
「親や親せきの話を参考にしたたり相談したりする」「友人と会話したり相談したりする」では、普通科・総合学科が福祉科をやや上回っている。

図表 2-23 なりたい職業への理解



(4) 学校で学びたいこと

図表 2-24 学校で学びたいこと



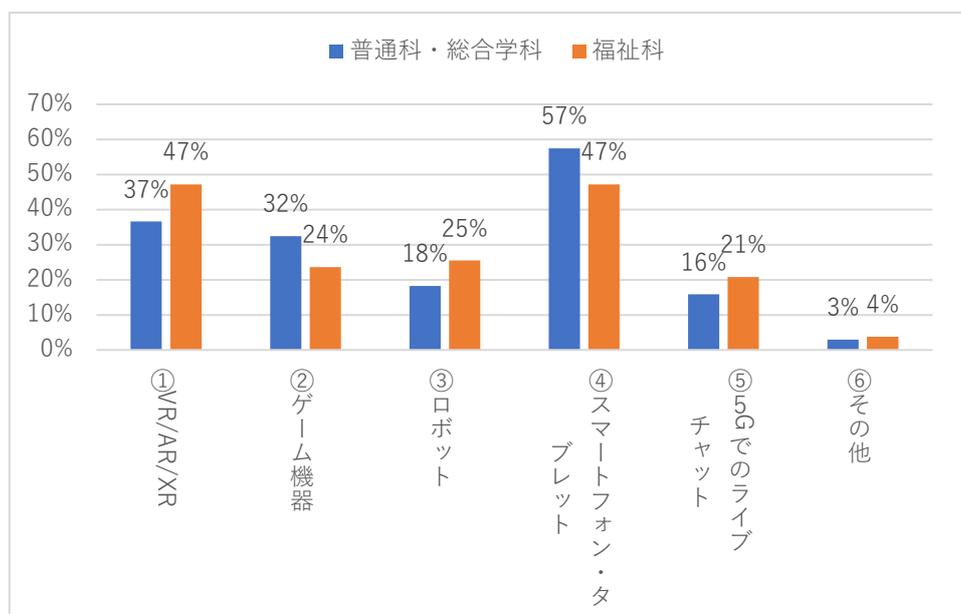
福祉科回答が多いのは「いろいろな職場で体験する」50%（普通科・総合学科 42%）、
「就職した先輩の話・体験談を聞く」37%（普通科・総合学科 28%）などである。

これに対して、普通科・総合学科の方が多くのは「将来の人生設計のしかたを学ぶ」
20%（福祉科 15%）、「就職活動の進め方を体験する」19%（福祉科 14%）などで、ビジ
ネスマナーや進路の情報の集め方といったテーマでは、学科別での大きな違いは認められ
ない。

(5) 授業で利用したい先端技術

授業で利用したい先端技術は福祉科では「VR/AR/XR」「スマートフォン・タブレット」
が 47%と多く、普通科・総合学科の最多は「スマートフォン・タブレット」の 57%とな
っている。

図表 2-25 授業で利用したい先端技術

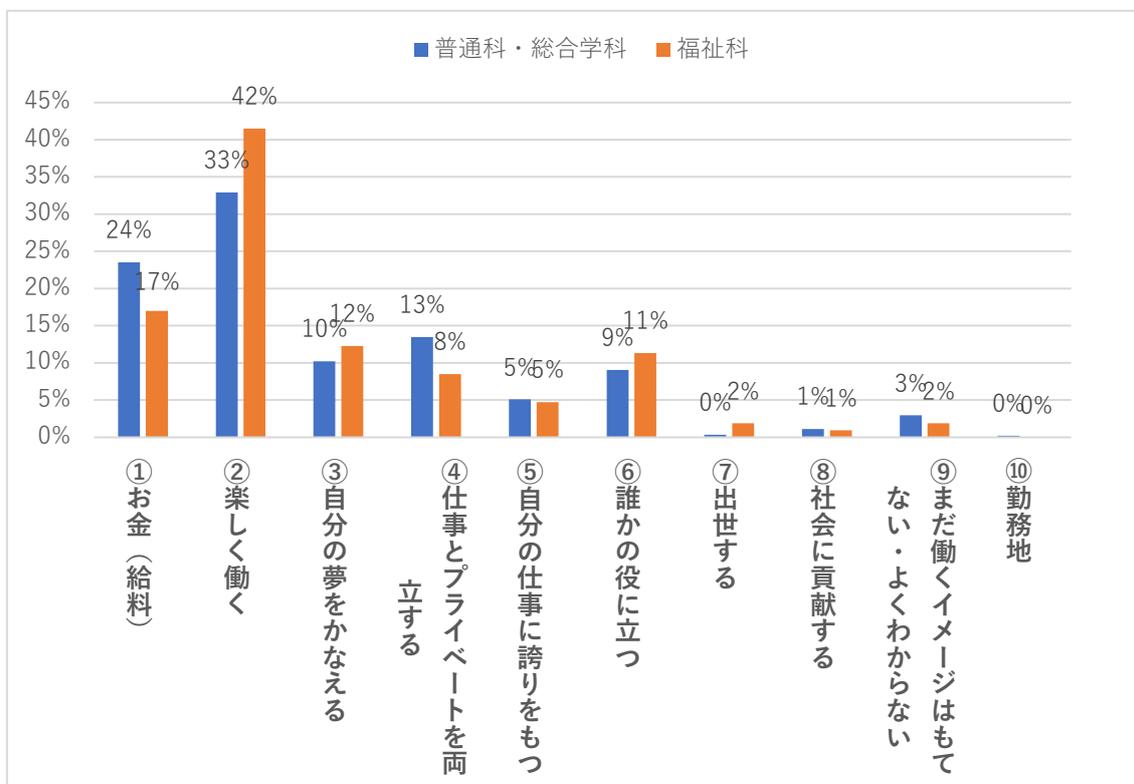


(6) 働くときに最も優先すること

「働くときに最も優先すること」は、福祉科で最も多い回答は「楽しく働く」で 42%を
占めている。普通科・総合学科でもこの回答は 33%と最多である。福祉科の方が 9 ポイン
ト多いが、楽しく働くことを最優先に考える生徒が多いという傾向は共通している。

「お金（給料）」という回答も他の選択肢に比べて多いが、普通科・総合学科が 24%で、
福祉科の 17%を 7 ポイントほど上回っている。また、「仕事とプライベートを両立する」
もわずかではあるが、普通科・総合学科の方が多く、これに対して、他の項目では学科別
での目立った違いは認められない。

図表 2-26 働くときに最も優先すること（ひとつだけ）



2.3.教員対象調査

2.3.1. 福祉科教員対象アンケート調査

(1) 回答数 9名

(2) 福祉を学ぶ科目の単位数（学年別）

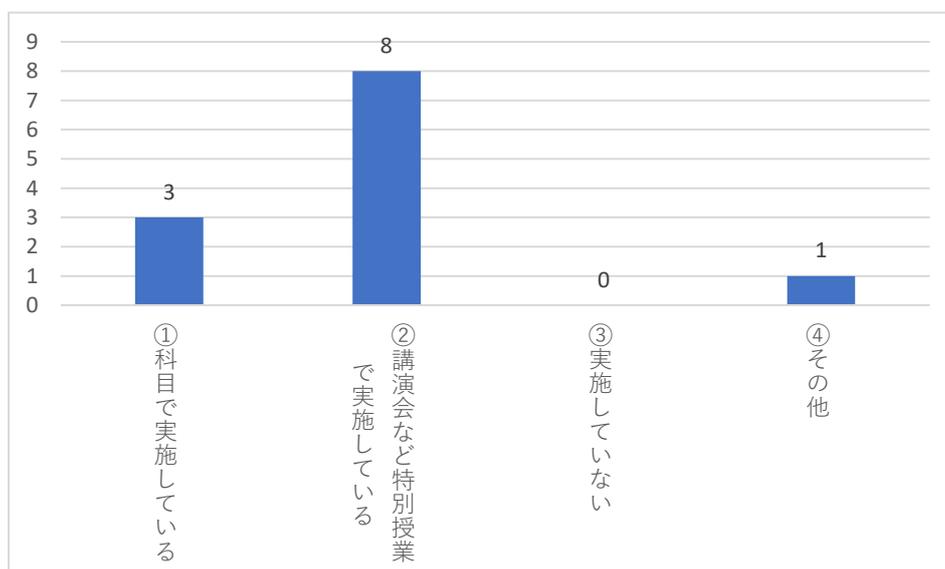
高校	1年	2年	3年
高校 A	11	19	24
高校 B	15	22	19
高校 C	8	9	9

(3) 職業教育を実施している学年別の科目名（単位数）

1年	2年	3年
産業基礎 (2)	起業実践 (2)	

(4) 福祉以外の職業理解や職業キャリアを学ぶ科目等の実施状況

図表 2-27 実施状況



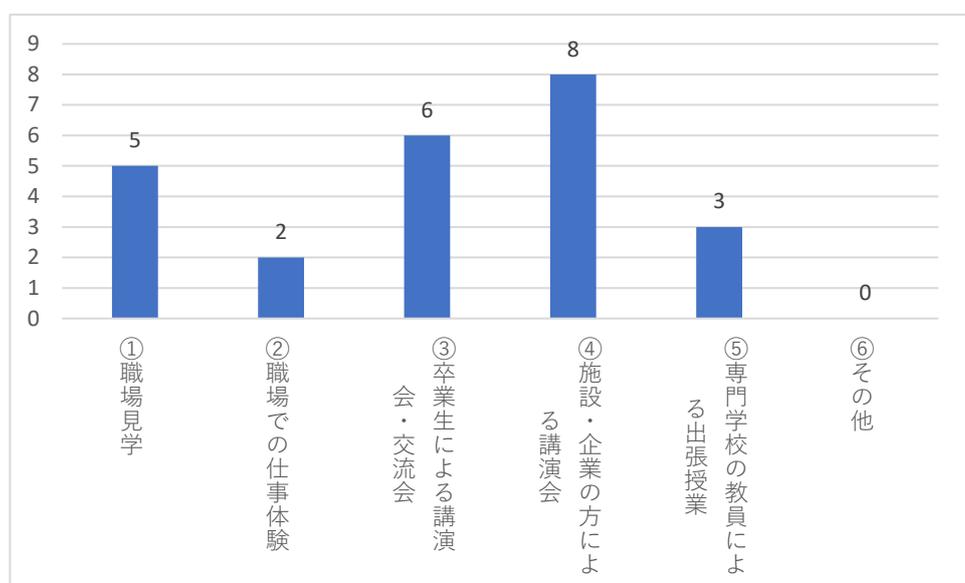
「講演会など特別授業で実施している」という回答が最も多い。

「その他」として「科目ではないが、『総合的な探求の時間』で実施している」という回答が寄せられている。

(5) 特別授業の実施状況

特別授業の内容は「施設・企業の方による講演」が最も多く、これに次ぐのが「卒業生による講演会・交流会」である。

図表 2-28 特別授業の実施状況



(6) 職業教育の目標

■1年生

- 多くの職業を知る。
- 働くとは何か考察し、様々な職業に興味を持つことができる。
- 他者を尊敬する心を持ち、基本的な生活習慣を身につける。
- 自己理解 基本的な生活習慣 自己管理能力 自主的・主体的態度
- 自己理解に努め豊かな人間性を育成する
- 産業に対する視野を広め基礎的な知識・技術を習得させる。

■2年生

- 興味のある職業を詳しく知り、大まかな進路決定をする。
- 自己理解を通して、興味がある職業に必要な能力を考え、今後の進路を考えることができる。
- 自己管理能力、自主的・主体的態度を身につける。
- 発表力 コミュニケーション能力定着
- ものづくりの意識や達成感を体験し産業人としての自覚を身に付ける
- 目的意識を持ち、自ら学ぶ意欲と態度を育成する。

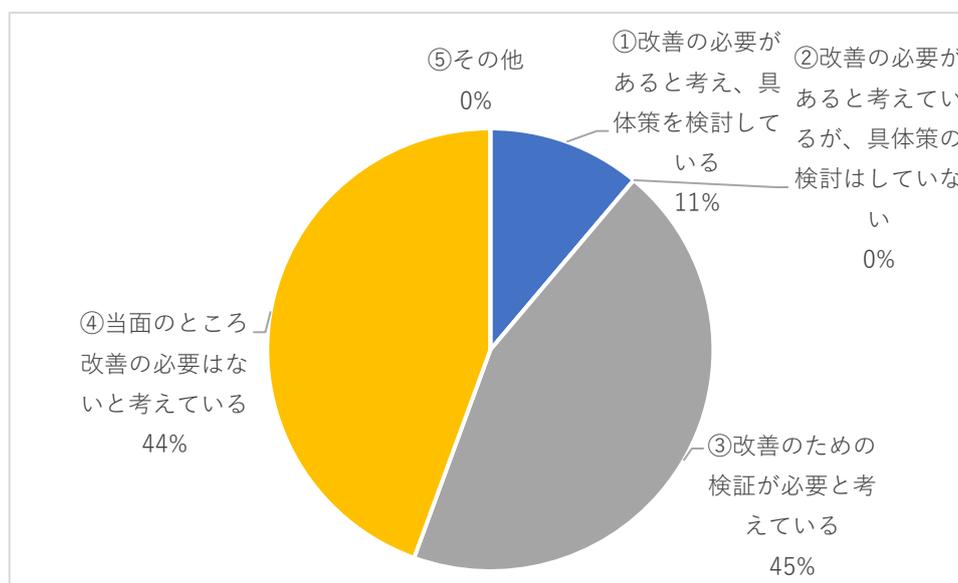
■3年生

- 決定した進路に向けて、努力（進路活動）する。
- 就きたい職業に必要な能力を獲得できるように能力向上を図ることができる。
- 社会性、発表力を身につける。
- 社会性 課題解決能力 遂行能力
- 社会人として地域社会、産業に貢献できる態度を身に付ける
- 社会に貢献できる心身ともに健全な人材を育成する。

(7) 職業教育の改善について

職業教育の改善に対する考えでは、「改善のための検証が必要」と「当面のところ改善の必要はない」がそれぞれ45%、44%と、ほぼ同水準となっている。

図表 2-29 職業教育の改善について



改善が必要な点に関しては、以下のような意見が寄せられている。

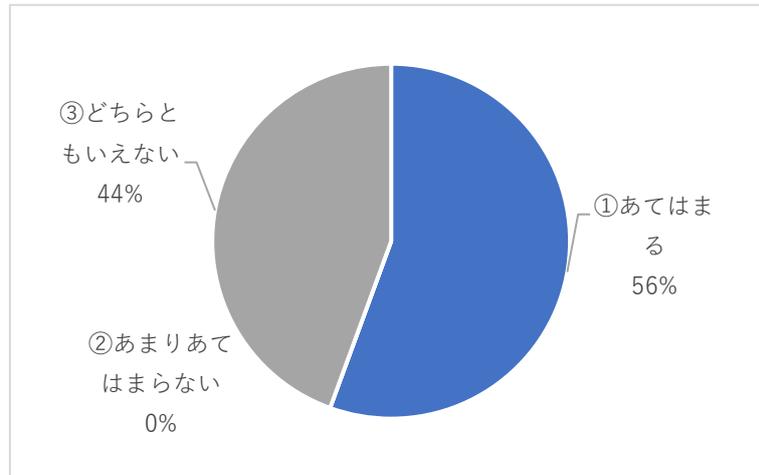
- 生徒の多様な可能性を伸ばすことができる教育方法に改善したい。
- 生徒の能力や可能性を適切に評価する評価方法に改善したい。
- 特別な支援が必要な生徒に対する授業方法の工夫や改善をしたい。

(8) 生徒の職業意識

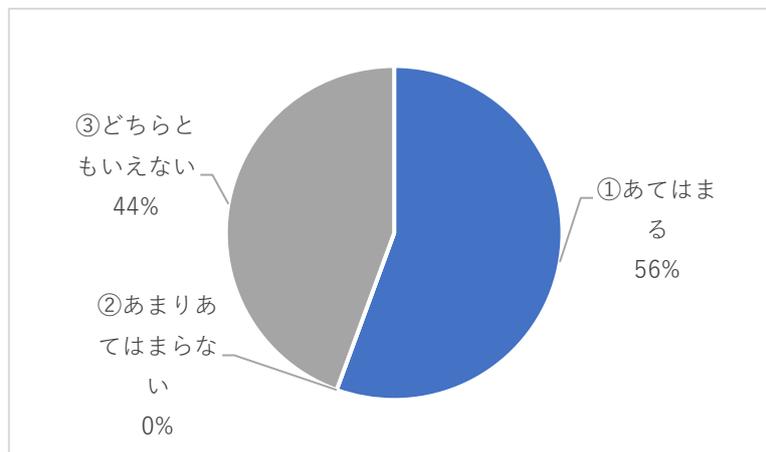
「職業を学ぶことに意欲的か」は「あてはまる」56%、「どちらともいえない」44%とふたつに分かれている。

「福祉に対する興味・関心が強い」についても同様の回答となっている。

図表 2-30 職業を学ぶことに意欲的

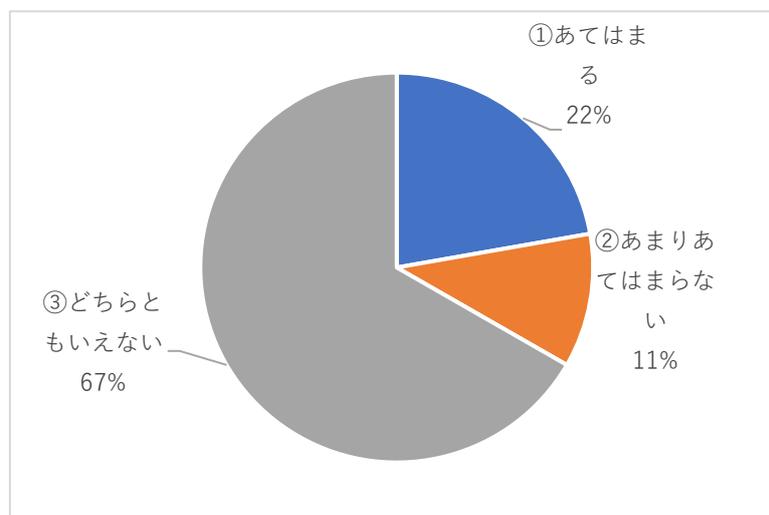


図表 2-31 福祉に対する興味・関心が強い



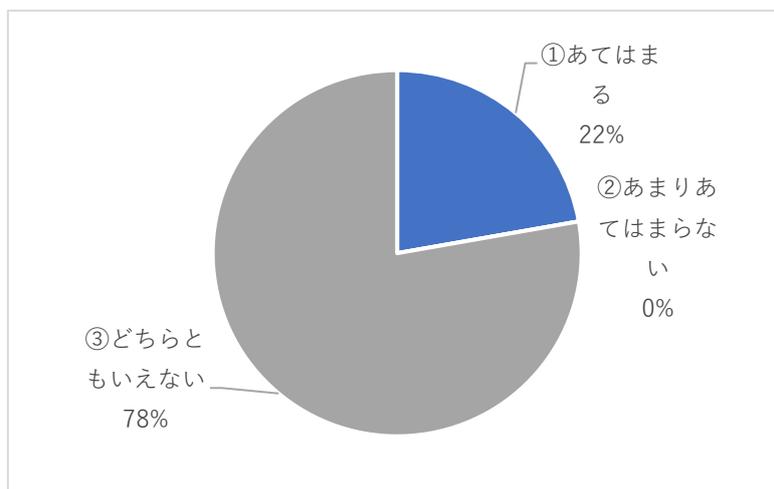
「就職への意識が高い」は「どちらともいえない」が 67%と最も多く、「あてはまる」は 22%、「あまりあてはまらない」11%となっている。

図表 2-32 就職への意識が高い



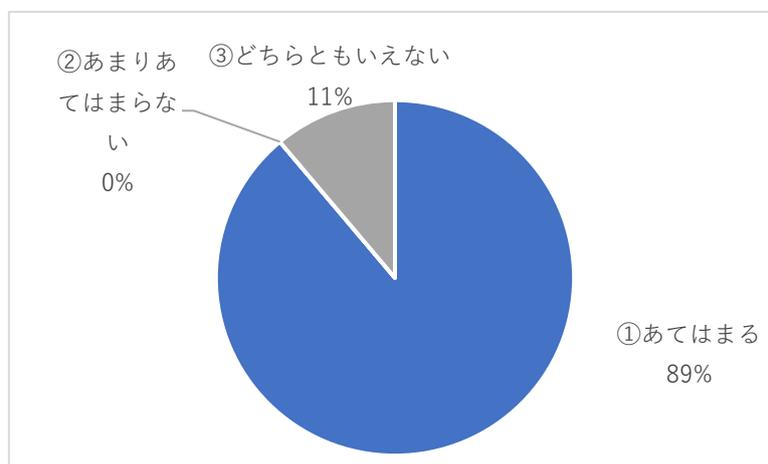
「進学への意識が高い」については、「どちらともいえない」が78%で最も多く、「あてはまる」は22%に留まっている。

図表 2-33 進学への意識が高い



「福祉以外の分野にも関心がある」は、これまでの設問の回答と異なり、「あてはまる」が多く、89%を占めている。

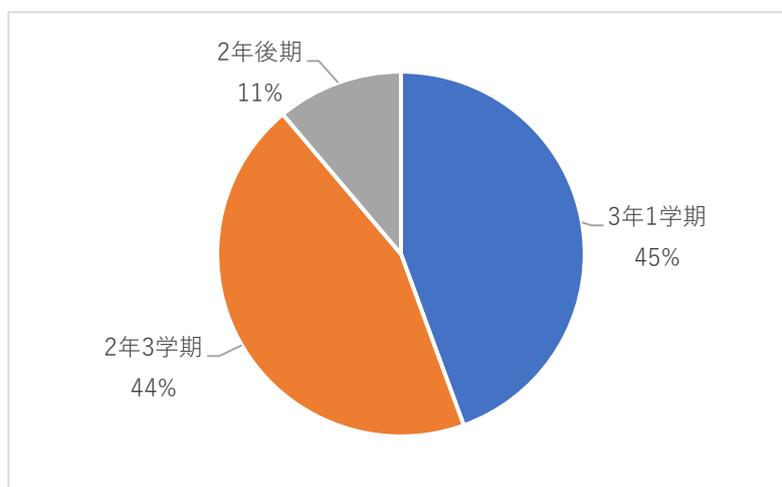
図表 2-34 福祉以外の分野にも関心がある



(9) 生徒が進路を決める時期

2年3学期、3年1学期という回答が多い。

図表 2-35 生徒が進路を決める時期

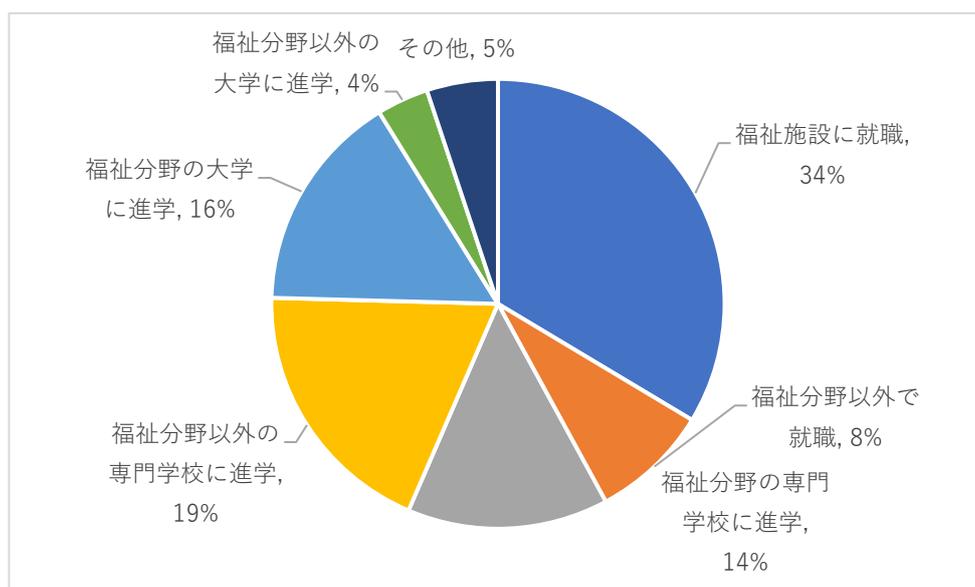


(10) 昨年度の卒業生の進路

昨年度の卒業生では「福祉施設に就職」が最も多い。また、「福祉分野の専門学校に進学」「福祉分野の大学に進学」も全体の3割程度を占めている。

その一方で、「福祉分野以外の専門学校に進学」や「福祉分野以外で就職」「福祉分野の大学に進学」など、卒業後の進路は様々であるようだ。

図表 2-36 卒業後の進路



(11) 出前授業への要望

- 本校のような介護福祉士養成校においては、介護福祉現場における実践例などを盛り込んだ出前授業であると助かります。
- 高校教員ではまかなえない職種の職業理解のための体験的な授業の実施
- 発達障害等、特別に支援が必要な生徒への対応方法について、実践（ワーク等）を交えた授業をお願いしたい。
- 将来の進路選択に関して、生徒たちに考えさせる取り組みをお願いしたい。

2.3.2. 普通科・総合学科教員アンケート対象調査

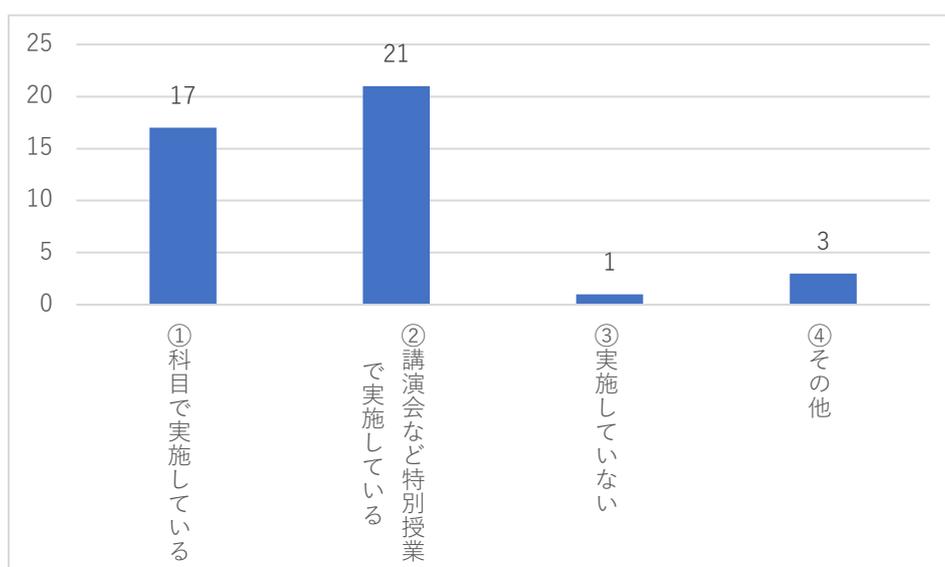
(1) 回答数 28名

(2) 職業教育を実施している学年別の科目名（単位数）

1年	2年	3年
課題研究 (3)	総合実践 (3)	LHR (1)
産業社会と人間 (3)		
産業基礎 (2)	起業実践 (2)	起業実践 (2)
産業基礎 (2)	起業実践 (2)	
産業社会と人間 (2) 総合的な探求の時間 (1)	総合的な探求の時間 (1)	総合的な探求の時間 (1)

(3) 職業教育の実施状況

図表 2-37 職業教育の実施状況



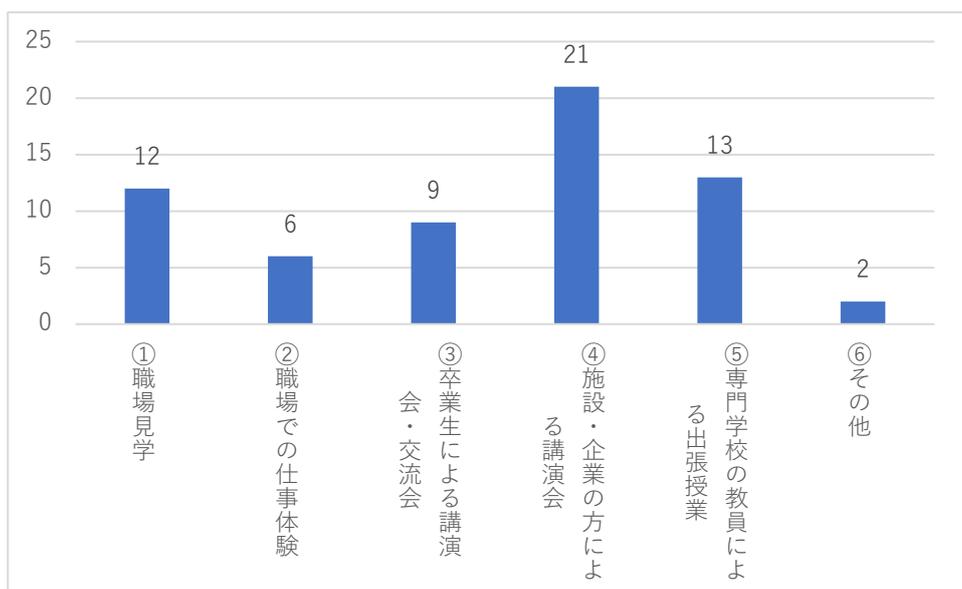
「講演会など特別授業で実施している」が最も多い。「その他」として以下の回答が寄

せられている。

- 総合的な探究の時間で「キャリアノート」（実務教育出版）などを利用して行っている。
- ホームルーム、総合的な探究の時間
- LHR では実施している

(4) 特別授業の実施状況

図表 2-38 特別授業の実施状況



最も多いのは「施設・企業の方による講演会」という回答である。「その他」として以下の回答が寄せられている。

- 探究活動の一環としての職場訪問を実施している。本校の探究活動は地域の自治体や企業と連携して行うため、必然的に職場見学を行うことになる生徒が多数おります。
- 小学校オンラインキャリアトーク

(5) 職業教育の目標

■1年生

- 職業に関して幅広い興味関心を持たせる
- 就職・進学に対する意識を高める。
- 進路講話の実施や情報提供を通して、就職に対する意識を高揚する。
- 時間を守り先の見通しを持って行動できる生徒の育成
- 自己理解に努め豊かな人間性を育成する。
- 専門高校にはあるかもしれませんが、一般的に普通高校の場合、職業教育の目標とい

うよりもキャリア教育の目標をたてます。従いまして、問1、問3の回答も「キャリア教育の視点」からの取り組みとなります。

- 特に「職業教育」としての目標は設けていませんが、第1学年は生活意識の向上、将来の夢への意識、を持たせるようなキャリア学習を行っています。
- 多くの職業の種類を知る
- 人間関係形成・社会形成能力の育成
- 職業の各専門分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる
- モラル教育 基礎学力の定着 検定取得推進

■2年生

- 学習意欲の高揚 インターンシップの推進 早期進路決定に向けた取り組みの実施
- 就業体験やその他の活動を通して職業感を育み、自己実現ができるような進路意識の向上を図る。
- 進路活動を通して、生徒の好ましい職業観の涵養を図る。
- 自己の将来を見据え、自己管理能力を高めると共に、物事に粘り強く取り組むことができる生徒の育成
- ものづくりの意識や達成感を体験し産業人材としての自覚を身に付ける。
- 第2学年は、1年生から継続して、生活意識の更なる向上、夢の実現への努力、を掲げてキャリア学習を行っています。
- その職業の実態と内容を深く知る
- キャリアプランニング能力の育成
- 实际的・体験的な学習を通して、将来の職業に必要な基礎を養うとともに望ましい勤労観、職業観を育てる
- 進路について深く考える

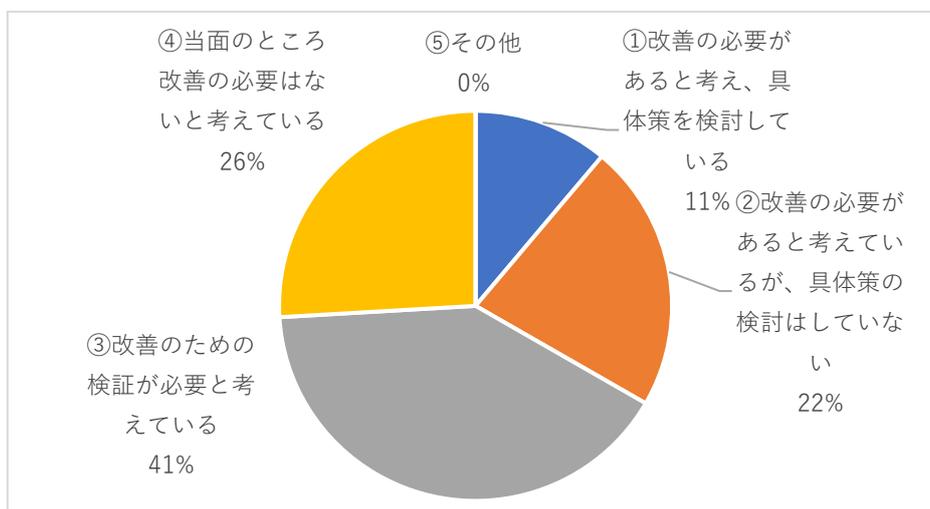
■3年生

- 社会人として地域社会、産業に貢献できる態度を身に付けさせる。
- 第3学年は、社会人への第一歩の意識、生活意識向上の実感、希望進路の達成、という目標を立ててキャリア学習を行っています。特に就職を希望する者に対しては「社会人への第一歩の意識」を持たせて取り組んでいます。
- 実際に自分が働くとなった場合を想定し、職種を絞ってより踏み込んだ内容を知る
- 個別面談等を行い適切な職業感を育成し、進路の早期決定を実現させる。
- 職場見学、体験学習、面接会への参加を促し、定職意識を持たせるようにする。 キャリアカウンセリングを行い、適切な職業観、勤労観を持つよう指導する。
- 自己の目標を定め、後輩の模範となり、進路実現できる生徒の育成
- 社会の発展に貢献する職業人を育成する
- キャリアプランニング能力の育成
- 主体的な進路選択の推進

- 進路を達成する

(6) 職業教育の改善について

図表 2-39 職業教育の改善について



最も多い回答は「改善のための検証が必要」の 41%である。「当面のところ改善の必要はない」26%、「改善の必要があると考えているが、具体策の検討はしていない」22%、「改善の必要があると考え、具体策を検討している」11%と回答を分かれている。

改善が必要な点について以下のような回答が寄せられている。

- 現在、「産業社会と人間」と「総合的な探求の時間」を軸に 3 年間を通したカリキュラムを作成・実施し、ブラッシュアップしている。3 年生では自身の進路に関する課題研究に取り組むため、職業イメージをより具体的にしていく必要があり、地域・外部機関との連携強化がより一層求められる。生徒は保育や看護等、イメージしやすい職種を希望する傾向がある。また、職業名は知っているがそのためにどのような学習をするのか、どの程度の学力が必要なのかなど、その職種に就くための過程を知らないことが多く、理解を深めるための取り組みが必要である。
- 学校設定科目として実施しており、担当教員の負担や到達目標が不明確になっているため、次年度以降は大幅に変更する予定となっている。
- 単発の講座が多いので、事前事後指導を含めた継続指導が必要
- 就職を希望する者が少ないので、1・2年生から職業教育を通しての希望進路(就職)達成への指導を行いたいのはやまやまですが、なかなかピンポイントで職業教育を行えないのが現実のところです。
- 地域の企業や職業人との交流、職業というより、さまざまな大人の生き方に触れる機会を作りたい
- これまでの職業観ではなく、VUCA な社会において課題発見能力・情報編集能力が必

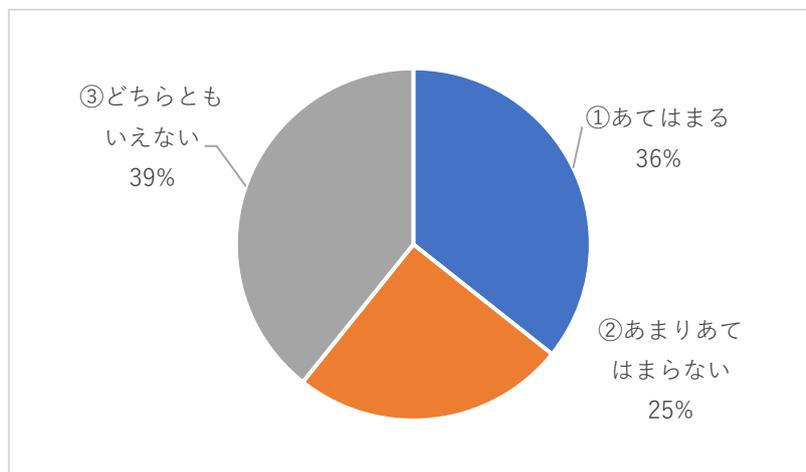
要であることを生徒たちに認識させ、主体的に物事へ関わる姿勢を育成することが重要である。そのためにメンタル面や何のために学ぶのかなどを含めた指導と社会人との関わりを今以上に増やしていきたいと考えている。

- 生徒の進路への関心が低いことから。
- 目標を共有できていない点。
- コロナ禍で就業体験がなくなってしまったこと。

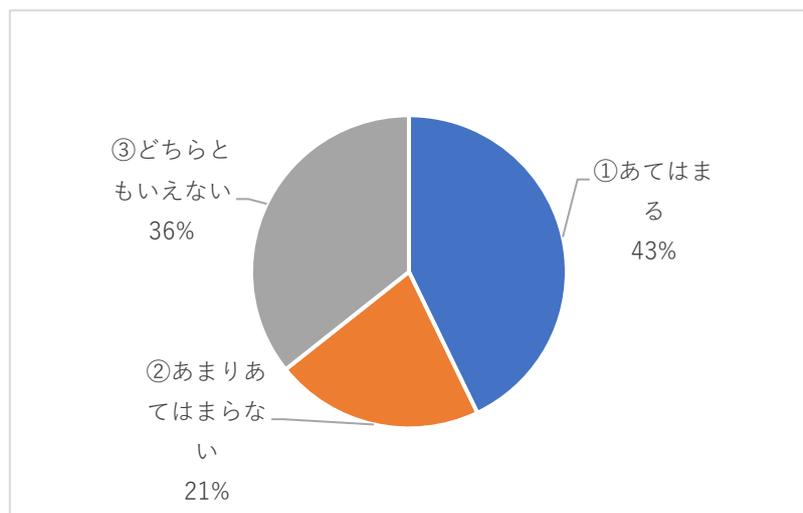
(7) 生徒の職業意識

「職業を学ぶことに意欲的か」は、「あてはまる」が36%、「あまりあてはまらない」が25%、「どちらともいえない」が39%で、回答は3つに分かれている。

図表 2-40 職業を学ぶことに意欲的



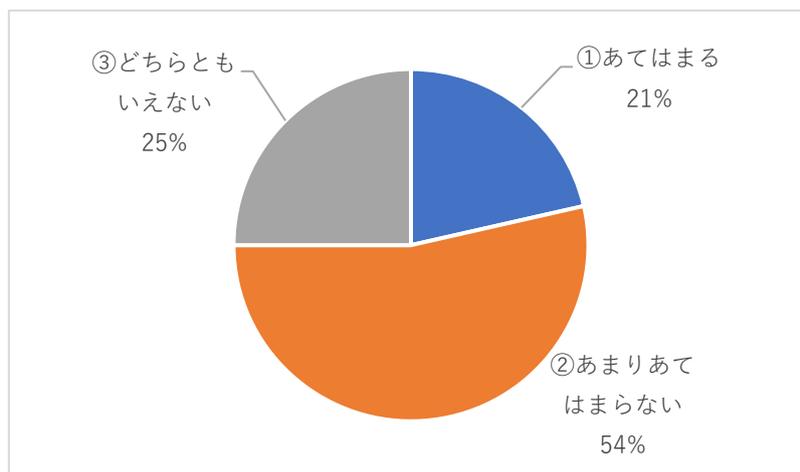
図表 2-41 特定の職業分野に対する興味・関心が強い



「特定の職業分野に対する興味・関心が強い」は、「あてはまる」が43%と最も多い。

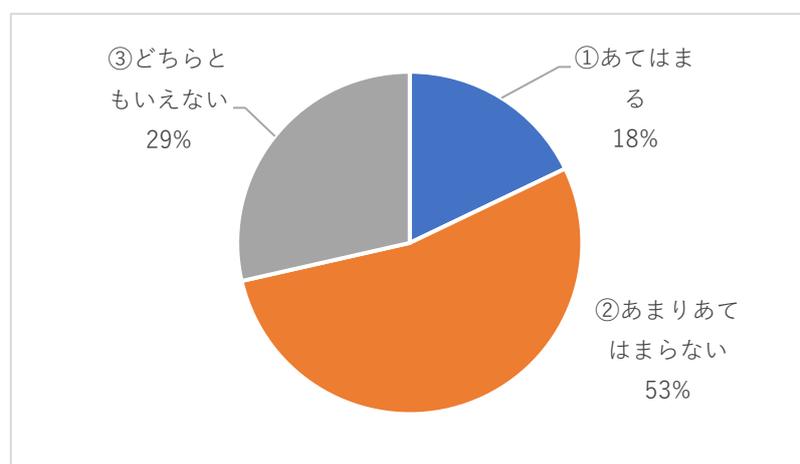
「さまざまな職業分野に幅広く関心がある」では、「あまりあてはまらない」が54%と半数を超えており、「あてはまる」は21%に留まっている。

図表 2-42 さまざまな職業分野に幅広く関心がある



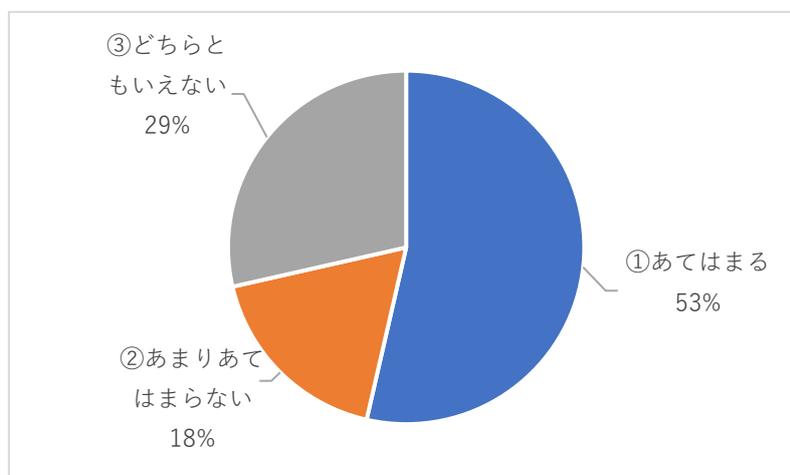
「就職への意識が高い」は「あまりあてはまらない」が過半数の53%を占めている。これに対し「あてはまる」は18%と2割に満たない。

図表 2-43 就職への意識が高い



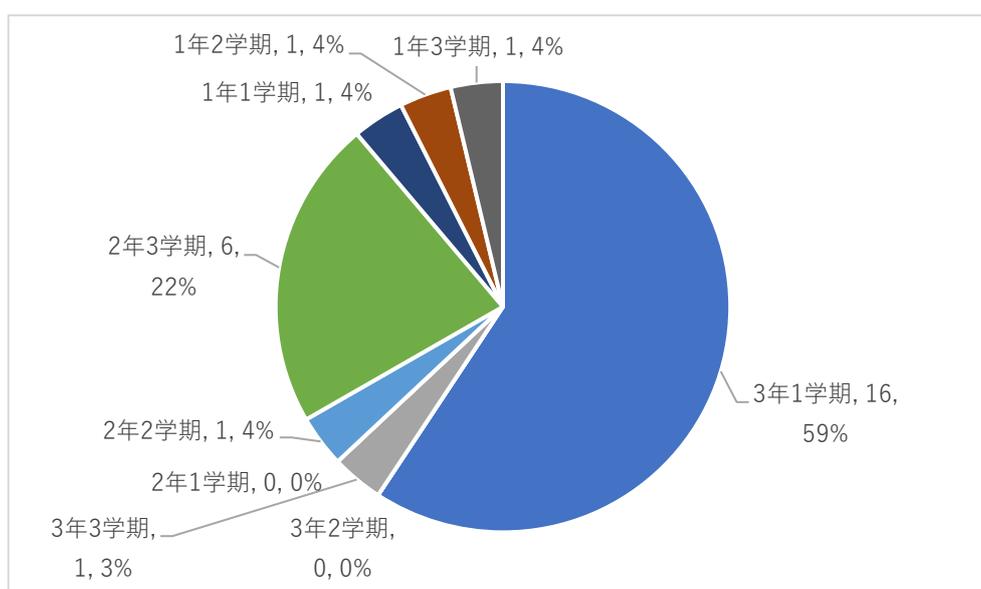
「進学への意識が高い」では、「あてはまる」が53%で最も多く、「あまりあてはまらない」は18%と少ない。

図表 2-44 進学への意識が高い



(8) 生徒が進路を決める時期

図表 2-45 生徒が進路を決める時期

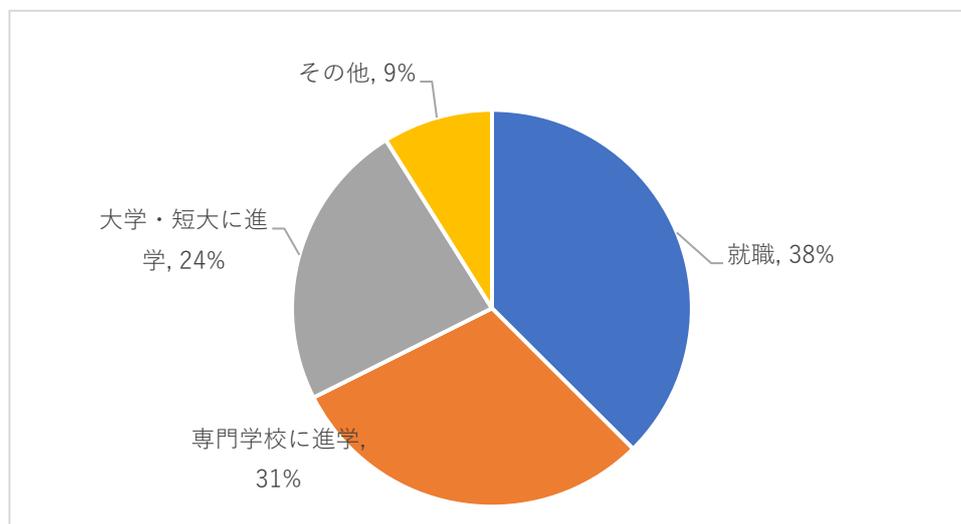


生徒が進路を決める時期で最も多い回答は、「3年1学期」で半数を超えている。これに次ぐのは「2年3学期」となっている。先に報告した「福祉科教員対象調査」の結果と同じく、生徒の多くは2年3学期から3年1学期に卒業後の進路を決めているようである。

(9) 昨年度の卒業生の進路

「就職」が最も多く、「専門学校に進学」がそれに次ぐ結果となっている。

図表 2-46 卒業後の進路



(10) 出前授業への要望

- 話だけだと飽きてしまうので、実習など体験授業が望ましい。
- 時間や内容など、柔軟に対応してくださる学校さんが多く助かっています。
- 実際に専門学校で使用している専門機器等を活用した学習体験や国家試験対策の体験などが考えられる。それらを通して、どのような学習をするのか、どの程度の学力が求められるのか（身に付ける必要があるのか）を考えてもらう機会としたい。また、現役の専門学生による情報交換会等もあるとより身近に感じ、高校生も興味を示しやすいと考える。
- 将来の進路も含め、情報・通信技術関連の講話をしていただけると助かります。
- 専門学校の出前授業では一度に多くの職種・職業のクラス開校にご協力いただいております。コロナ禍の現在では実施も難しいところがありますが、オンデマンドで準備していただけたら、生徒たちが関心のある講座を受けることができ良いのかと思われました。
- どのような資格が取得できるか。その確率はどのくらいか。その資格を活用してどのような職種に就いているか。
- 専門学校への進学は、具体的な職業と直結するものであることを、強調する必要があると思います。その仕事の多面的な情報を提供することが大事だと思います。進学後のミスマッチを防ぐためにも。
- その分野が社会とどう繋がっていくのか、その分野を学ぶ意義等を伝えてほしい。学校の宣伝（紹介）は、全員対象の出前講座では極力控え、興味を持った生徒に対して

説明を行ってほしい。

- 学校の紹介と勧誘に時間をかけすぎないこと。他の専門学校や大学と比較して、自分の学校が一番だからと生徒の視野を狭めるような説明はやめてほしい。
- 体験型（最先端機器があるとなお良い）であることと、その分野に進んでいった方に実際に働いて感じることや働くことへの（熱い）想いなどを出前授業で直接話してもらう機会があっても良いと思います。
- 対人援助職に必要な心構え、知識、技術はもちろん大切ですが、ロールモデルとなる「カッコイイ大人」と出会う授業は、各業界に関係なく、“自分もやろう！”と勇気もらえるので、そういった「人」から「職種」への流れで授業展開できると、生徒は自分事に置き換えやすいかなと考えます。そして、できれば“失敗談”も伝えられる大人がいいです。「自分は自身に課したタスクを、努力してクリアしてきた。目標設定から行動が変わる、みなさんもそうになってほしい」みたいなスタンスは、息苦しく感じる生徒もいます。

2.3.3. ヒアリング

(1) 対象 実施委員会の構成機関である高等学校（沖縄県、宮城県）

(2) 回答数 5校（15名）

(3) 主なヒアリング項目

実施している職業教育の効果（福祉、福祉以外）、職業教育の課題（新たに取り入れたい内容や指導方法、その際に課題となることなど）、専門学校・企業等への要望（出前授業、職場体験実習など）

(4) ヒアリング結果

各高等学校が実施している職業教育について具体的な情報を得ることができた。職業教育を実施することで、職業や国家資格に関わる専門的な知識・技能の獲得だけでなく、例えば福祉系の場合を例にすると、倫理観を高める、自分が暮らす地域の現状を理解するなどの教育効果もあるという。

高専連携による教育に関しても要望を確認することができた。専門学校の専門性を活かした実践的な授業や職場体験の指導など具体的な要望も多く、今後の連携の内容を検討する上で大いに参考となるものであった。

3. 高専連携一貫型職業教育プログラム

3.1. 概要

(1) 目的

作業療法士は他の医療職に比べて入学前に生徒が理解を深める機会が少ないことなどから、進路選択のミスマッチ予防や中途退学の防止など現状の専門教育の改善を図る。

(2) 実施内容

高等学校では、キャリア教育基礎や社会人の基礎的能力を育む学習から基礎学力の向上、医療福祉分野の基礎知識や専門職について学習する。

進学後は養成課程外のカリキュラムとして基礎科目、専門科目の継続学習支援や国家試験のフォローアップなどを実施する予定である。

(3) 学習目標（高等学校3年間）

図表 3-1 学習目標（高等学校3年間）

学年	学習目標
1年生	人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力などキャリア教育に必要な基礎的知識を学ぶ。
2年生	医療福祉分野での対人援助技術及び各専門職について学ぶ。対人援助技術について理解することができる。
3年生	医療福祉分野に必要な対人援助技術を理解し、選択した分野の専門職について学び理解することができる。

(4) 学習目標（専門学校3年間）

図表 3-2 学習目標（専門学校3年間）

学年	学習目標
1年生	医療福祉系に必要な対人援助技術や職業キャリアの基礎的知識を学ぶ。また、卒業時の国家試験取得に向けて国家試験を意識し学習する。
2年生	医療福祉分野での各専門知識について学ぶ。国家試験対策としてより専門的な知識を学ぶ。
3年生	キャリア教育を通して将来の就職先のミスマッチを防止し、選択できる。国家試験取得に必要な基礎、専門知識を学び習得できる。

3.2.一貫型職業教育プログラムの全体像

高等学校 3 年間、進学後の専門学校 3 年間の一貫型職業教育プログラムは現段階において以下のような学習内容が検討案となっている。この検討案に基づき、次年度も引き続き内容の検討を行っていく計画である。

(1) 高等学校 3 年間の学習内容（検討案）

図表 3-3 高等学校 3 年間の学習内容（検討案）

1 年 生	1.キャリア教育について 2.学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 3.職業紹介 4.対人援助が必要な職業体験(VR) 5.自己能力開発、管理能力について 6.課題対応能力について
2 年 生	1.高等教育機関に必要な基礎知識について 2.医療福祉分野における専門職について 3.医療・福祉専門職 職種別概論 4.VR による職域疑似体験 5.施設見学
3 年 生	1.医療福祉における専門職について 2.医療福祉分野に必要な基礎知識について 3.各専門職について（選択制） 4.医療専門職の理解と将来について 5.職場体験実習

(2) 専門学校 3 年間の学習内容

図表 3-4 専門学校 3 年間の学習内容（検討案）

1 年 生	1.国家試験について 2.国家試験対策【基礎科目】 3.基礎 3 科目模試 4.学習支援【専門科目】
2 年 生	1.国家試験対策【基礎科目】 2.国家試験対策【専門科目】 3.専門領域特別講義 4.施設見学

3 年 生	1.就職活動支援について 2.各専門領域における臨床教育 3.国家試験対策【基礎科目】 4.国家試験対策【専門科目】
-------------	---

3.3.高等学校1年生対象の教育プログラム（素案）

今年度は、高等学校1年生を対象に次年度実施する教育プログラム（授業）について、高等学校と連携しながら詳細な検討を進めた。以下に示すのは、琉球リハビリテーション学院が提供できる授業プラン例の素案である。

この授業プランは、高等学校総合学科の科目「産業社会と人間」での実施を想定として組み立てられている。「産業社会と人間」は「職業と生活」「わが国の産業と社会の変化」「進路と自己実現」という3つの内容で構成されたキャリア教育の科目である。ここでは、産業社会における自己の生き方を考えさせ、社会人として世の中に貢献できるようになるための基礎的な知識や態度を身に付けることなどが狙いとされている。その意味で、高専連携による職業教育実践との親和性は高い。

なお、以下に示す授業プランでは、職業人講話や施設訪問で職業分野を「医療・福祉」としているが、これは1つの例示であり、これ以外の職業分野についても他の専門学校や企業・団体などと連携することで対応を図っていく考えである。この授業プランをもとに各校と個別に意見交換などを行い、要望に沿った実施プランへと具体化していきたい。

また、次ページに示した学習項目 A～K はいずれも各校の要望などに応じて、例えば学習項目 A のみを実施するなど、任意に選択していただくことを想定としている。

図表 3-5 高等学校1年生対象の教育プログラム（素案）

テーマ	自分探し
学習目的	人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力などキャリア教育に必要な基礎的知識を学ぶ。
学習目標	① 学習を通して見聞したことを、自己の進路・生活に関わらせて説明することができる。 ② 協働的な活動を通して、協調性を身に付ける。 ③ 協働的な学習を通して思考・判断・表現力を高める。

	項目	学習内容	コマ数
A	キャリア教育プログラムについて	医療・福祉系のキャリア教育プログラムの概要を学ぶ	1
B	職業の業種を知る	動画コンテンツを使い、様々な業種を知る。	1
C	利用者・患者の立場から対人援助職を体験する	キャリア教育について VR を使用して医療専門職について学ぶ。	2
D	職業人講話（医療・福祉）	職業人講話（医療・福祉）	2
E	施設訪問（医療・福祉）	施設訪問（医療・福祉）	4
F	対人援助職の専門職の体験を試みる。	VR を使用して専門職体験を学ぶ。	2
G	専門職体験後の知りたい職業の調べ方を学ぶ。	VR で体験した専門職について知りたい職業の調べ方についてグループワークを行う。	2
H	様々な働き方	様々な働き方について事例を紹介し、グループワーク、討議を行う。	2
I	お金の学び	仕事とお金を稼ぐことについて社会的な知識を学ぶ。	2
J	コミュニケーションについて	SST などを通して対人援助に必要なコミュニケーションスキルの基礎を学ぶ。	2
K	上級学校訪問	琉球リハビリテーション学院でどのような授業を学んでいるか、進学した学生との交流、模擬授業体験、関連施設を見学する。	4

3.4.教材

基礎的な職業キャリア学習の授業で使用する教材を開発するための「素材」を制作した。

これは、理学療法士・作業療法士（PT・OT）という医療分野の専門人材の仕事内容や役割などについて幅広く学ぶ内容で構成されている。具体的には「リハビリ分野職業理解」「リハビリ分野職業意識」「リハビリ分野職業人コンピテンシー」「リハビリ分野職業キャリア形成」という4つの領域、計14のテーマからなる。以下に、その領域とそのテーマの構成（01～14）を示す。

次年度は、これを素材として開発教材のあり方について議論を進めていく。その中で、学習内容・構成、体裁など、あらゆる面から具体的な検討を行い、教材としての姿を描き出していく。

図表 3-6 内容

【リハビリ分野職業理解】

リハビリ職とは何か①～リハビリ職の役割・意義と職種を知る～

01 リハビリ職の役割・仕事

02 リハビリ職の職場

リハビリ職とは何か②～社会の動きとリハビリ業界の動向を知る～

03 リハビリテーションをめぐる社会の動き

04 リハビリ業界の動向

【リハビリ分野職業意識】

リハビリ人材の職業意識①～組織・社会の一員としてのリハビリ人材の心構えを知る～

05 社会的責任を担うリハビリ職の心構え①リハビリ職の倫理

06 社会的責任を担うリハビリ職の心構え②チームケアの心構え

リハビリ人材の職業意識②～個人としてのリハビリ人材の心構えを学ぶ～

07 専門職としてのリハビリ職の心構え

【リハビリ分野職業人コンピテンシー】

リハビリ人材に必要な能力①

～チームワークで働くリハビリ人材が習得すべき能力を考える～

08 リハビリ職のコミュニケーション能力

リハビリ人材に必要な能力②

～専門職業人として日々の研鑽が必要なリハビリ人材が習得すべき能力を考える～

09 チームワークを強化する人間対応力

10 専門職としてのリハビリ職の視点

【リハビリ分野職業キャリア形成】

リハビリ人材のキャリア形成①～リハビリ人材のキャリアパスを知る～

11 リハビリ職のキャリアパス

12 リハビリ職のやりがいや達成感・使命感

リハビリ人材のキャリア形成②～リハビリ人材としての自分のキャリアを考える～

13 リハビリ人材のキャリアプラン

14 リハビリ人材のキャリアビジョン

制作した素材は暫定版としての形態である印刷冊子と同時に、Web 上でも開発できる様に同じ内容を掲載した。これにより関係者は、スマートフォンなどのデバイスから、いつでもどこでもアクセスすることができる。

4. プレ実証

4.1. 概要

高等学校と連携した一貫型職業教育プログラムの次年度からの実施に向けて、プレ実証講座を高等学校 2 校の生徒に対して行った。その内容は、VR (Virtual Reality・仮想現実) 技術を活用した対人援助業務の体験的な学習である。利用した VR 教材は敬心学園が文部科学省委託事業で開発したものを活用し、敬心学園との連携の下で実施した。

1 回の講座の時間数は 2 コマ (50 分×2) である。

講座実施の前後において、生徒にアンケートを行い、講座の有効性などの検証を行った。

プレ実証実施の前後において、生徒対象のアンケートを行い、プレ実証が生徒にとっての職業体験学習として有効性であったかどうかを検証し、その結果多くの生徒がリアルな体験に高い満足度を得て興味をもったことなどが確認できた。

4.2. 実施内容

4.2.1. スケジュール

講座 (2 コマ) の内容構成・スケジュールの基本プランを以下に示す。

図表 4-1 プレ実証の内容構成・スケジュール

コマ	所要時間	学習テーマ
1 コマ目	開始直前	○ 教材準備 ○ グループ編成
	10 分	○ オリエンテーション
	20 分	○ ワークシートを使って、直接人にかかわる職業を考えてみる。
	5 分	○ 対人援助と職種について説明する。
	15 分	○ VR 使用動画を視聴する。
	終了	○ 次の授業の準備
2 コマ目	5 分	○ 導入
	25 分	○ VR で対人援助の職業を体験する。
	10 分	○ 対人援助と職種について理解する。
	10 分	○ まとめ ○ 感想・アンケート
	5 分	○ 片付け

4.2.2. 実施校

図表 4-2 実施校

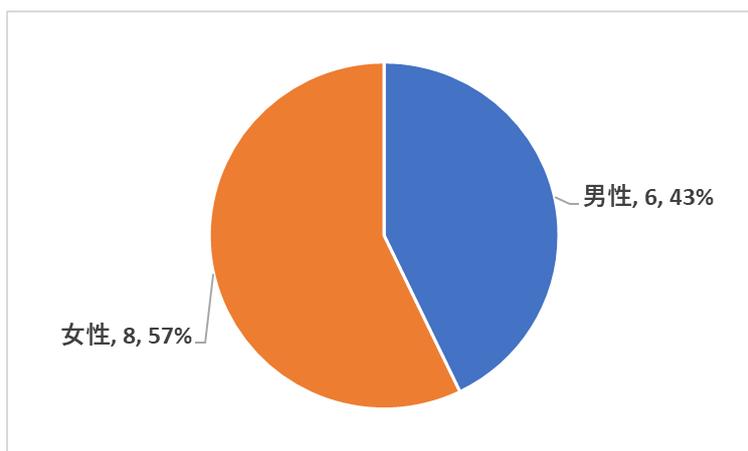
実施校	月日	コマ数	参加生徒数
沖縄県立陽明高等学校	1月28日	2	16
	2月21・24日	2	12
沖縄県立嘉手納高等学校	2月7日	2	16
計			44

4.3. 生徒のアンケート結果

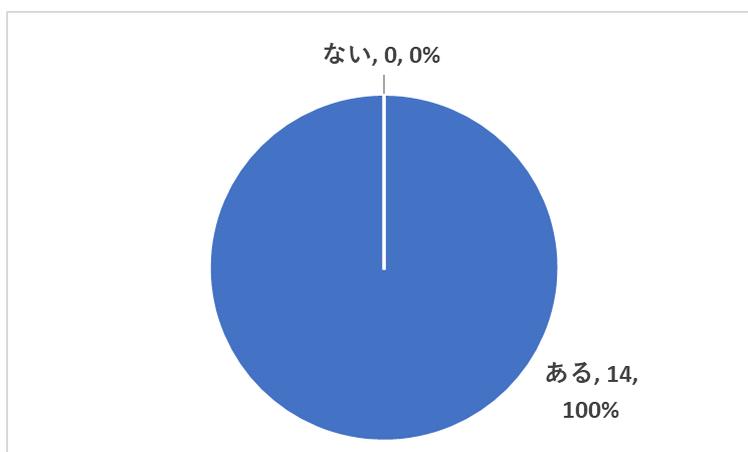
(1) 1月28日実施

■事前アンケート（3年生・14名）

図表 4-3 性別



図表 4-4 現在、なりたいと思う職業はあるか



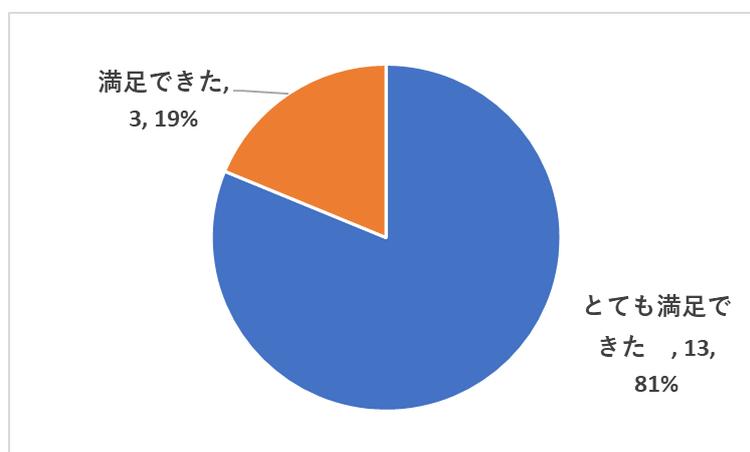
なりたい職業（具体的に）

- 介護福祉士（計 3 名）
- 社会福祉士
- 児童福祉関係
- 介護、社会福祉士 ケアプラン
- 理学療法士（計 2 名）
- 介護・福祉の現場で活躍する歯科衛生士になりたいです。
- 看護師
- 柔道整復師
- 警察官
- 人を守って救って手を差し伸べられる仕事"
- 幼稚園教諭
- 子どもの成長を近くで感じられる仕事
- WEB 制作者になりたいです！

■事後アンケート（3年生・16名）

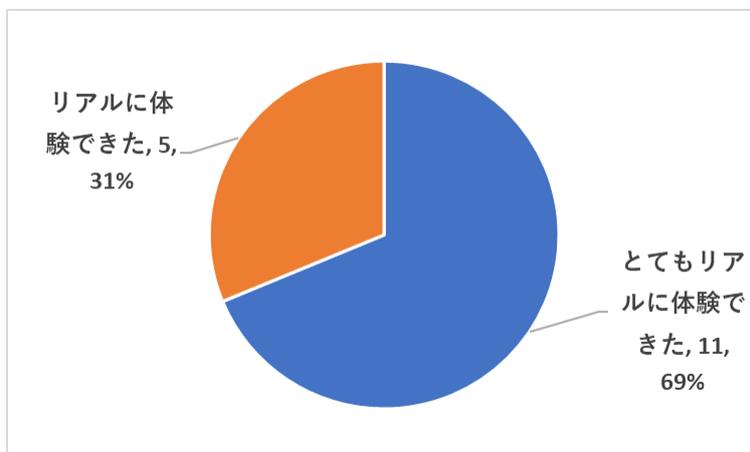
○設問 今回、VR を活用したキャリア学習を受けて、満足できましたか。

図表 4-5 満足できたか



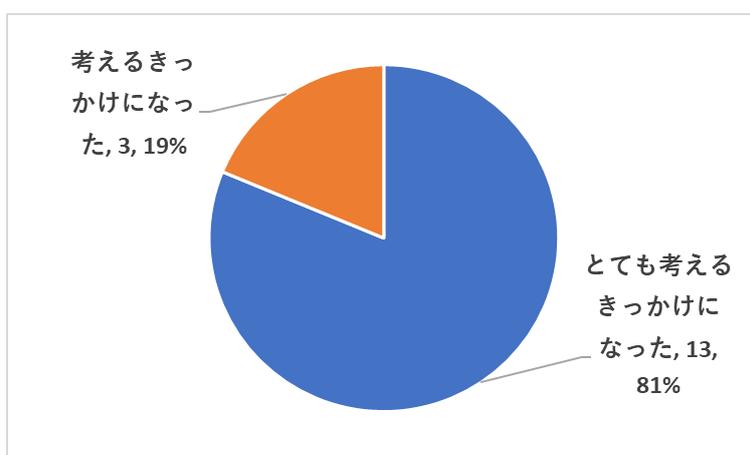
○設問 今回の VR 体験で、リアルに職業の体験ができましたか。

図表 4-6 リアルに職業の体験ができたか



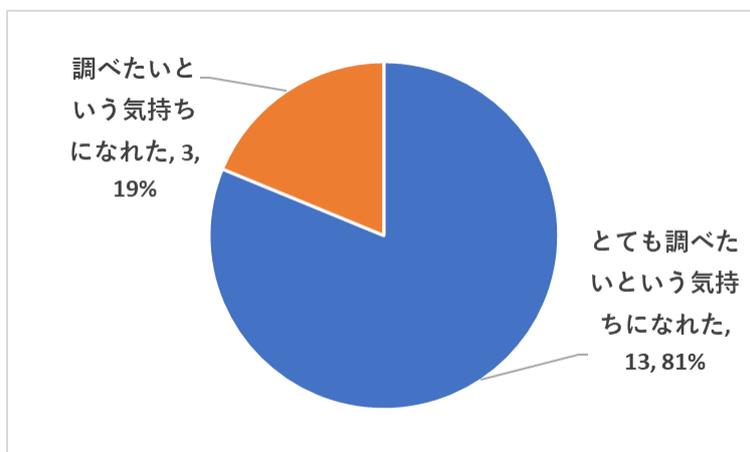
○設問 今回の授業を通じて自分の進路や職業について考えるきっかけになりましたか。

図表 4-7 自分の進路や職業について考えるきっかけになったか



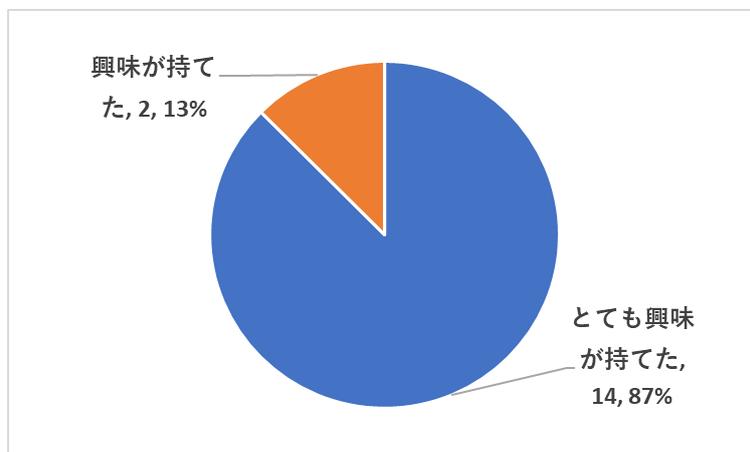
○設問 今回の授業を通じて、自分で興味のある職業について調べてみたいという気持ちになれましたか。

図表 4-8 興味のある職業について調べてみたいくなったか



○設問 今回の VR の体験で、職業や専門職について、より興味が持てましたか。

図表 4-9 興味がもてたか



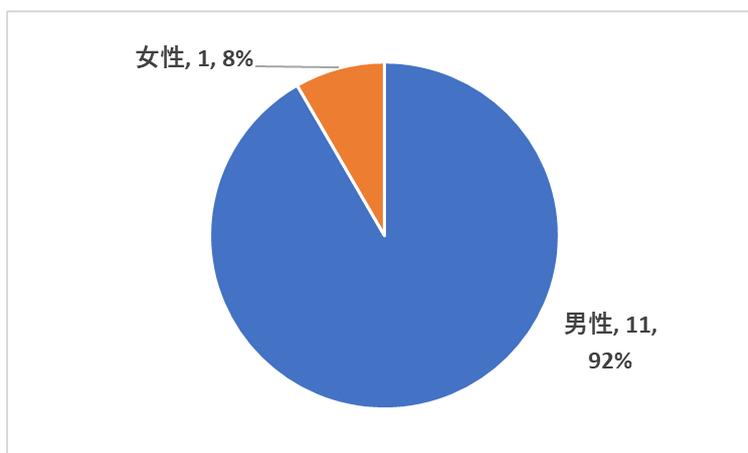
○設問 VR を体験してみて、もっとこんな VR を体験してみたいと思う職種があれば教えてください。

- 今回の VR 体験を通してとても医療関係の仕事についてリアルに知ることが出来ました。
- VR でできる簡単な職業体験はとても楽しかったです。
- 歯科衛生士
- 看護師になりたいので、看護師の VR 体験もしてみたいと思いました。
- 児童
- 警察官、消防士など
- 手話通訳士
- 放射線技師
- 整骨院とかも体験してみたい
- なにわ男子の曲が VR 出てるって聞き、みたいと思いました！
- 手話通訳士, ST など！！
- とても楽しかったです！！"
- 裁判官、スポーツ選手
- 警察官
- 心理カウンセラーや保育士など他の職業の VR を体験してみたいです。

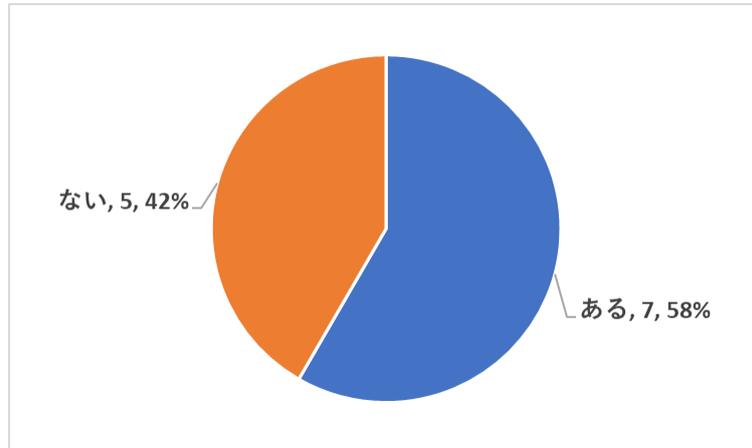
(2) 2月7日実施

■事前アンケート（2年生・12名）

図表 4-10 性別



図表 4-11 現在、なりたいと思う職業はあるか



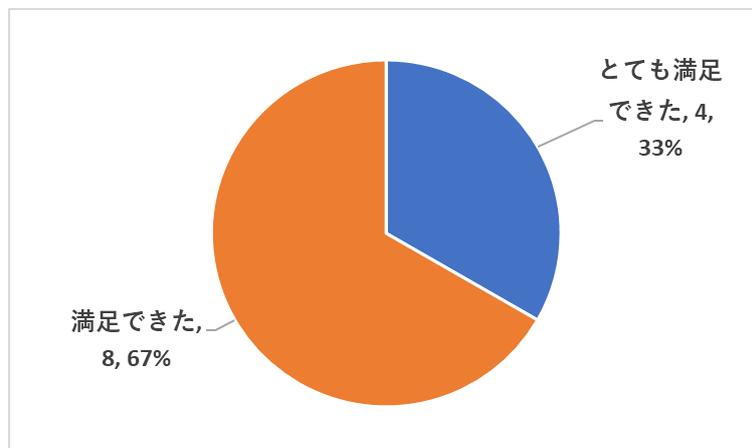
なりたい職業（具体的に）

- 介護福祉士・社会福祉士
- 美容師・介護士
- 先生
- ペットショップ
- 介護士
- パティシエ
- 設計士、メイクアップ系

■事後アンケート（2年生・12名）

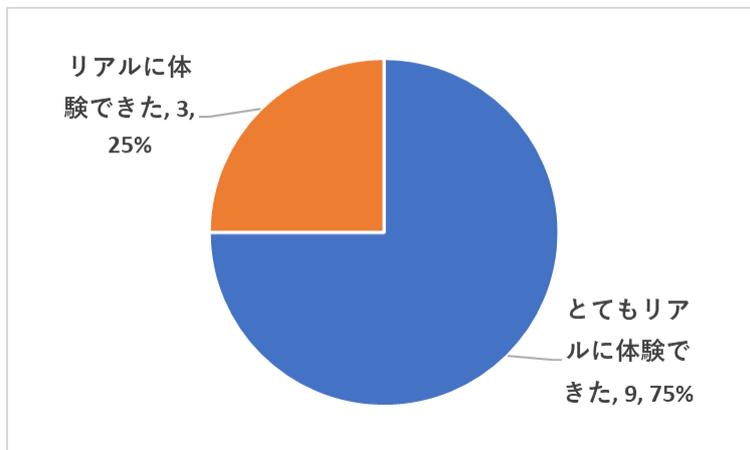
○設問 今回、VRを活用したキャリア学習を受けて、満足できましたか。

図表 4-12 満足できたか



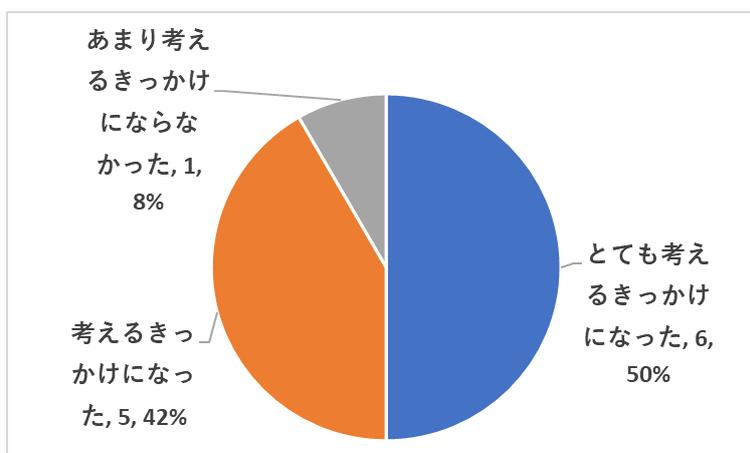
○設問 今回の VR 体験で、リアルに職業の体験ができましたか。

図表 4-13 リアルに体験できたか



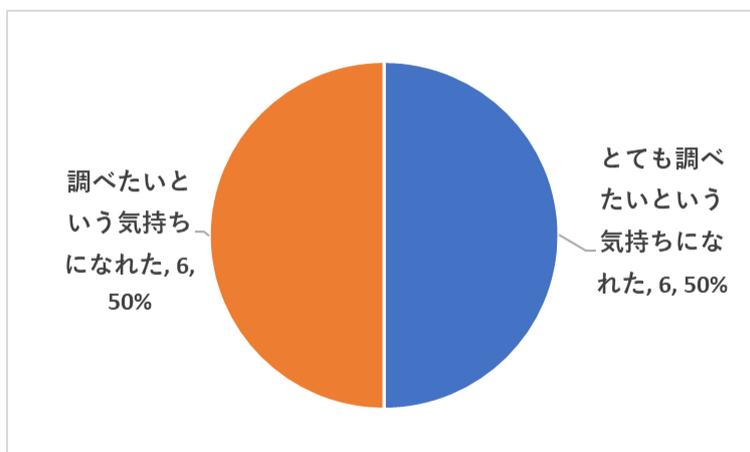
○設問 今回の授業を通じて自分の進路や職業について考えるきっかけになりましたか。

図表 4-14 自分の進路や職業について考えるきっかけになったか



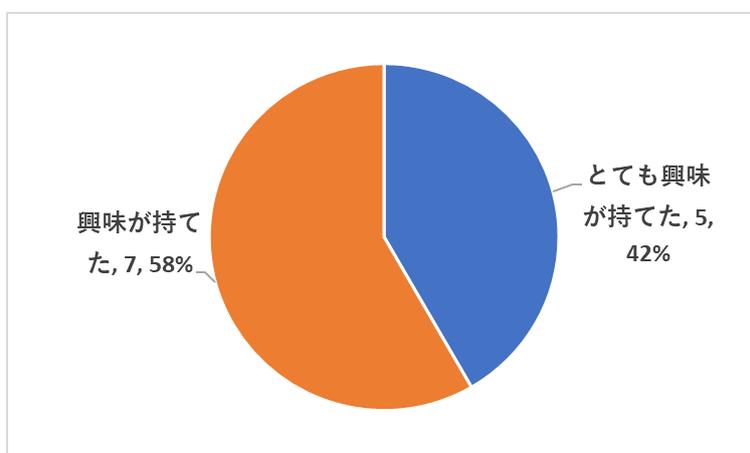
○設問 今回の授業を通じて、自分で興味のある職業について調べてみたいという気持ちになれましたか。

図表 4-15 興味のある職業について調べてみたくなったか



○設問 今回の VR の体験で、職業や専門職について、より興味が持てましたか。

図表 4-16 興味がもてたか



○設問 VR を体験してみて、もっとこんな VR を体験してみたいと思う職種があれば教えてください。

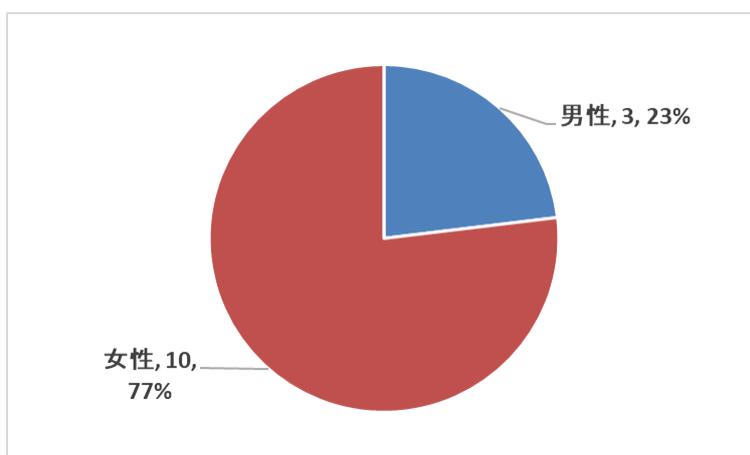
- ブライダル、イルカのトレーナー、
- ペットの仕事の体験してみたい
- 海外
- 水族館、動物園などの飼育員
- 美容師

- 怖いやつ（計2名）
- 福祉士
- 保育士
- 保育士・教師
- なし（計2名）

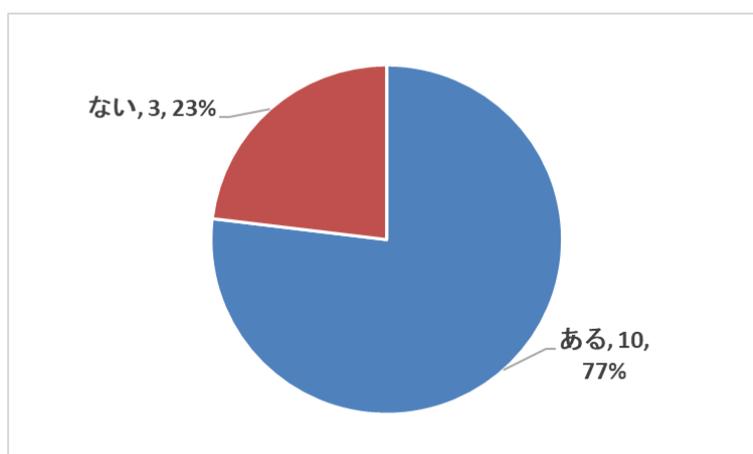
(3) 2月21・24日実施

■事前アンケート（2年生・13名）

図表 4-17 性別



図表 4-18 現在、なりたいと思う職業はあるか



なりたい職業（具体的に）

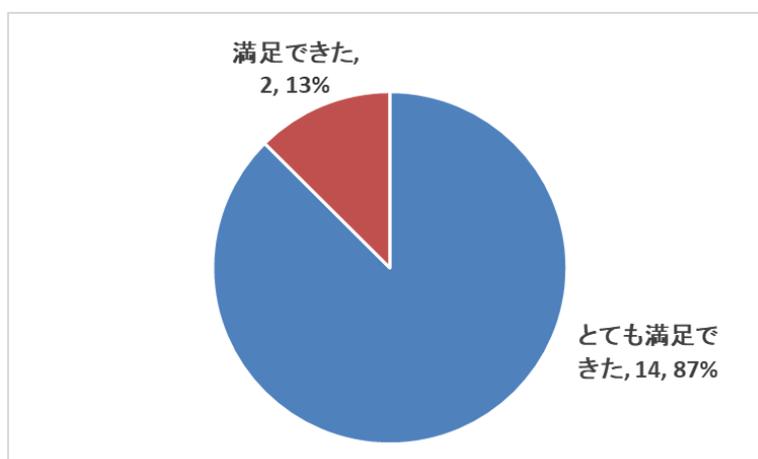
- 保育士（2名）
- 保育士、理学療法士
- 保育関係

- 看護師
- 理学療法士
- 介護職
- スポーツに関する仕事
- 管理栄養士
- 調理師

■事後アンケート（3年生・16名）

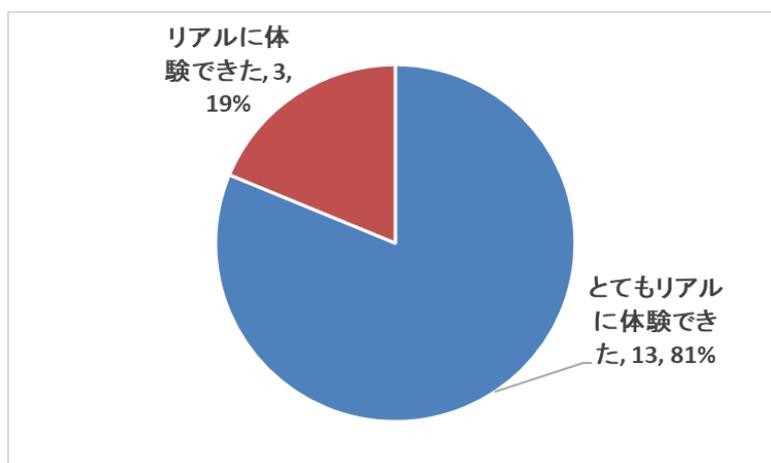
○設問 今回、VRを活用したキャリア学習を受けて、満足できましたか。

図表 4-19 満足できたか



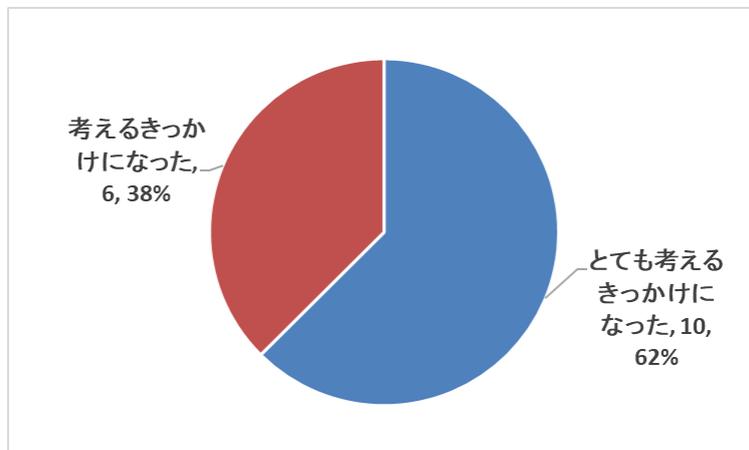
○設問 今回のVR体験で、リアルに職業の体験ができましたか。

図表 4-20 リアルに体験できたか



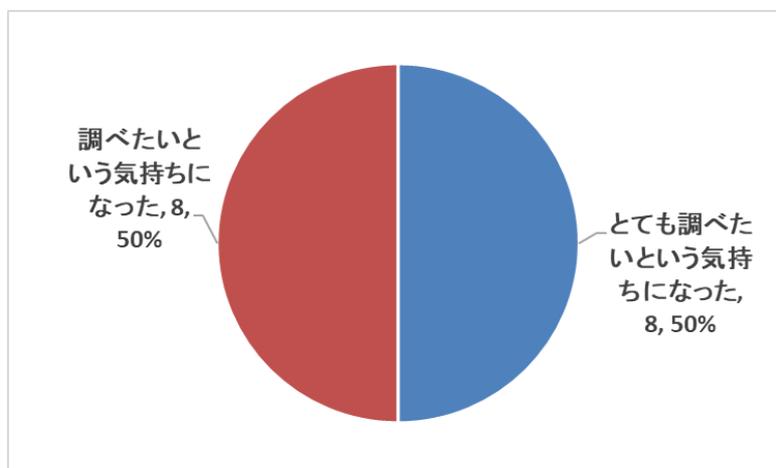
○設問 今回の授業を通じて自分の進路や職業について考えるきっかけになりましたか。

図表 4-21 自分の進路や職業について考えるきっかけになったか



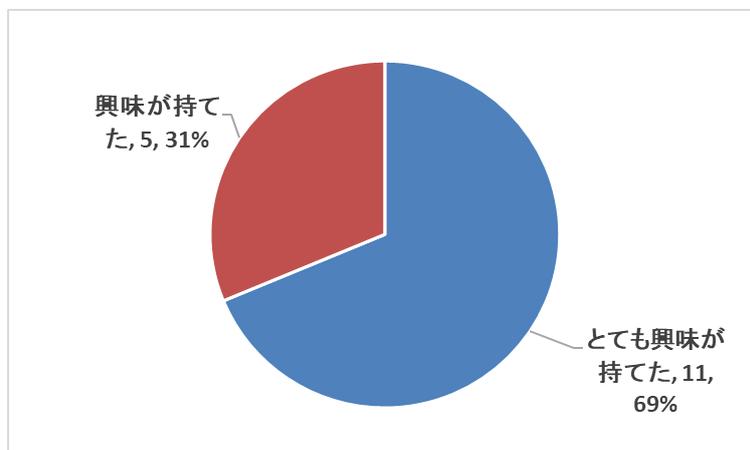
○設問 今回の授業を通じて、自分で興味のある職業について調べてみたいという気持ちになれましたか。

図表 4-22 興味のある職業について調べてみたくなったか



○設問 今回の VR の体験で、職業や専門職について、より興味が持てましたか。

図表 4-23 興味がもてたか



○設問 VR を体験してみて、もっとこんな VR を体験してみたいと思う職種があれば教えてください。

- 保育士 (4 名)
- サバイバルゲームのやつ (2 名)
- 思ったよりもリアルですごかったです！
- 看護師の体験も見ておきたいです。
- 栄養士など
- 動物看護師さん
- 調理師、栄養士
- トリマー
- スポーツトレーナー
- 特別支援学校の先生
- 救急車で運ばれる体験(救命救急士)
- 人と関わる仕事

事後アンケートではいずれの設問も肯定的な回答で占められた。「学習に満足できたか」「リアルに職業の体験ができたか」の結果から、生徒がリアルに専門職の仕事を体感し、受け止めたことがわかる。また、「進路や職業について考えるきっかけになったか」「興味のある職業について調べてみたくなったか」「職業や専門職についてより興味が持てたか」の結果からは、職業への関心が呼び起こされた学習効果が確認できる。

5. 高専連携基盤システムプロトタイプ

5.1. 概要

高等学校3年間と専門学校3年間の計6年間にわたる連携を有機的なものとするを目的として、高・専連携基盤システムのプロトタイプをクラウド環境上に構築した。

基盤システムは、高等学校の教員と専門学校の教員、企業等の実務者など、指導者による生徒の学習成果物のチェックや、教材などの共有、意見交換などを支援する。また、生徒による自分の学習成果物の蓄積管理や、他の生徒の学習成果物の閲覧・評価を支援する機能も備えている。今年度はプロトタイプの整備に主眼を置き、次年度から実運用版へとバージョンアップを図る計画である。

5.2. 主な機能

高・専連携基盤システムは、指導者、生徒、システム管理者それぞれに対して必要な機能を提供する。

5.2.1. 生徒向けの機能

生徒に対して提供される機能は掲示板、自主学習、グループ学習、プロフィールの4つである。

(1) 掲示板

掲示板は教員から生徒に対して配信される情報を閲覧できる機能である。

(2) 自主学習

e ラーニングコンテンツの視聴による「動画学習」機能とその「学習履歴」が確認できる機能、レポートなどを蓄積・管理できる「学習成果」機能を有している。以下に示すのは、「学習成果」機能の画面である。「夢のカラーージュ」や「働くことって、なんだ？」など学習テーマ別に成果物が管理できる。

図表 5-1 生徒向け機能「自主学习（学習成果）」の画面



(3) グループ学習

上記の「自主学习」が生徒個々人の学びのサポートであるのに対して、「グループ学習」機能は文字通り、グループ単位の学習を支援する。具体的には、グループによる学習成果物などを蓄積・管理する「学習成果」と、グループ内での情報共有やディスカッションなどをサポートする「グループスレッド」機能である。

図表 5-2 グループスレッド



グループスレッドを使うことで、同じグループ内のメンバーとメッセージのやり取りや

ファイルの共有が可能となる。また、ここに残されるメッセージがグループ学習の時系列の記録となるため、学習のふりかえりなどにも活用できる。

(4) プロフィール

「プロフィール」は生徒の氏名や所属など、基盤システム上で公開可能な個人情報を管理する機能である。

5.2.2. 指導者向けの機能

指導者に対して提供される機能は掲示板、自主学习、グループ学習、指導者メニュー、プロフィールの5つである。

(1) 掲示板

教員から情報を一斉に配信できる機能である。授業や行事などに関する情報を一斉配信し周知を図るなどの用途が想定である。「連絡投稿」を選ぶとメッセージやファイルを投稿するための画面がポップアップする。

図表 5-3 掲示板



(2) 自主学習

生徒一人ひとりの「学習履歴」「学習成果」を確認できる機能である。

以下は生徒の学習履歴を確認する画面の例である。学習の進捗が円グラフで表示される。

図表 5-4 学習履歴

総合学科について	
ガイダンス室紹介	
科目選択に向けて①	
科目選択に向けて②	

「学習成果」では、アップされている成果物を確認することが可能である。

図表 5-5 自主学習の成果物の確認

夢のコラージュ	説明	確認	投稿	提出日時：2022/03/04 16:12 夢のコラージュ第1回提出.docx
働くことって、なんだ？	説明	確認	投稿	提出日時：2022/03/04 16:12 産業社会と人間第2回課題レポート.docx
職業人インタビュー	説明	確認	投稿	

また、成果物に対してコメントや助言などを投稿することも可能である。以下は、教員から生徒に対して投稿されたコメント画面の例である。

図表 5-6 「学習成果」に対するコメント等の投稿

The screenshot shows two comment posts from a teacher (指導者Aさん) to a student's learning achievement page. Each post includes the teacher's name, the date and time, the comment text, a 'いいね' (like) button with a count of 0, and a 'コメント投稿' (comment post) button.

Post 1:
 指導者Aさんの投稿 2022/03/04 16:51
 質問などあればメッセージください。
 いいね 0
 コメント投稿

Post 2:
 指導者Aさんの投稿 2022/03/04 16:49
 以下の資料も参考になると思います。一度見てみてください。
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/01/19/1380920_4_6.pdf
 いいね 0
 コメント投稿

(3) グループ学習

上記の「自主学習」と同じく、グループ単位の「学習成果」の確認、それに対するコメント・助言などの機能が用意されている。また、グループスレッドに参加することも可能で、グループのディスカッションの状況などに応じてアドバイスや参考資料の提示などを行うことができる。

図表 5-7 生徒のグループスレッドでの指導

The screenshot shows the group thread interface for a student's learning achievement page. The interface includes a sidebar with navigation options, a header with the user's name and a logout button, and a main content area for the group thread.

Header:
 ユーザー：指導者A ログアウト

Navigation Sidebar:
 掲示板
 自主学習
 グループ学習
 学習成果
 グループスレッド
 プロフィール
 指導者メニュー

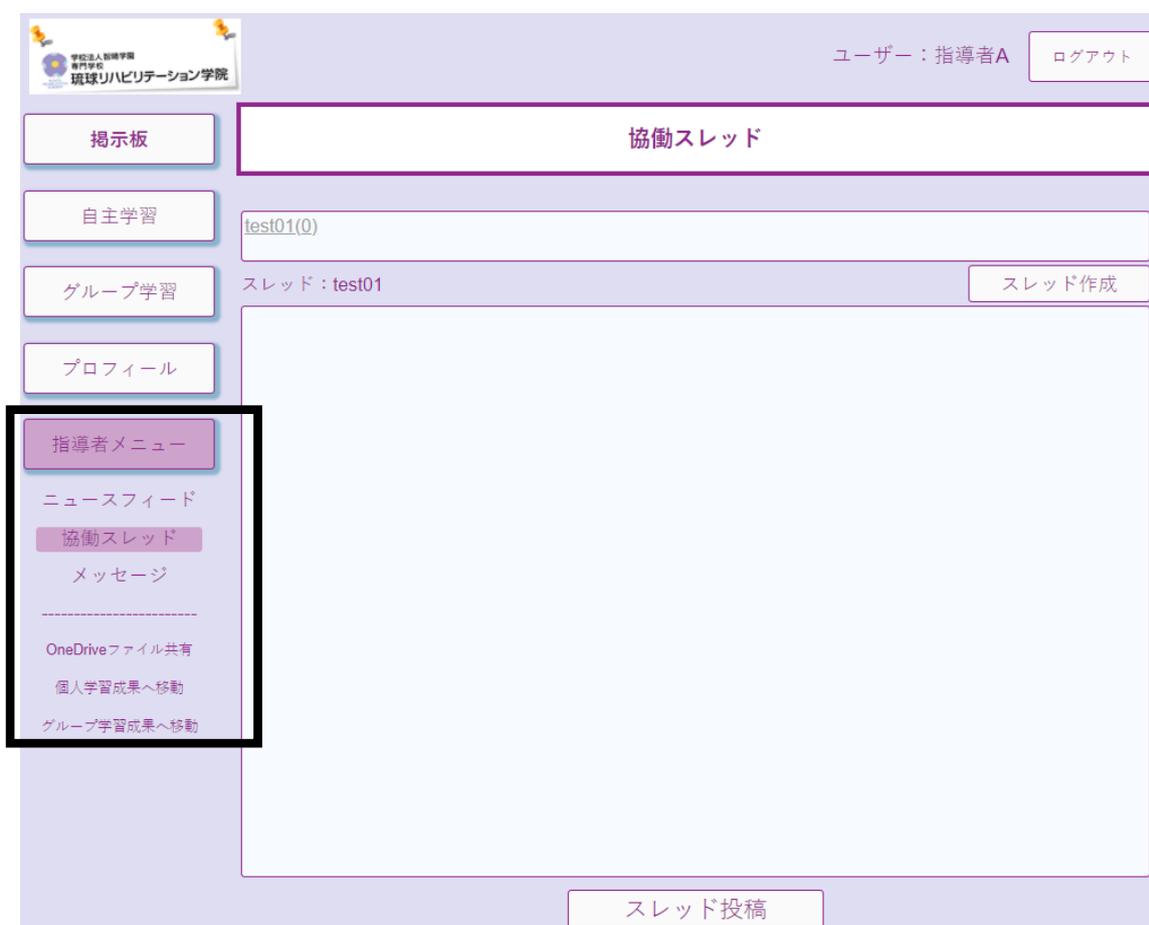
Group Thread Content:
 チームA
 課題：働くことってなに(3)
 スレッド：課題：働くことってなに スレッド作成
 ユーザー-a001 2022/03/04 16:24
 来週の授業課題「働く目的」で参考になりそうなWebを見つけたので、URLを張ります。
 ユーザー-a002 2022/03/04 16:27
 これも参考になるかも。
[R12attached.pdf](#)
 指導者A 2022/03/04 17:01
 この資料も参考になるはずです。
<https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h30gaiyou/s0.html>

(4) 指導者メニュー

「指導者メニュー」は教員や企業の実務者など指導者同士のコミュニケーションやコラボレーションを支援する機能で、「ニュースフィード」「協働スレッド」「ファイル共有」「メッセージ」などがある。

「ニュースフィード」は指導者間での情報共有を、「協働スレッド」は情報交換・意見交換を支援する。また、「ファイル共有」(OneDrive)ではシラバスや教材などを一元的に蓄積し共有する。

図表 5-8 指導者メニュー



(5) プロフィール

「プロフィール」は自身の個人情報の管理の他、生徒の氏名や所属などの個人情報を管理する機能である。

6. 次年度における職業教育プログラム実施の準備

6.1. 概要

職業教育プログラムの開発と並行して、令和4年度における職業教育プログラム実施の準備を進めた。令和4年度は、沖縄県立陽明高等学校と琉球リハビリテーション学院が連携した実施と、宮城県の学校法人南光学園東北高等学校と仙台リハビリテーション専門学校が連携した実施を計画している。

陽明高等学校と連携した実施に向けた準備として、連携教育を実施する1年生の科目「産業社会と人間」の授業計画の検討に協力した。また、同科目の中で使用するVRコンテンツを360度カメラで制作した。VRコンテンツは、進路ガイダンス室の活用方法を疑似体験できる内容で構成されている。

東北高等学校と連携した実施に向けた準備では、高等学校との協議の下で「身体づくり」をテーマとするキャリア実習（選択授業）の授業計画（シラバス）を作成し、授業の運営方法・体制などの具体化を進めた。

沖縄県の中部農林高等学校、真和志高等学校、嘉手納高等学校とは次年度も引き続き、職業教育に関する情報交換や情報共有など、連携の密度を高めるべく取り組みを進めていく計画である。

6.2. 科目「産業社会と人間」と高専連携教育

■科目「産業社会と人間」の内容・ねらい

高等学校総合学科は選択履修により普通教育と専門教育の両方を総合的に施す学科で、平成5年に創設された際に原則履修科目とされた科目が「産業社会と人間」である。

「産業社会と人間」は「職業と生活」「我が国の産業と社会の変化」「進路と自己実現」という3つの内容で構成されたキャリア教育の科目である。具体的には、「職業と生活」では職業や働くことなどについて学び考え、「進路と自己実現」では自分自身を見つめ直して将来について考えるといったキャリア教育が実施される。そのねらいは、自己の生き方を考えさせ職業選択・決定に必要な能力・態度を養うこと、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を培うことなどとされている。

「産業社会と人間」の設定は1年次であり、その後の教育課程におけるキャリア教育の根幹となるリーディング科目という位置づけにある。

■本事業と連携した授業の実施

科目「産業社会と人間」の実施では、様々な職業について学ぶなどの授業の一部において、上級学校や企業など外部の協力が不可欠となる。しかしながら、外部との交渉や協力

を得ながら年間の授業を運営するのは教員にとって負荷が高く、これが課題のひとつとされている。

このような課題をもつ高等学校に対し、高専連携によるキャリア教育の開発・実施を目的とする本事業が協力することで、その課題解決に何らかの有効な打開策を示すことができるものと考えられる。また、外部との連携協力を必要とする科目「産業社会と人間」において、高専連携のキャリア教育を実施することにより、高専連携モデルへの展開も期待できる。

以上の趣旨・ねらいから、次年度は教育課程内での取り組みとして、「産業社会と人間」での連携教育を実施していく計画である。

専門高校とは、高専連携によるキャリア教育の導入に適した科目について、高等学校と専門学校との継続的な協議を行い、実施に向けた取り組みを推進していく。

6.3.授業計画

次年度、高専連携による職業教育プログラムを実施する陽明高等学校の科目「産業社会と人間」の授業計画、東北高等学校のキャリア実習「肉体美をつくりませんか」の授業計画を次ページ以降に掲載する。

科目「産業社会と人間」の授業計画のうち、網掛されている学習テーマが高専連携による実施の候補である。一方、キャリア実習「肉体美をつくりませんか」は全 12 週、仙台リハビリテーション専門学校の教員が授業を担当する計画となっている。

また、「産業社会と人間」の連携は学科の教育課程内での実施、「肉体美をつくりませんか」の連携は学科の教育課程外での実施と、それぞれ連携のパターンが異なる。次年度は2つのパターンによる連携教育が実施されることになる。

なお、いずれも、令和 4 年 3 月時点のものであり、次年度の事業活動の中で、内容は適宜見直されることもある。

令和4年度 1年次『産業社会と人間』年間授業計画【暫定版】

テーマ	自分探し
学習の目的	自己の在り方生き方について考えさせるために社会に積極的に関与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や能を装う。
学習の目標	①学習を通して見聞したことを、自己の進路・生活に関わらせて説明することができる。 ②協働的な活動を通して、協調性を身に付ける。 ③協働的な学習を通して思考・判断・表現力を高める。

回	月	学習テーマ	学習内容	学習形態	評価の観点	備考
1	4	オリエンテーション	産業社会と人間について/総合学科について	HR単位	B	
2		文章表現/学び	文章の書き方トレーニング/なぜ、学ぶのか(ミライの授業)	小講座	C	
3	5	自己理解①	科目選択に向けて①(系列を知る・選択科目を知る/ガイダンス室紹介)	小講座	B/D	科目履修ハンドブック/VRゴール
4		自己理解②	科目選択に向けて②進路ガイダンスブック/授業動画視①)	小講座	B/D	進路ガイダンスブック
5		自己理解③	科目選択に向けて③授業動画視聴②/職業の業種を知る	小講座	B/D	
6	6	自己理解④	夢のコラージュ①(説明・作成)	小講座	B/D	
7		自己理解⑤	夢のコラージュ②(作成)	小講座	B/D	
8		自己理解⑥	夢のコラージュ③(発表)	小講座	B/D	
9	7	社会を知る①	持続可能な社会ってなに?(SDGsを知る)	小講座	A/C	外部講師
10		社会を知る②	超高齢化社会ってなに?(現状と課題)	小講座	A/C	外部講師
11		社会を知る③	Society5.0(5GにおけるDX・AI・ロボット)	小講座	A/C	
		夏休みの課題	夢のコラージュ発表	家庭	BCD	提出日:2学期最初の授業
12	9	生きていくこと働くこと①	働くことって、なんだ?(講義・討議・発表)/職業人インタビュー(課題)	小講座	A/D	
13		生きていくこと働くこと②	職業人インタビュー(発表・討議)	小講座	A/D	保護者・周囲の大人(アルバイト先も含む)
14		生きていくこと働くこと③	働く×SDGs(講義・調べ学習・発表)	小講座	A/D	おきなわSDGパートナー(SDGs未来都市)
15	10	生きていくこと働くこと④	職業人の話を聞こう(講義・討議・発表)	小講座	A/D	
16		生きていくこと働くこと⑤	職業人講話(2,3校時実施)10/8(金)	希望別小講座	D	2学期中間考査時に実施(7業種)医療・介護/運搬業
17		生きていくこと働くこと⑥	概業人講話振り返り(討議・発表)	小講座	A/D	
18	11	生きていくこと働くこと⑦	企業訪問発表準備①(原稿作成、パワーポイント作成)	小講座	C	HR教室・chromebookを使用
19		生きていくこと働くこと⑧	企業訪問発表準備②(原稿作成、パワーポイント作成)	小講座	C	HR教室・chromebookを使用
20		生きていくこと働くこと⑨	企業訪問発表準備③(パワーポイント作成)	HR単位	A/D	HR教室・chromebookを使用
21		生きていくこと働くこと⑩	企業訪問(1~4校時)11/26(金)	希望別	B/D	2学期期末考査時に実施
22	12	生きていくこと働くこと⑪	企業訪問発表準備①(パワーポイント作成)	HR単位	C	HR教室・chromebookを使用
23		生きていくこと働くこと⑫	企業訪問まとめ③(発表)	HR単位	C	HR教室
24	1	自己理解⑦	ライフプラン①(説明・作成準備)	小講座	B/D	ワークシート
25		自己理解⑧	ライフプラン②(作成)	小講座	B/D	原稿作成
26	2	自己理解⑨	ライフプラン③(作成)	小講座	B/D	発表用紙作成(KP法) or PPT
27		自己理解⑩	ライフプラン④(発表)	小講座	A/C	PPT
28	3	社会を知る⑥	様々な働き方(講義・討議・発表)	小講座	A/D	外部講師
29		社会を知る⑦	お金の学び(キャッシュフローの流れ)	小講座	A/D	外部講師
30	3	コンクルージョン	1年間の振り返り(グループ討議)	小講座	A/C	
31						

※ [評価の観点] A:人間関係形成・社会形成能力 B:自己理解・自己管理能力 C:課題対応力 D:キャリアプランニング能力

※グループ討議・発表においてはブレインストーミング法・KJ法・KP法を活用する。

令和4年度 キャリア実習計画表

実習名	①「肉体美」を作いませんか？～身体の変化を考え、楽しく運動！～ ②身体に関わる仕事を体験し、興味を深めよう！
目標	①身体作りを通して身体の変化を実感し、今後の生活に活かすこと。 ②授業を通して身体に関わる職業を理解し、今後のキャリアに活かすこと。
教材	特になし
履修コース	
履修学年	
履修単位	2単位（前期・後期） ※金曜日の5,6校時
履修人数	
実習場所	
実習費	
担当者(予定)	仙台リハビリテーション専門学校 教員 琉球リハビリテーション学院 教員

主な評価内容	評価の観点（定期考査期間には実施しない）		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業態度	○	○	○
出席状況	○	○	○
課題など			
発表	○	○	○
留意事項			
実施内容			
1週目	オリエンテーション		
2週目	身体の評価と肉体改造計画を立てよう！ ①ダイエット ②筋力UP		
3週目	ダイエット法と筋力トレーニングの基礎を学び、体験しよう！		
4週目	ピラティスとは？ピラティス体験しよう！ (会場：仙台リハビリテーション専門学校)		
5週目	作業療法士が考える肉体づくりと目的について/みんなのできる健康体操（沖縄版） 琉球リハビリテーション学院		
6週目	持久力トレーニングの基礎と実践しよう！ (会場：仙台リハビリテーション専門学校)		

7週目	身体の中間評価と肉体改造計画の見直し（振り返り）をしよう！
8週目	作業療法とは？ ～革細工を作ろう～ （会場：仙台リハビリテーション専門学校）
9週目	ピラティスを実践しよう！ （会場：仙台リハビリテーション専門学校）
10週目	沖縄海洋リハビリテーションとは？ 実際に体験をしよう！
11週目	身体評価、変化を確認しよう！ これまでの身体データをまとめる（発表準備）
12週目	まとめ（発表）

卷末資料

◎巻末資料 1 生徒対象アンケート調査 自由回答

■福祉科 福祉分野の高校に進学したいと考えた理由「その他」自由回答

家族に障害者が居て福祉を学びたいと思ったから！

学校の先生に勧められた

障害について知識を増やしたかった

親が福祉関連の仕事をしていたから

保育士になりたかったため、福祉科で福祉も学ぼうと思った。

■福祉科 イメージ通りの学びであったか、その理由

しんどい

みんなが楽しそうなところ

イメージは普通に人と関わるだけだと簡単に思ってたけど、福祉の勉強してからは、一つ一つ細かいことを気にしなくてはいけない。や とてもきついと思うけどそれ以上のやりがいがあるという考えになった

ガッツリ福祉と思わなかった

医療的ケアなど思いつかなかった

介護

介護をすることだったり、介護の基本

結構はば広い

高校生に合わせたレベルの勉強かと思ったら、思った以上に専門性が高かった。

高齢者っていうのは分かってたけど、そこからいろんな分野に広がってることを知った

高齢者の学びが多かった。

思っていたよりも専門性(?)が高くて 医療的ケア等の喀痰吸引とか経鼻経管栄養などをやるとは思っていなかった。また、中学校の時よりも周りを見て行動できたり相手の気持ちを考えて行動できるようになった気がする

思っていたより人不足

実習が沢山ある "コロナなる前"

範囲が広がった

福祉(介護、看護)を学べると思っていたけど、コロナ禍になって学習内容が福祉ではなく、国際についての学習に変わったから。

保育系学ぶと思ったら福祉(高齢者)の勉強だった

■福祉科 福祉分野に興味がない理由 自由回答

違う目標ができた

学んだうえで自分には向いてないと感じたから
福祉は大変だと気づいたから

■普通科・総合学科 現在の高校に進学した理由「その他」の自由回答

1次落ちたから

IT化が現在は主で出来ないと思しそだった

いける高校だったから

お金の関係

ここで部活するため

この高校の部活に入りたかったから

すべり止め

その高校に進学する同級生が少なかったから

たまたま

ともだちと一緒にだから

とりあえず選んだ

ない

なし

なし

なし

なんとなく

やってみたいのがあったから

やりたい部活があったから

サッカーがしたいから

スポーツ

スポーツのため

スポーツをするため

ソフトテニスで強くなりたかったから。

ソフトテニスをするため

ノリ

バレーボールがしたかったから 当時の高校の顧問と約束したから

阿麻和利び稽古の送迎で親に迷惑がかからないように

運

何も考えなかった

科目選択できるから！

海外研修

海外研修があったから
海外研修など他の国について学べるから
学びたい授業があったから
学校のスタイルが自分に合ってるから
楽しそう
楽しそうだから
楽しそうだったから
楽しそうだったから。
慣れているから
簡単そうだったから
簡単そうだったから
簡単に行けるから
韓国語があるから
韓国語が学べるから。
気になったから
強いところで野球をしたかったから
強豪の中商でバレーがしたかったから
勤怠状況が悪かったから
兄が通ってたところだから
兄ちゃんの母校だから
兄弟が行ってたから
兄弟が通ってた
検定
検定が沢山取得できるから
検定とるため
検定とれるから
検定を取得するため
検定を取得できるから
検定取得が出来るから
検定取得できるから
好きだから
行きたい高校がなかったから
行くところがなかった
行く場所がなかったから
高校でサッカーがしたかったから
高校について興味もなかった

高校生のうちにやりたいことがあったから
合格できそうだから
今の高校の部活動に入部したかったから
在学中の姉から話を聞いて
姉から勧められたから。
姉が通っていたから
志望校落ちたから
指定校推薦が取りやすい
資格が取れるから
資格が沢山取れるから
資格をたくさん取りたかったから
資格を取るため
資格を沢山取りたいから。
自分で教科が選べるから
自分で教科が選べるから
自分に合った環境だから
自分のため
自分の興味のあるものの専門のコースがあったから
自分を帰るため
受験で別の高校に落ちたから
授業を選べる、視野が広がる
就職する時に力になると思ったから
習い事の先生に進められた
従兄弟がいるから
商業学校で、スポーツが強いから。
将来の選択肢を増やすことができたと思ったから
将来の夢がなかったから
色々な資格を取りたいから
神頼み
親の職場が近かったから
進学幅が広がるから
吹奏楽のコンクール以外のイベント等の数々に影響を受け、自分も挑戦してみたいと思っ
たから。
推薦
推薦が来たから
先輩や中商の元顧問の先生から誘われたから。

専門学校に行きたいから
選択科目があるから
選択科目がたくさんあるから
選択授業がある
総合学科
総合学科だから
総合学科だから
総合学科に興味があった
送り迎えがしやすい
大人になった時に資格を取っていた方がいいと思ったから
第1志望に落ちたから
第1志望校落ちたから
第一志望に落ちたから
第一志望落ちたから
知り合いが少ない学校に行きたかったから
知り合いが多かったから
中学の友達に誘われたから
中間一貫だから
中間一貫であったため
中間一貫校だから
中間一貫校だったから
中高いっかんだから
中高一貫だから
中高一貫だから
中高一貫校
中高一貫校だから
中高一貫校だから
中高一貫校だったため
中高一貫校だったため
中高一貫校だった為
中高一貫校でそのままあがりたかったから
中部商業の人の治安がいいと聞いたから
憧れだったから
特になし
特に無し
内部進学

南風原にすごく行きたかったから
二次志望
入りたい部活があったから
販売実習など行事が楽しそうだったから
飛行機を撮りたかったから
普通校と違って検定取得ができる！
部活
部活
部活
部活
部活
部活
部活ができるから
部活が強いから
部活が本格的にしたかったから
部活で、先生との関わりで、言われたから
部活で強くなりたいと思ったからから
部活で上を目指したかったから。
部活で全国に行くため
部活のため
部活をしたかった
部活をするため
部活を全力でやりきりたいから
部活を東北高校で続けたいと思ったから
部活動
部活動
部活動がしたかったから
部活動が強いから
部活動が強かった
部活動で活躍したいから
部活動に魅力を感じたから
部活動推薦が来たから
分からない
平和そうだったから
簿記とかそういうの習いたかったから
殆どの生徒は現在の高校で進学しなければならなかったため

本校が気になったから
野球が強いから
友達いるから
友達がいたから
友達がいたから
友達がいるから
友達が行くから
友達が多くこの高校を受験しようとしていたから
友達が誘ってくれた
友達にすすめられたから
友達に勧められた
友達に誘われたから
琉球舞踊を習っているからより深く学べるように
緑ヶ丘中学校に入学したから

**■普通科・総合学科 現在学んでいる内容が自分の興味のある分野に「とても役立つ」と
思う理由**

いろいろな言語を学べるから
いろいろな資格がとれるから
おじーおばーに三線を聞かせて元気をあげたいから
この高校来る前より、PC への知識が深まっている
これからはネットの時代になってるから
これから生きていくための知識となるから
しっかり内容深く説明していたから
そう思ったからです。
とくになし
どんなして会社を経営しているか、知りたいから
なんとなくです
ほかの学校にはない美術の授業が沢山取れた気がする
まだ学んでるわけではないけど 2 年になってから将来必要な教科を学ぶので役に立つと思
った
わかりやすい
わかりやすく教えてくれるから
コンピュータを使っの授業があるから。
スポーツについて多く学べるから
スポーツに関することを学んでいるので、保健の勉強のことをたくさん学ぶから

スポーツのことに関しての勉強が多いのと、体を動かすことが多いのと、クラスみんながスポーツをしているから高めあえる。

パーセントの計算、国語では読解力がみついため、将来資料を読むとき役に立つと思うから

パソコンが習えるし他のもあるからです

パソコンで色んなことが出来る

パソコンは、どの職業でも使うと思うので、検定などの取得は将来にも役に立つと思うから。

パソコンはいろんな仕事に役立つから

パソコン関係の Word や Excel が学べて、情報処理検定やビジネス文書検定が取得できるから。

パソコン関係の仕事や沢山の資格が取れるから

パソコン系が多いから

ビジネスの知識は何の職業でも役に立つと思うから

ビジネスの用語やマナーとか、お金についてを色々覚えることができたから

ビジネスマナーを身につけたら役に立つから

プログラミング系だから

マーケティングとか簿記があるから

レベルの高いバレーができるから

意外と楽しいし将来に役に立ちそうだからです。

医療の仕事を目指しているけど、もちろん学力が必要だし勉強は続けないといけないと思います。それ以外でも産社の授業では自分の進路について深く考えることができるし、自分が今するべきとなどを再確認できるのでとても役に立っていると思います。

医療系の仕事に就きたいのでその基本となる事を学べるから

運動が好きだから

英語は自分が進みたい職業に必要なだから

家庭科の授業では、子供の保育について学べたり、総合実践などで国際について色々と学べるから！

介護の仕事などにつけるようなことなどを学んでいるから

介護や福祉の授業を専門的に学べるから

会社を起業するにあたって簿記や経済の事は必ず必要になってくるから。

絵だけではなくて写真を仕事にしてみたいと言う意思が出てきた

絵で役に立ってみたいから。

外国語を勉強できるから

学びたいこと学べるから

勘

韓国語が学べるから
基本的な部分を丁寧に教えていただいているから。
教育について学んでいきたいのがあり、よく勉強になる授業が多いから
興味のある授業を受けられるから
検定うけれるから
検定がたくさん取れる
検定が楽しいから
検定が取れるから。
検定などとれるから
検定を、とれる。
検定をとるから
検定取得に有利な学校だからです
語学系でたくさんの言語を勉強できたから大学に推薦しやすかった
好きなことだから
工業高校にいくと、その分野だけでしぼられるから普通高校に通って幅広い授業をうけた
方がいいと思う
高校でいろんなことを知ることができたら 高校卒業したときに役立つと思う
今からコンピューターの世界になるから
今から就職するにあたっていろいろなことが学べてるから
今の時代ではパソコンや電卓など必要だと思うから
今日聞いた教頭先生の講和でそう思うようになったから
子供たちと関わる仕事に就きたくて、保育系列を選び、授業を通して保育について学べて
るから
私は将来スポーツ関係の大学や専門学校、仕事がしたいと思ったからスポーツ科のあるこ
の学校は私に向いていると思った
資格たくさん取れるから
資格のための勉強だから
自分がやりたいことができるから
自分がやりたいことが出来てるから
自分が学びたいものが学べるから
自分が学びたい英語やビジネスの事についての授業が強いと思うから
自分が好きなことは覚えてると思うし、思い出しやすいと思う。いつかは役立つと思っ
てる。
自分が好きなことをして資格をとれるから
自分で教科を選ぶ事ができることによって自分の将来の夢に近づくことが出来るから
自分で選んだ教科などを学べて進路に役立つから

自分に合った授業が受けれて、将来にも繋がっていくと思ったから。
自分のなりたい職業について調べられて、資格が取れるから。
自分の学びたい科目を専門的に学ぶことができるから
自分の興味ある科目があるから
自分の将来就きたい職業に関する授業を学ぶことができるから。
自分の進路に関連する授業をとることができるから。
自分は、スポーツに関する職業につきたいと考えているため、それに適した講演会や講習会、様々な体験や経験ができるからです。
実習があるから
実践的な学習が多く、将来その仕事に活かせることが多いから
社会について学べるから！
社会に出るためには学力が必要だから
社会のことを知れるからです。
授業を選べるつまり、自分の好きな授業しかない、つまり役に立ちます
授業でファッションや手先を使う細かい作業をしているから
授業内容がわかりやすい
商業だから就職とかに有利だから
商業の科目は、商業高校でしか学べないからそこは、商業高校に進学した所では強みになると思ったから。
商業の科目は、商業高校でしか学べないからそこは、商業高校に進学した所では強みになると思ったから。
商業高校で学んだことを活かせる職に就きたいと考えているから。
将来、IT系の仕事に就きたいと思っているから
将来、パソコンを使う職業に就きたいと思っているから。
将来この授業で自分の実力を活かそうと思ったからです。
将来そういった系列の分野に進学したいと考えているから
将来で役に立つ実績が取りやすい
将来にあった、授業をしてくれるから
将来に生かすことができるから。
将来の夢が社会の先生だからとても役に立ってる 発表とかの授業の時にコミュニケーション能力をあげるのに役立っている
将来イラスト系に進みたいから
将来コンピュータ関係の仕事につきたいから
将来使いそうだから
将来自分が職業につきたいと思っているところはマナーや、英検取得が必要な所だから
将来自分のためになるからです。

将来自分の行きたい時に必要な科目があっまから
将来就職で有利になる検定の勉強をしているから
将来絶対にコンピュータに関わってくるから
将来的に必要な技術を学べるから
将来目指す職種にあっているから
将来役立つと思うから
情報系列で自分が学びたい科目が学べているから
職業人講和など自分が興味ある職業の話聞けるから
職業人講話などの講話を取り入れているから。
色々なことが体験できる
色々なことを学べるから
色々な授業を自分で選ぶことができるから。
色々な授業を通して、将来の夢に近づくための第1歩を高校生の頃から取り組めるから
食品で菓子作りがあるからです。
進学できたから
進路についての授業なども沢山してくれるから
進路に関してまとめられてる教科書(?)があるから
人との関係も学べるから
人生何があるかわからんし簿記とかの検定を取ってたら何かしらで役に立つかもしれないから
人生何があるかわからんし簿記とかの検定を取ってたら何かしらで役に立つかもしれないから
生物があるから
生物の仕組みを知れるから
専門の分野も学べるのと、普通の教科も学べるから
専門的の分野を多く学べるから
選択科目が多く、自分の興味関心がある授業を自分で決めることができるから
選択授業で自分の将来に必要なものを学べるから
選択授業を考えて取ったから
総合科という数少ない高校の1つで、他の普通科では学べない事を学んだり出来るので私は将来に役立つかなと思います
総合科という数少ない高校の1つで、他の普通科では学べない事を学んだり出来るので私は将来に役立つかなと思います
総合学科だから
総合学科ならではの科目を学べるから。
総合学科で自分の興味のある科目を選べるから。

卒業後の進学に役立つし、将来社会に出た時の基礎みたいなものだと思うから
他の高校では学べない事がたくさんあるからです。
体育教師になりたいので保健や体育は役に立つから
大学に行くために必要だから
大学に行くのに必要
大学に行って習いたいことを習うためには今の勉強は大切になってくるから
大学共通テストにむけて1年生から学べるから
大学試験に必要なだから
大学進学に役立つ（必要）と思うから
大学進学に力を入れているから
大学進学向けの授業だから
大学入試で出る分野だから
大学入試に向けた勉強なので
大好きな書道や保育について学べるし、ピアノの時間があったりして経験のない私でもで
きるようになると思うから。
大人になって役にたつと思うから
大切だから
沢山の分野がある
知識は必要だから
中学校では学ばなかったことが学べる
中国語とかがあったりするから。
中国語などあるから語学が好きな自分には役に立つ
中国語や韓国語など英語以外の語学を学べるから。
調理実習やキーボード、折り紙での作品作りなど、私の興味ある保育や食などに当てはま
ってるいるため
特になし
特になし
販売に関する技術をいっぱい身につけられるから
普通科で5教科学ぶことができるから
普通科では学べないことが学べたから
普通校で学べないことがあるから
普通高校では学べないことも学べるから
部活
福祉関係があるから
分かる
編集技術が上がる = 場面展開の技術も上がる

勉強

勉強がそれだから

勉強が一から学べる

勉強してるから

勉強をして役に立たない訳がないから

保育の勉強ができるから

保育は将来役に立つから

保育系について知ることが出来るからです。

保育系列があるから

保育系列があるから。

保育実習とかの取り組みがあるから

簿記など商業でしか学ぶことができないから

本島でたった一つしかない郷土芸能が学べるコースがあって、昔からやってきた琉球舞踊

や琉球古典音楽をさらに学ぶことができるから

役に立たない知識を学校で教えないと思う

役に立つと思ったから

役立つから

役立つと思うから

■普通科・総合学科 現在学んでいる内容が自分の興味のある分野に「役立つ」と思う理由

2年で簿記とってるから

DTM など他の高校にはない授業があるから。

Excel はどの仕事についても使うものだと思ったからです。

IT に関連した授業を受けているから

IT を学んで普通高校だったらできないことができ、専門学校でできるような事ができるから。

IT 関係の仕事をするために情報の授業が役に立つため

PC の使い方を多く学べるから

PC を使ったりするから

pc いじってるから

・5科目+商業科目も習えるから！普通科には無い科目だから～役立つと思います！

あっているから

ありとあらゆる分野で高校の学びは役立ちはあるが、先生にでもならないかぎりとても関係があるとは思えないから

ある程度英語がわかっていたほうが良いから

いい事だから
いく大学に必要な科目だから
いざとなった時にすぐ出てくるとすごく役に立つから
いずれ大人になった時役に立つと思ったから。
いろいろなことを学べる！
いろいろな分野の科目があるから
いろいろ学んでいるから
いろいろ教えてくれるから
いろんなことができるから
いろんな科目があるからいいと思います
いろんな学科があるから
いろんな教科あるから
いろんな職業の勉強をしているから。
いろんな物事以外とつながっていることが多いから
いろんな分野を学べる
いろんな勉強ができるから
うーい
お客さんとの接し方やインターネットをつかった授業などがあり、これから大人になったときに役立つと思うから
こどができたとき
せんもんにいきたいときとかにやくだつから
そういう授業をしてるから
そう思うから
そこそこ役に立つから
その職について考えたとき使うと思ったから
その分野の勉強したいと思ったからです
そもそも、それらを履修し課程を修了しなければ被雇用者にすらなれない。雇用者になるにしても、それに必要な知識や人脈を作る為にも大学や専門学校を受験しなければいけない。なので深く学習する事に意味はないが周りとの比較、競争に役立っている。
たくさんの科目があるから
たくさんの検定を取得することができるから
たくさんの職業を知る機会がたくさんあるから
たくさん努力しているから
ただまあ選択科目にビジネスとかあるから、将来社会に出て生きていく上で得しないってことはないと思う。
とくになし

とても勉強になるから
とても役に立つと思う
とりあえず pc はある程度使えるようになりたかった。情報処理の授業では主に用語や Excel の使い方を教えてくれるから
どこに進学するにも勉強は必要だから
どの仕事においても基礎知識は必要だと思うから
どんなことにも無駄はないから
どんな仕事に就くとしても最低限の知識はほしいから
ない、
なし
なりたい科目があるから。
なりたい仕事が多めに計算とかしそうだから
なりたい職業が変わっても進路は少なくないと思うから
なんとなく
なんとなく
なんとなく
なんとなく
なんとなく
なんとなく
なんとなく
なんとなく
なんとなく
ほんとに必要だから
まだ1年生で科目選択してないけど、今のままだと英語とか役に立つと思う！
まだ1年生なので分からないが2年生になったら IT について学べると思う
まだやりたいこと決まってないけど、役立つと思う。
まだ一年生なので、自分の興味ある勉強が出来ていないから。
まだ一年生なので自分が興味のある分野にまだ学べていないから
まだ将来なりたい職業が2つあるけどなかなか選べないから
まだ僕の進路先が決まってはいないので役立ってる仕切れてるとは言い切れませんが
ものづくり、工業技術基礎があるから将来に役立つ
やりたいと思うことが少しでも学べるから
やりたいと思えた事や、社会に出て役に立つと思ったから。
わからない
わからん
わからんない

ゲーム等を作る時にプログラミング等を使うから
コミュニケーション取って行動することができている
コミュニケーション能力や文章を考える力などを身につけられるから。
コンピューターなどを使う授業が役に立ってます
コンピューターを触る機会が増えたから
ジャンルが一緒だから
スキルの授業で社会のルールやマナーを学べたのでよかったです
スポーツができるから
スポーツについて学べるから
スポーツに学びが通じることがあるから
スポーツに関しての話が多いので将来に役立ちそうだから。
スポーツに関する授業が多くあるから。
スポーツの知識を学んでいるから。
スポーツや体の仕組みについて詳しく勉強することができるから
スポーツをやっている上で食に興味があるので繋がっていると思うから。
スポーツマンの食事や健康、栄養について、これからも必要になってくるから。
スポーツ関係の仕事にも興味があるから
スポーツ健康学とスポーツトレーニングがあるから
データ入力のやり方とか演算表とか作れたら後々便利だなーと思ったから
パソコンが上手くなるから
パソコンとかが学べるから
パソコンなど将来必要なことだから
パソコンなど将来必要な事を学んでいるから
パソコンの使い方など学べるから
パソコンの授業があるから
パソコンは家であまり触れないから
パソコンは今の時代どこでも使うと思うから。
パソコンも学び、簿記も学ぶから。
パソコンを学べられるから。
パソコンを使う仕事に役立つから
パソコンを触る授業があるから
パソコン関係の授業ができる
パソコン系の仕事につきたいから
パソコン系を習うから
パソコン使う高校に行きたくて今パソコンについて学べているから
パワーポイントを使って発表したり、エクセルで関数を入力して出したり、などして PC

を使えるようになってきたから
ビジネスについて詳しく学べて将来役に立つことが学べていると思う
ビジネスのことが学べるから
ビジネスは社会の中で使う事が多いと思ったから
ビジネス関係だから
ホテルの仕事につきたいと思っていて礼儀など仕事で役立つことが学べるから
挨拶の仕方や、礼儀など、立ち方など、細かいところまで指摘してくれるから。
一般教科は大切なので
営業したいから
栄養の部分では家庭科をやっているから
英語 中国語を学ぶから
英語が学べたから
英語が学べるから。将来について考えさせられるから。
英語が役立つから
英語とかはとくにコミュニケーションに役立つし、今度どこかで必ず必要になってくると
思うから
英語とか仕事とかで役立つと思う
英語は役に立ってる
英語や総探の学習は自分が目指している進路に役立つと思うから
英語以外の外国語が学べるから(韓国語・中国語)
英語関係の仕事につきたいから
音楽や国語は自分を表現する上で必要になってくると思うから。
化学が1番好きだから。
会計士とかになりたいなと考えていたので、商業系の資格は将来使えるかなと思ったから
です。
海外に興味があるからパソコン室とかで調べる時に役立つ
絵を描くのが好きだから
学んでいて後悔はしないと思う
学科が選べる
学科が選べる
学校で習ってる事で、無駄になる事は無いと思ってるので
学校で役に立たないの教えてるなら問題だと思うから
学力がつくから
学力にあってるから
学力になる。
看護に必要な生物を取れるから

看護の選択授業があるから。
看護の道に進むなら生物と英語と数学はできていた方がいいと言われたから。
関係あるかは分からないけど、自分の価値を上げるためには必要な
関係がある
関係がただくと思ったから
基礎を学べるから
基礎知識はどこに行っても必要だから。
基礎的な学習に取り組んでいるから
基礎的な物だから。
基礎的な物を学んでいるので将来やりたい事を見つけたときに進みやすいと思ったから
基本的なことはできないといけない
教養科目だから役に立つ
興味があったけどなにもわからなかった PC について等がよくわかるから。
興味がある分野だから
興味のあることを専門的に学べるから。
興味のあるものもないものがあるから
興味のある分野について詳しく勉強することができると思ったから。
興味のある分野の授業を受けているから
興味のある分野の授業を受けているから
興味のある分野の授業を受けているから
系列ごとに分かれているから。
系列だから
経理があるから
計算などはどこの場所にも役立つから
検定がとれる
検定がとれるから
検定が取りやすい
検定とか取れるから
検定とか色々と取れるから
検定とか沢山取れるから
検定などが取れるから
検定などが沢山あるから
検定をとったら就職しやすくなるから
検定試験の勉強になる。コミュニケーションが少し上手になると思った
検定持ったら役に立ちそう
現在学んでいる学問は現代科学の基礎となるから

語学に関してはとても役立っていると思うから。
語学は習って損はないから
語学を学校で学びたいと考えているからです
好きなことを学んでいるから。
好きな仕事に似てるから
好きな仕事に似てるから
工学部に行くために物理などを学んでいるから
校外学習があるから
行きたい専門があるから。
行きたい専門学校に関連した科目があるから
行きたい大学の受験科目に必要なだから
高2になったらせんとくかもくなどがあり自分が好きなのをできるから
高校に入ってから保母さんになろって考えたから…
高校生だから
合ってるから
国語力とか社会に出ても役立つから
国公立の大学に進みたいと考えているから。
国際科だから
国際系
今から福祉とか習うと思うから。
今はデジタル社会になって来ているから。
今は色々な資格を持っているのでそれを活かして就職したいから
今は普通科とほとんど同じ授業を受けているけど、2年の科目選択をしている時は役立っていると感じるから
今まで学べてなかった色々なことを学べてるから。
今勉強してる事が将来役に立つと思うから
根拠はないけど、役立つと思う！
産業社会という授業で、将来について考えられるから！
使うこともあると思う
使えるから
使えるから
思うから
私の学校は将来にとっても役立つ簿記だったりパソコンなどの授業がたくさんあります。なので、役立つと思いました
私は将来、事務系の仕事をしたいと思ってたからです。
資格が役立つから。

資格とかを取れるから
資格なども取れるため将来に役立つから
資格取れるから
自分がやりたいなと思ったのを学べるから
自分が学びたい科目が学べるから
自分が学びたい科目だったから。
自分が興味を持った分野を具体的に学べるから
自分が将来つく仕事にも関わってくるかもしれないから。
自分が将来やりたい事に合ってる授業があるから
自分でお店を持ちたいから
自分でやりたい授業を選択できるし、大学に行くための教科もとれるから
自分で科目を選んでいるか
自分で学びたい科目を学べてるから。
自分で時間割を選ぶから
自分で選んで時間割を決めたから
自分にあったものを見つけられると思ったから
自分に合った科目を学べるから
自分に必要な教科を選んで学習できるから
自分のやりたい職業に、コンピューターの知識が必要になってくるから
自分のやりたい職業について学ぶことができるから
自分の学びたい教科が選べるから
自分の興味あることに関係していると思うから
自分の興味がある科に入れたから
自分の興味のある授業洗濯できるから
自分の興味を深められるし、関係が無くても幅も広がると思っているから
自分の好きな、将来役立つ学科を選び、また好きな教科を選ぶことができるため、色んな
のを学ぶ事ができるからです
自分の好きな教科が選べるから
自分の好きな教科を選ぶことができるから
自分の好きな事について深く学べるから。
自分の行きたい大学と同じ内容をやっているから
自分の行きたい大学にかんけいあるじゅぎょうがあるから
自分の将来に対してつながっていると思ったから。
自分の将来の夢に近づくための科目があったから。
自分の進路に合っているから
自分の目指す学校の受験科目を勉強できるから

社会で使うことを教えていると思うから
社会について学べるから
社会に出てからの大切なことを学んだから
社会に通じると思うからです
社会のことをいち早く学べるから
社会人になった時に役立つと思うから
社情の授業は将来役に立つと思う
取りたい科目がとれる
手話だったら色々な人と喋ることができるから。
手話を習った、自分の将来やりたいことに繋がる
授業が選べるから
授業内容が自分の将来に役立つと思ったから。
授業内容が分かりやすいから
就くなら事務職がいいと思っているので、役立つと思う。
就業体験などがあるから
就職するために必要は検定試験などを学んでいるから
就職に大切なマナーを学ぶことができる。
就職に目指した授業があるから役立つと思う
就職関係の事を学べる機会が多い
習いたいものを専門的に学べるから
商業だから
商業の勉強をしてるから
商業系だから向いてると思う
商業系の検定は取っとくと将来パソコンなどが扱いやすくなるから。
商業系の勉強を学びたかったから
将来、エクセルや簿記、情報処理は役に立つから
将来、医療系の道に進んだ時に役立つそうだから
将来、海外でも働きたいから。
将来、経営したい際にビジ基礎の分野や 簿記などの分野がとても役立つと思う
将来、簿記とかやると思うから今やって得してる
将来が決まらないか
将来につながりそう
将来に向けて学べるから。
将来に使うことがあるかもしれないから
将来に使うことがあるかもしれないから
将来に絶対役に立つから

将来に役に立つ資格が取れるから
将来に役立つから
将来に役立つと思ったから
将来のためになるから
将来のべんきょうができる
将来の夢にも関係があるから
将来の夢に関することを学んでいるから
将来の夢に近い分野があるから
将来の夢に繋がっている部分もあるから
将来の夢に勉強が関係あるから
将来やりたいことが学べるから
将来やりたいことに関わってくる授業もあるから
将来やりたいものに近づけるから
将来パソコンを使うかもしれないから。
将来ペットショップで働くのが夢で、お客さんとの接し方など総合実践で学べるから役に立つと思います。
将来行きたい大学に行くための勉強ができているから
将来使うかもしれないから
将来使うかもしれないことを習っているから
将来使うと思うから
将来進学するときに役立つと思ったから
将来数学など必要だと思うから
将来性があるから
将来役に立つ資格とかが取れるから。
将来役立つビジネスのことを学べるから。
少しはありそう
少しは役に立つから
情報などでエクセルを使うなどして PC について学べるから
情報など今の社会に必要な科目を取り入れているから
情報処理でパソコンを扱うから
情報面・ビジネス経済面に関する科目があるので自分のなりたい職業のことについて知ることができると思っているから。
職業人講和とかで興味あるのを学べるから。
色々なことを教えて下さるので、凄くためになります。
色々なこと学べるから
色々な技術を学べるから

色々な授業が取れるから、将来なりたい職業と関連するものを選べる。
色々な選択科目があって幅広い分野に対応してるから。
色々な選択科目があるから
色々な分野に対応しているから
色々使うと思うから
色んなことが学べるから
色んなことを考えれるから
色んなものを学ぶことができるから
色んな分野があるから。
新しいことなどをならい、外国語とかを本格的に学べる気がするから
進学などに役立つと思ったから
進学に役立つ
進路が選択多い
進路に関する授業を行うから
進路に興味がある職業や大学、専門学校があるから選びやすい！！
進路指導が充実しているから
人として成長できているから
人との関わりかたなど
人と関わる職業につきたいから。
数学など理系を学べるから
数学は先に進んでいるから将来に使える
数学や国語、英語は社会でも使うから
数学や理科など、今は使う機会がなくても、いずれ使うようになると思うから
数学を使うから
正直それに近いから
生きる上で大切だから
生活の中や将来学びたいものについて関係があるから
生物があるから
生物を1年生の初めに選んで、将来の夢のために生物があってるから。他にも1年生は基礎だけど、2年生から自分で選択をして将来の夢に近づくためにとても役立っていると思う。
生物を1年生の初めに選んで、将来の夢のために生物があってるから。他にも1年生は基礎だけど、2年生から自分で選択をして将来の夢に近づくためにとても役立っていると思う。
生物を1年生の初めに選んで、将来の夢のために生物があってるから。他にも1年生は基礎だけど、2年生から自分で選択をして将来の夢に近づくためにとても役立っていると思

う。

生物を1年生選んで、役に立つと思う。2年生では自分の進路にあった科目を選択できて、自分の夢に近づくためにとても役立っていると思う。

先生が言ってたから

先生たちが分かりやすく授業をしてるから

専門の技術を学ぶことができる

専門科目を学べるから

専門学科があるから

専門学校でない限り総合的に学ぶので関係ないことはありえないと思う

専門的な事を学ぶから

専門的な知識が得られるため

選択科目がたくさんあるから

選択科目が色々あるから

選択科目が多く学びたい授業が取れるから。

選択授業があるから

選択授業で調理関係があるから

相手の気持ちを読み取る事や時間の大切さを学べたから。

総合学科だから

総合学科だから自分で授業を組んで、勉強したから

総合学科だから色々なことを学べるから。

総合学科で自分に合わせて学べるから

総合学科で自分の学びたい分野を選べるから

総合学科で色々なことを学べる分、考えが広がったから

総合学科なので、色々な事が学べるから

総合学科なので自分の学びたい分野が学べるから

総合学科はさまざまな科目があるため

総合学科は他にはない強みを持っていると思ったから

他では、ないことを教えてくれるから

他にない総合学科でいろいろの学べるから

他にの学校にはないそう学科があるから

体を動かすから

体を動かす仕事に就きたいから

体育とかは役立つのかなと思った

体育や健康のことについて学べるから。

大学でも使えるから

大学などに入るために必要だから

大学に行くための入試の内容に触れているから

大学に進学するつもりだから

大学や職業についての話がいろいろきけるから

大学や専門学校を行かないで高卒したいと思っているから

大学受験に対応した授業をしてくれるから

大学進学のため

大学入試のためになるから

知識を蓄えることができる為。

中学でならわなかったところまで深掘りしているから

中学校で習ったことの応用を学ぶことが多いですが、自分が進学した教養ビジネスコースは普通コースとは違ってパソコンや電卓などの商業系のことを学ぶ授業があるので、将来、自分が就いた仕事で役立つと思います。

中学校で疎かにしていた勉強の内容を取り戻せるから

電卓ができれば、買い物の計算とか楽になると思うから

頭が良くなりそう

特にない

特にない

特にない

特にない

特にないです

特になし

特になし

特になし。

特にわかりません。

特に無いです

入試に必要な科目を勉強できるから

入試や、進学先で使う教科が全て学べる。

農業やトータルクリーニングなど、様々な授業を受けることができ、食品加工の授業は特に興味があるので役立つと思いました。

美術の授業で習ったことは自分がやってみたい職業に当てはまってると思うから

美術の授業内容？

必要だから

必要だと思う選択授業があるから

普通の高校では学べないことを学んでいるから

普通の高校では学べない様々な事を学べるから

普通の高校と違う所があるから

普通科だから
普通学科じゃなくて色々なことが学べるから
普通校であり数多くの授業があるため大学進学に有利なため
普通校では学べないような商業的なことを学べたり色んな語学を学べたりしているから
部活動や生徒会の活動を通して自身の成長に繋がっていると思うから。
部活動を優先できる環境にあるから
分からない。
分からないけどそう思った
分からないところを理解できるから
分かりやすく、今の場代にそった教えかただから。
勉強したことは、あとから役に立つかもしれないと思ったから。
勉強してるから
勉強してるから
勉強することが大事だと思うから
勉強になるから。
勉強は将来のためにあるから
勉強をしているから
勉強面などで将来使うから
保育があるから
保育と家庭科あるから
保育に着いて学んだり実際に保育園に行って子供たちとふれあう機械があったから
保育のことについて学べるから！
保育の検定取得できたから
保育の授業とかがあるから
保育士でもパソコンを使うこともあるから。
簿記があるから2年からないけど
簿記とかは普通校で学ばないから
簿記とかビジネス基礎は将来つかうとおもうから。
簿記とか英語は、なんでも使えるから
簿記とか使えるなーと思った
簿記などは、バイト先などでも役に立っていて、将来使うと思ったから
簿記などは将来役立つと思ったからです。
簿記やタイピングなど将来に役立つ物ができるようになった
簿記や情報処理などの資格が取得できる
無駄なことを学校は教えてるんですか？
目指している職業とかも結局はパソコンとか使うから

役だつ

役にたつものもある

役に立たない事なんてないと思うから

役に立ちそうだから

役に立っていると思ったから

役に立つと思ったから

役立たないものを教えない。

役立つから

役立つと思う

役立つと思ったから

役立つと思ったから

役立つと思ったからです

役立つような気がするから

役立つ教科がたくさんあるけど、あまり役立たない教科もいくつかあるから

役立つ役立たないことはしないと思うから

与勝高校は進路についてよくおしえてくれて生徒の夢を全力で応援してくれるから

琉球舞踊とか三線とか自分の芸になるから

倫理は福祉でも役立つと思う

歴史に関係する職業に就きたいから

■普通科・総合学科 現在学んでいる内容が自分の興味のある分野に「あまり役に立たない」と思う理由

海外研修がない

役に立つと思わない

やくにたたなさそうだから

あまり興味がない

介護系の仕事だから

役に立ったという話を聞かない

あんまりそーゆう授業がない

商業系の進路に進もうと思ってないから

パソコンができる

関係性があまりないように思った

わからない

医療関係に就こうと思ってるから

大学進学するのに有利なのは普通高校と思ったから。一般入試で入るには商業高校は不利

だけど、資格を武器に推薦や AO 入試で頑張ろうと思った
興味のある分野を勉強したりしないから。
役にたつかもしいたないかもしれない
わからない
商業系と声優とではあまり関係がないと思ったから。 将来私が就きたいと思ってる仕事で
は計算したりコンピューターを使うことがあまりないからです。
英語があんまりすすんでいないことと、レベルが低い
商業のことじゃないから
美容系のはなんにも学んでいないから
工業系じゃないから
学科がスポーツなので、目指している所とちょっと違うかなと思ったからです。
自分が今なりたい職業は教員なので、普通高校と比べて勉強の部分で追い付いていないこ
とがあると思ったからです。
どれくらい役立ってるかわからないから
簿記や会計などにあまり興味が無いコンピューターや電気関連のことに興味がある
分かん
簿記とか情報とかあまり興味が無い
就職するなら美容系の職につきたいと思ってるから。
本当に合ってるかわからない
あまり関係がないから
動物・植物に関しては生き物の生態などについて詳しく調べられるが、その他のものに関
しては、あまり関係性がないと思ったから。
学びたい教科はあるが、そこまで深く学べないから
分野的に異なるところがあるから
それなりの授業をしてないから
行きたい大学の入試科目の授業が受けれてないから
それなりの授業をしてないから
直接的な関係はあまりないと思った
興味のある物がないから
他の学校よりも授業が遅れている
進路が変わったから
自分がしたい分野とあってない
進学希望先が変わったため
まだ、役立つ内容を習っていないから
そう思ったから
美容の道に進むから。

将来やりたいことがわからなくなったから
保育の授業しか役にたたんから
学習の内容が内地の学校より浅すぎる
役に立つ授業もあるが そう思わない授業もあるから
関連する授業があまりない
わからない事が多いから。
授業のスピードが遅い
パソコンの授業が少ないから
家庭科の授業が少ないから
美容系に行こうと思ってるから。
数学や古典は将来にはあまり役に立たない
美容の授業ないから
まだ1年生ということもあって、中学の続きの学びが多く感じる。
イラスト、漫画や編集者などの分野に興味があるが、美術もないし、編集者としての文章力を育てる授業も少ないと思ったから。
まずなりたい職業が見つかっていない
先生が授業を放棄したり、分からないところを聞いても、教えてくれないことがあるからです。
やりたい事をまだ学んでない
興味があるものをなっていないから
将来役に立てるか分からないから
特になし
特になし
いろんな物に挑戦したいけどできない時があるから
まだその分野の勉強をしてないから
しっかりと分からないところを教えて欲しいと言った時にちゃんと対応してくれる先生もいれば対応してくれない先生の差が激しい
わかんない
まず、やりたいことが見つかってないから
自分的に将来なりたい職業は大体決まっているのでそれに必要かと考えてみるとそんなに必要ではないと思ったから。必要な部分もある。
生物は授業内にありますが、音楽や美術などはやらないので、③の回答にしました
何となく
声優やイラストレーター的なものには関わらないと考えている
実際にそれを学んで何について役立つのかや社会に出て使われてるかわからないから
まだなりたい職業が決まっていないから

美容系とかではないから
音楽の器具などの使い方などは知れてないけど社会にでてからのマナーなどは学べている
と思う
教科の勉強が、関わりがあるといえはないと思うから
関係がある部分も一部あるが基本的にはつながっていないように感じている
将来学んだ知識を活用しないから
生活の中で活かしている実感がないから
専門分野があるわけではないから
高校3年生になったらやる選択の授業は役に立つと思いますが、今やっている8教科はあまり役に立たないと思う
保育系の仕事に進みたいから
美容の道に進みたいと思うから
自分の行きたい学校に行くためには必要だが入ってからは使わないから
将来がまだ決まっていないのに関係あるかわらんないから
びみょう
理科系の科目はあまり関係ない
物理くらいしか関わるのがないから
美術の道に進みたいから
自分が専門的にやりたことをしていないから、いらぬ授業が多い
普通校の授業だから
他の高校より遅れているから
2年生になったら関係ある教科があるから。
ダンスの授業がないから
将来の夢がふたつあるから
よくわからない
よくわからない
ファッションとかに関わらんないから
なんとなく

**■普通科・総合学科 現在学んでいる内容が自分の興味のある分野に「役に立たない」と
思う理由**

あまり深くまで勉強しないから
そのことのことを習わないから
なんとなく
まったく興味の分野をしてないから
わからない

スポーツ系をあまり学べないから
何を言ってるか分からないから
関係ない
関係ないから。
興味あるものに関わってないから
国理英社数など受験用の科目のみ履修しているから。
自分がやりたいことから離れてるから
自分のやりたいことにあんま関わってないから
社会についてわからないから
車バイクについての授業がない
授業で大事なところをとばされるから
授業のレベルが低く、授業の進みも遅い
授業の質が悪い
授業の内容をとばすから。
授業の内容を飛ばされるから
商業だと関係ない職業だから
心理カウンセリングを学びたいので 今勉強しているものはあまり関係していないと思う
でも、いつか役立つと考えている
数学を勉強したかったけど他の 4 教科がそこまでだったので中部商業高校に行かざるを得
なかった
大学に行きたいから必要ではあるけれど、興味ある分野は音楽とかだから
中学レベルの復習ばかりでとても大学・専門学校で役に立つとは思えない。
入試の際に必要ですが、専門科目にしては関連性は無い。
発声や話し方について学んでるわけではないから
美容とは関係ないきがする
美容に関わる職業だから
勉強と美容は違うから
保育系列を選んだが そこまで保育に関係した仕事につきたいと思わなかった
役に立たないから
理由は無い

■普通科・総合学科 現在学んでいる内容が自分の興味のある分野に役立つかどうか「ど
ちらともいえない・わからない」と思う理由

1 年生の内容はほとんど中学の復習だから
あまり関係ないが大学に行くために必要だから
あまり関係ないこと

あまり興味ある分野がない
いつ役立つかわからないから
その職業の業務内容がわからない
その分野に必要な物をすべて分かっていないから
そもそもコロナで学校で授業する時間が少ない。検定も教えてもらいたいがコロナのせいで長時間教えてもらえない。
それさえわからない
そんなに特別なことは習わないから
つかうかもしれないし、使わないかもしれないから
どこで役に立つかわかん
どのような事が役に立つかわからないから
ない
なにが必要なかわからないから。
なんとなく
なんとなく
なんとなく
なんとなく
まだ1年だから、やってみないとわからない
まだやりたいことがきまっていないから
まだわからない
まだわからない
まだわからないから
まだわかんないから
まだスポーツ関係の授業をしていないから
まだ何をしたいかきまっていないから
まだ興味のある分野がなかなか見つからないから
まだ決まってないから
まだ自分の興味のある分野が見つからないから
まだ自分の将来が決まらないから
まだ将来のなりたい仕事等が決まっていないから
まだ将来やりたいことが決まってないから
まだ進路が決定してないから
まだ進路を決めていないから
まだわからない事が多くあるから
もっと色々な事を知りたいし、興味が持つものがあるとしたら、そこを優先にして頑張りたい。学校でも興味が持てるようにもしたいなって思ってます！

やりたいことが分からないから

よくわからないから

よくわからないです

よく分からない

わからない

わからない

わからない

わからない

わからない

わからない

わからない

わからない

わからないから

わからないから

わからないから

わからないから

わからないから

わからないから

わからないから

わからないから

わからないから

わからないから。

わからないからです

わからんから

わかりません

わかんない！

コロナでなにも出来ない

医療関係に興味はあるけれども今何が医療関係の役に立つのかが分からないから。

医療事務や公務員になりたいから、検定を取っていった方が役立つと思ったから

化学・物理・数学は後にどのような考え方で生きていくのかを考えさせてくれるものに対し古文は覚えても会話につなげることができず、古文を世界で使うメリットがないといえるため

何がしたいかきまっていないし、興味のあるやつで役立つかきまっていない

何が役に立っているかいないか理解していない

何も決めてないから

可もなく不可もないため

家庭科などは役に立つが、ほかの分野が役に立つかわかんないから
科目による
学力があってないと思うから
関係なくても学んで損はないと思ってるから、将来に関係あるか深く考えたことがあまり
ない
基本的な部分は学べるけど、専門的な内容は学ばないから
休み時間スマホアリのしましょう
興味ある分野で就職、進学してみないと分からないから
興味ある分野を絞れてない
興味ある分野を深く知ることができていないから
興味のあるものがまだよくわからないから
興味のある分野があんまわからない
興味のある分野がせんもんのだから
興味のある分野がない
興味のある分野がない
興味のある分野がはっきりしていないから
興味のある分野にはあまり関係ないと感じたから
興味のある分野に関係ある勉強はしてないから
興味のある分野に役立つものがない。
興味のある分野の授業をとっているのもあればとっていない授業もあるから
興味はあるけど将来やりたいとはあまりないから
建築家になりたいのに商業しか行けなかった
考えた事がない
今は役立っているのか分からない
今興味のある分野がないから
今後いかせるかわからないから
今自分がやりたいことが何か分からない！
今自分が何したいかわからん
私は結構やりたいことが明確にあるので、それに関係ないことは役に立たないと感じるし、
関係あるものはとても必要に感じているから。
資格が少ないから
自分がまだ何になりたいかわからないから
自分が将来こうなりたいという明確な目標が今無いから。
自分には難しいのがおおかったりするから
自分のなりたい職業がわからないから
自分は体動かすことなどが得意だし好きなものができてないから！なんとも言えない

授業による。
就職するかどうか決まってないからです
商業分野なので使えるものは少ないと思うけど、パソコンや簿記は使うのかな？と思ったから
将来なりたい職業がはっきりしないから
将来に関係あるのとないのがあるから
将来のことをまだ、はっきりと考えていないから
将来の夢が決まってないから
将来の夢は動物関係とかだけど役立つかは分からない
将来何をしたいかわからないから
進路が決まっていないから
専門のことについて学ぶことがないから
体を動かすのが好きだけど、ずっと座ってるから
大学では経営学を学びたいけど スポーツの事とか簿記など繋がっているのかが分からない
働くためには役立つと思うけど興味のある分野にはあまり関わりがないかなと思った。
特になし
特になし
特に専門教科がないから
特に無い
美容については習わないから
必要になるのかまだ調べていないから
普通
普通高校だし将来が決まってないから
分からない
分からないから
分からないから
分からないから
分からないがどの職業でもコミュニケーションが大切だと学んでいます
分かりません
勉強のための勉強してるように思うから
保育のことまだ学んでないから
明確にまだ何がしたいのか分からないから
役に立つこともあるかもしれないけど分からないから
役立つと思う理由と役立つたないと思う理由があるから
役立つものと役立つたないのがあると思うから
理解する事ができないから

理学療法士には簿記なんていないから

◎巻末資料2 高専連携基盤システムプロトタイプ仕様説明

■URL <https://netest.site/ryurihasns/>

■実装機能一覧

(1) 生徒に対する機能

機能	細目
①掲示板機能	掲示情報の閲覧
②自主学習機能	デジタル教材の視聴
	学習履歴の確認
	自主学習の成果物の登録・共有
③グループ学習機能	グループ学習の成果物の登録・共有
	グループの意見交換（スレッド機能）
④プロフィール機能	生徒個人のプロフィール登録・変更・共有

(2) 指導者（教員、実務者等）に対する機能

機能	細目
①掲示板機能	掲示情報の発信
	掲示情報の閲覧
②自主学習機能	学習履歴の確認
	自主学習の成果物の内容確認
	指導コメントの投稿
③グループ学習機能	グループ学習の成果物の内容確認
	指導コメントの投稿
	スレッドの内容確認
	指導コメントの投稿
④プロフィール機能	生徒個人のプロフィール確認・変更
	教員個人のプロフィール登録・変更・共有
⑤指導者間連携機能	フォルダ・ファイル共有
	意見交換（スレッド機能）
	メッセージボード
	メッセージ交換

■画面仕様（生徒・指導者共通）

（1）ログイン画面



The login screen features a header with the school logo and name: 学校法人智晴学園 専門学校 琉球リハビリテーション学院. Below the header are two input fields: 'ユーザーID' (User ID) and 'パスワード' (Password). A 'ログイン' (Login) button is positioned below the password field. At the bottom, there is a checkbox labeled 'ログインを保存' (Save login).

■画面仕様（生徒）

（1）ログイン後のメインメニュー画面



The main menu screen displays the school logo and name in the top left corner. In the top right, it shows the user ID 'ユーザー：ユーザーa001' and a 'ログアウト' (Logout) button. On the left side, there is a vertical menu with four buttons: '掲示板' (Bulletin Board), '自主学習' (Independent Learning), 'グループ学習' (Group Learning), and 'プロフィール' (Profile). The main content area features a large box labeled '新着情報' (New Information) with a red border, and a search bar below it.

(2) 自主学習画面「動画学習」

学校法人 聖徳学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：ユーザー-a002 ログアウト

掲示板

自主学習

動画学習
学習履歴
学習成果

グループ学習

プロフィール

学習分野選択

学習する項目を選んでください

総合学科について

ガイダンス室紹介

科目選択に向けて①

科目選択に向けて②

(3) 自主学習「学習履歴」

学校法人 聖徳学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：ユーザー-a002 ログアウト

掲示板

自主学習

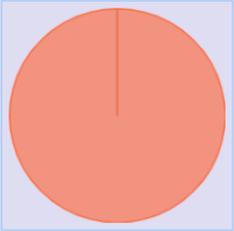
動画学習

学習履歴
学習成果

グループ学習

プロフィール

学習履歴



総合学科について	
ガイダンス室紹介	
科目選択に向けて①	
科目選択に向けて②	

(4) 自主学習「学習成果」

学校法人 聖徳学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：ユーザーa002 ログアウト

掲示板

学習成果

自主学習

動画学習
学習履歴
学習成果

グループ学習

プロフィール

夢のコラージュ 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

働くことって、なんだ? 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

職業人インタビュー 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

働く×SDGs 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

職業人講話 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

(5) グループ学習「学習成果」

学校法人 聖徳学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：ユーザーa002 ログアウト

掲示板

学習成果

自主学習

グループ学習

学習成果

グループスレッド

プロフィール

チームA

夢のコラージュ 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

働くことって、なんだ? 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

職業人インタビュー 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

働く×SDGs 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

職業人講話 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

企業訪問発表 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

(6) グループ学習「グループスレッド」

The screenshot shows the 'グループスレッド' (Group Thread) page. At the top left is the logo for '学校法人 新井学園 専門学校 琉球リハビリテーション学院'. At the top right, it displays 'ユーザー：ユーザー-c001' and a 'ログアウト' button. On the left sidebar, there are buttons for '掲示板', '自主学習', 'グループ学習', '学習成果', 'グループスレッド' (highlighted), and 'プロフィール'. The main content area has a header 'グループスレッド' and a sub-header 'グループ：チームC'. Below this is a large empty text input field. To the right of this field is a 'スレッド作成' button. At the bottom center of the main area is a 'スレッド投稿' button.

(7) プロフィール

The screenshot shows the 'プロフィール' (Profile) page. At the top left is the logo for '学校法人 新井学園 専門学校 琉球リハビリテーション学院'. At the top right, it displays 'ユーザー：ユーザー-c001' and a 'ログアウト' button. On the left sidebar, there are buttons for '掲示板', '自主学習', 'グループ学習', and 'プロフィール' (highlighted). The main content area has a header 'プロフィール'. Below the header is a '写真' (Photo) section with a placeholder image, an 'アップロード' button, and a '削除' button. Below the photo section, the 'ユーザーID' is 'c001'. There are three form fields for '氏名', '学校名', and '専攻', each with a '決定' button. At the bottom, there is a '所属グループ' dropdown menu currently set to 'チームC'.

■画面仕様（指導者）

（1）掲示板

学校法人 聖徳学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：指導者A ログアウト

掲示板

自主学習

グループ学習

プロフィール

指導者メニュー

新着情報

連絡投稿

連絡投稿（新規）

メッセージ

ファイル： 選択されていません

画 像： 選択されていません

（2）自主学習「学習履歴」

学校法人 聖徳学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：指導者J ログアウト

掲示板

自主学習

学習履歴

学習成果

グループ学習

プロフィール

指導者メニュー

学習履歴

チームA ユーザー-a001

総合学科について	
ガイダンス室紹介	
科目選択に向けて①	
科目選択に向けて②	

(3) 自主学習「学習成果」

学校法人 聖徳学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：指導者J ログアウト

掲示板

学習成果

自主学習 チームJ ユーザーj001

学習履歴

学習成果

グループ学習

プロフィール

指導者メニュー

夢のコラージュ 説明 確認 投稿
未提出

働くことって、なんだ? 説明 確認 投稿
未提出

職業人インタビュー 説明 確認 投稿
未提出

働く×SDGs 説明 確認 投稿
未提出

職業人講話 説明 確認 投稿
未提出

(4) グループ学習「学習成果」

学校法人 聖徳学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：指導者J ログアウト

掲示板

学習成果

自主学習 チームJ

グループ学習

学習成果

グループスレッド

プロフィール

指導者メニュー

夢のコラージュ 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

働くことって、なんだ? 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

職業人インタビュー 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

働く×SDGs 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

職業人講話 説明 共有 確認 取消 投稿
未提出

(5) グループ学習「グループスレッド」

学校法人 新橋学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：指導者J ログアウト

掲示板

自主学習

グループ学習

学習成果

グループスレッド

プロフィール

指導者メニュー

グループスレッド

チームD

スレッド作成

スレッド投稿

(6) プロフィール

学校法人 新橋学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：指導者J ログアウト

掲示板

自主学習

グループ学習

プロフィール

指導者メニュー

プロフィール

チームA ユーザー-a001

写真

ユーザーID：a001

氏名
ユーザー-a001 決定

学校名
決定

専攻
決定

所属グループ
チームA 決定

(7) 指導者メニュー「ニュースフィード」

The screenshot shows the instructor menu interface. At the top left is the logo for '学校法人 国際学園 専門学校 琉球リハビリテーション学院'. At the top right, it displays 'ユーザー：指導者J' and a 'ログアウト' button. The main content area is titled 'ニュースフィード' and contains a 'ニュース投稿' button. On the left sidebar, the '指導者メニュー' is expanded to show 'ニュースフィード', '協働スレッド', and 'メッセージ'. Below this, there are links for 'OneDriveファイル共有', '個人学習成果へ移動', and 'グループ学習成果へ移動'.

(8) 者メニュー「協働スレッド」

The screenshot shows the instructor menu interface for 'Collaborative Thread'. At the top left is the logo for '学校法人 国際学園 専門学校 琉球リハビリテーション学院'. At the top right, it displays 'ユーザー：指導者J' and a 'ログアウト' button. The main content area is titled '協働スレッド' and features a text input field containing 'test01(0)', a 'スレッド作成' button, and a 'スレッド：test01' label. Below the input field is a large empty text area for posting. At the bottom center, there is a 'スレッド投稿' button. On the left sidebar, the '指導者メニュー' is expanded to show '協働スレッド', 'ニュースフィード', and 'メッセージ'. Below this, there are links for 'OneDriveファイル共有', '個人学習成果へ移動', and 'グループ学習成果へ移動'.

(9) 指導者メニュー「メッセージ」

学校法人格闘学園
専門学校
琉球リハビリテーション学院

ユーザー：指導者J ログアウト

掲示板

自主学习

グループ学習

プロフィール

指導者メニュー

ニュースフィード

協働スレッド

メッセージ

OneDriveファイル共有

個人学習成果へ移動

グループ学習成果へ移動

メッセージ

受信

送信

From:
To:
Subject:

返信

◎巻末資料3 進路ガイダンス室を学ぶVRコンテンツ

VRコンテンツの一部を以下に掲載する。



